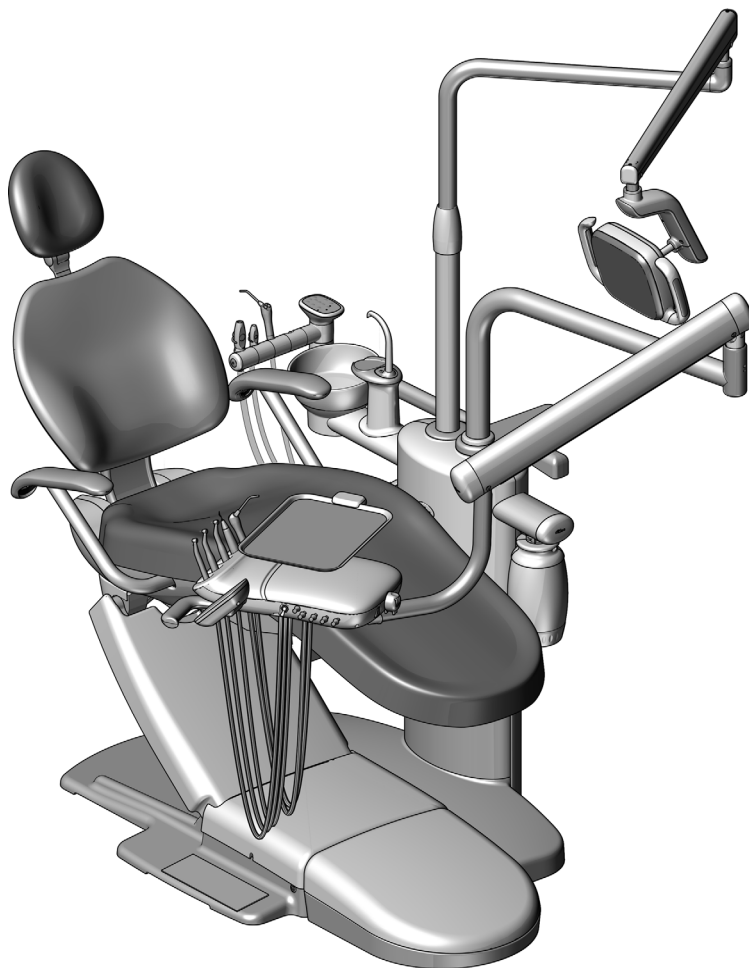


A-dec® 363 サポートセンター サービスガイド



目次

開始する前に.....	2
サポートセンターの取り付け .4	
A-dec 352/353 歯科助手用器具の取り付け.....	13
A-dec 334pro/335pro/334/335 デリバリーシステムの取り付け	20
A-dec 歯科ライトの取り付け	30
モニターマウントの取り付け	30
スピットンの取り付け	31
フロアボックスの取り付け. 33	
ユーティリティの配管と接続.....	35
サポートセンターのワイヤーとデータ回線の電源装置への接続	41
システムの準備.....	49
システムの調整.....	52
システムの水平調整	53
スピットンボウルのクリアランスの確認	56
タッチコントロール操作... 58	
システムのテスト.....	60
カバーの取り付け	61
付録：エアバキュームシステム (AVS) の取り付け.....	69
規制に関する情報	80



A-dec 311 歯科用椅子に取り付けられた A-dec 363 サポートセンター

本書で取り扱う機種とバージョン

機種	バージョン	説明
352、353	A	歯科助手用器具
334/335	A	デリバリーシステム
334pro/335pro	なし	デリバリーシステム
311	B	歯科用椅子
363	A	サポートセンター

開始する前に



注 本書では、正しく安全に取り付けるために重要な情報をこの注のように背景色付きで示します。



確認 311 歯科用椅子を床に固定してから、本書の手順を実施してください。チェアが固定されていない場合は、『A-dec 311 歯科用椅子サービスガイド』（部品番号（P/N）86.0921.05）を参照してください。



警告 感電の危険があります。カバーを外したり元に戻す際には、ワイヤーやチューブに損傷を与えないよう注意してください。また、カバーを再度取り付けた後は、しっかりと固定されていることを確認してください。

推奨する工具

- 六角レンチセット
- プライヤー
- 磁気水準器
- 5/16 インチの六角レンチ
- 5/16 インチのヘックスビット付きトルクレンチ
- 斜ニッパー
- 調整レンチ
- スリーブプッシャー
- 巻尺
- 1/4 インチおよび 3/8 インチのコンビネーション・レンチ
- ゴム製マレット
- プラスドライバー
- ワイヤーストリッパー

設置手順

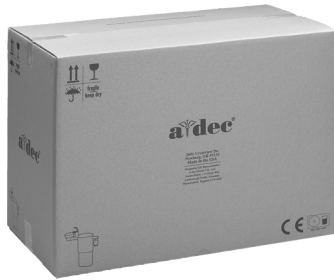
設置方法によっては、本書に記載されている一部のモジュールは必要ありません。始める前に：

1. サポートセンターにどのモジュールを取り付けるかを確認してください。
2. 取り付けるモジュールの順序を書き留めるのに、設置手順を使用します。



注 各モジュールの梱包箱には、当該モジュールの取り付けに必要なすべての部品が梱包されています。

1



サポートセンター

3



デリバリーシステム

2



歯科助手用器具

4



歯科ライト

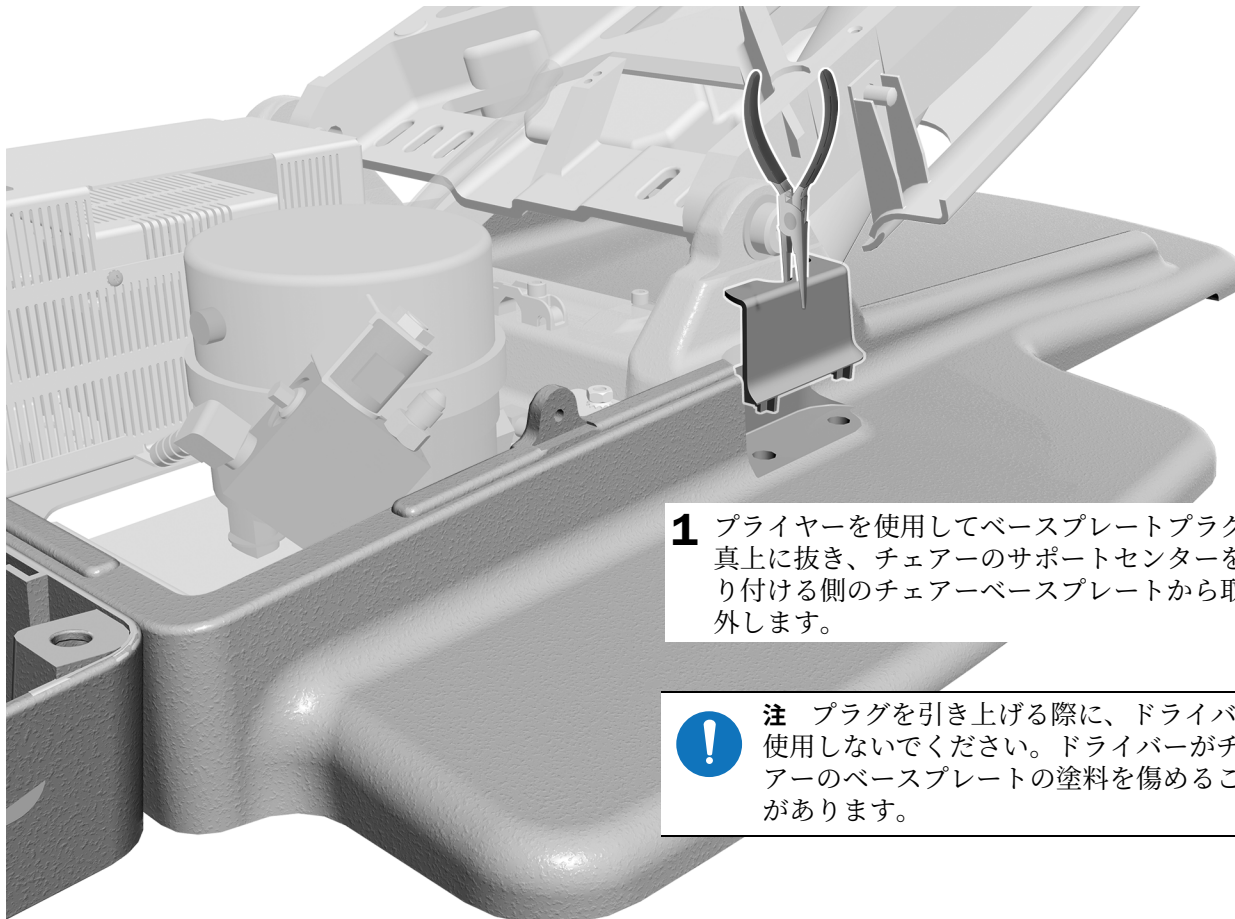
サポートセンターの取り付け

363 サポートセンターは、チェアのどちら側にも取り付けが可能です。これらの手順は、右利きのオペレーター用の設置方法です。

推奨する工具

- プライヤー
- 磁気水準器
- 1/8 インチ、3/16 インチ、3/8 インチの六角レンチ
- 5/16 インチの六角レンチ
- 5/16 インチのヘックスビット付きトルクレンチ
- 巻尺

手順 1.

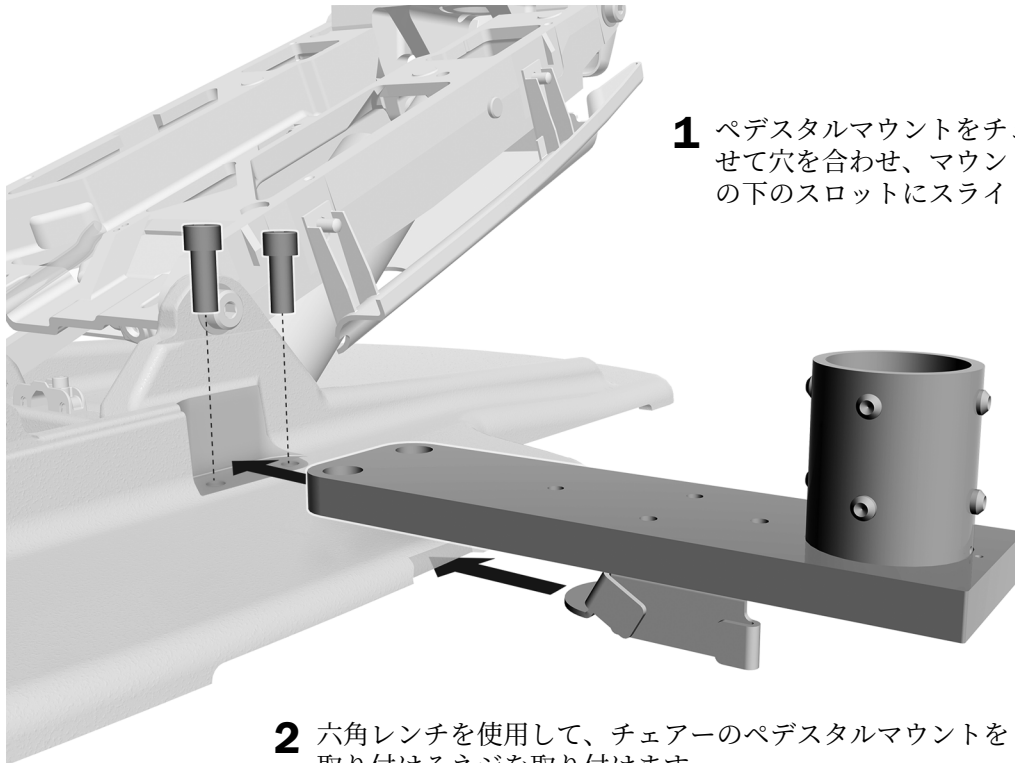


1 プライヤーを使用してベースプレートプラグを真上に抜き、チェアのサポートセンターを取り付ける側のチェアベースプレートから取り外します。



注 プラグを引き上げる際に、ドライバーを使用しないでください。ドライバーがチェアのベースプレートの塗料を傷めることがあります。

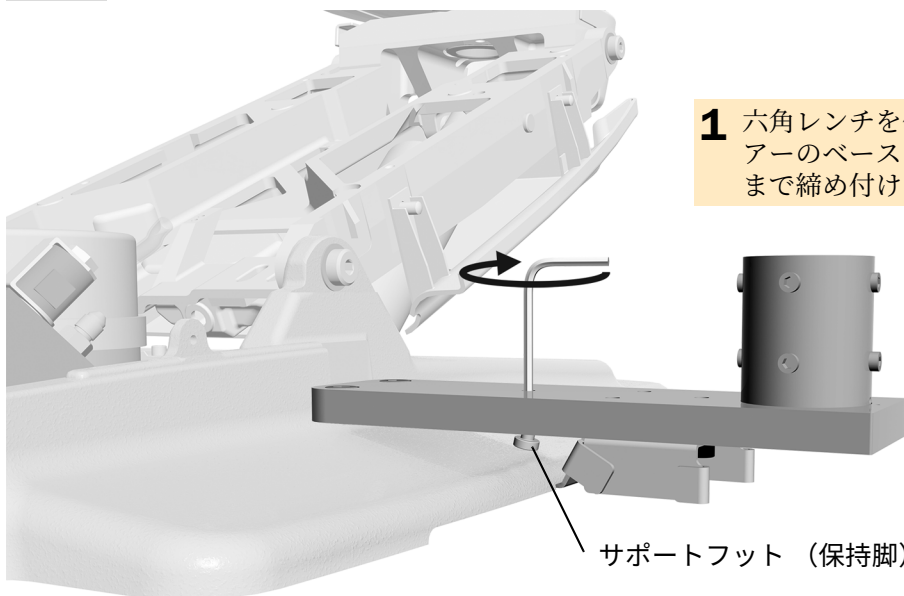
手順 2.



- 1** ペDESTALマウントをチェアの方にスライドさせて穴を合わせ、マウントの下部をベースプレートの下のスロットにスライドさせます。

- 2** 六角レンチを使用して、チェアのペDESTALマウントを取り付けるネジを取り付けます。

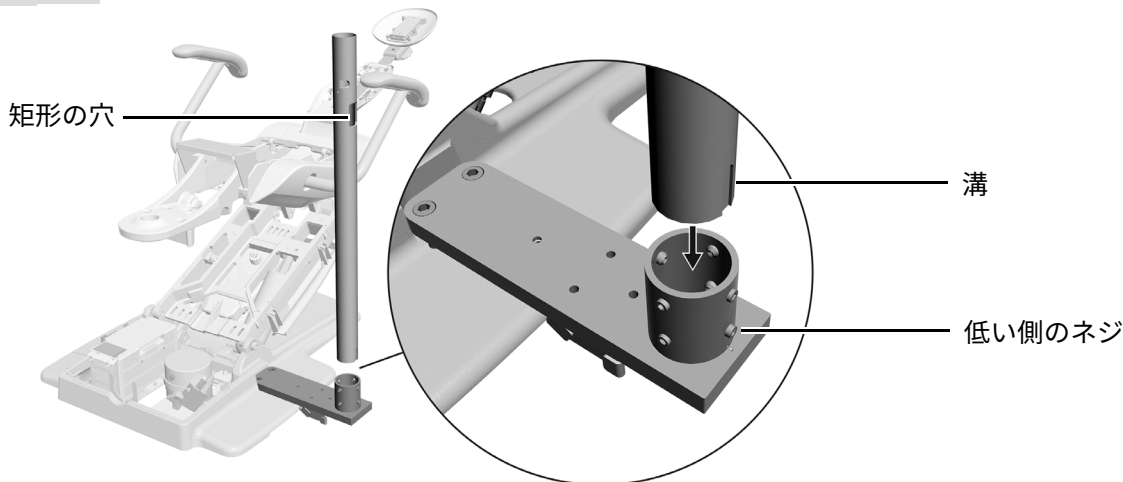
手順 3.



- 1** 六角レンチを使用して、サポートフットがチェアのベースプレートにしっかりフィットするまで締め付けます。

サポートフット (保持脚)

手順 4.



- 1 サポートセンターポストをペダスタルマウントに設置します。矩形の穴とグローブを、チェアを足側から見た場合の右側に向けます。低い側のネジをグローブに差し込みます。

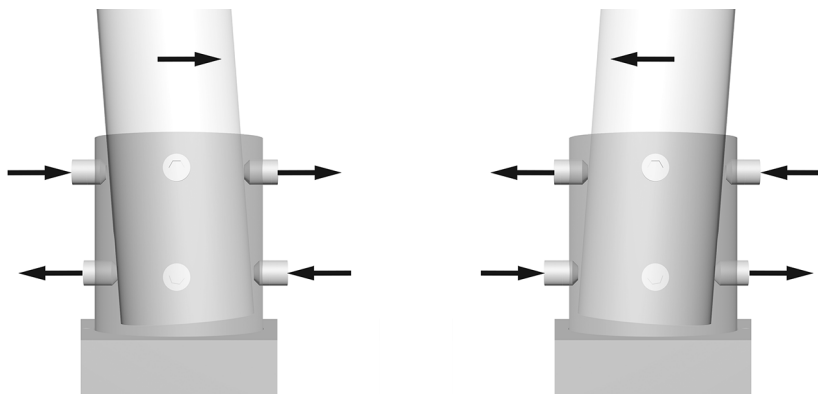
手順 5.

1. 支柱をマウント内部の中心に置きます。
2. レベリングスクリーウのすぐ上に、支柱に対して垂直に水準器を置きます。
3. マウントの周囲にしっかりネジを締めます。支柱をできるだけマウントの中心に保ちます。



ヒント 支柱の矩形の穴の下のネジから始めます。ネジを締めるとき、ネジが支柱の底の溝にはまっていることを確認します。

4. 傾きを変更するには、マウントの上下にあるレベリングスクリーウを互いに反対方向に調整します。どのスクリーウを締めたり緩めたりするかは、修正したい傾きの方向によって決まります。レベリングスクリーウは、2本を1組として締めたり緩めたりします。



5. 水平になるまで、マウントの周囲にある8本すべてのレベリングスクリーウを調整します。システムが水平になったら、レベリングスクリーウをしっかりと締め付けます。



注 これが支柱の初期的なレベリングです。さらに、すべてのモジュールを取り付けた後、サポートセンターの最終レベリングを行う必要があります。

手順 6.

- 1 腕にサポートセンターチュービングの束を巻き付け、サポートセンターを箱から持ち上げます。
- 2 サポートセンターからカバーを外します。



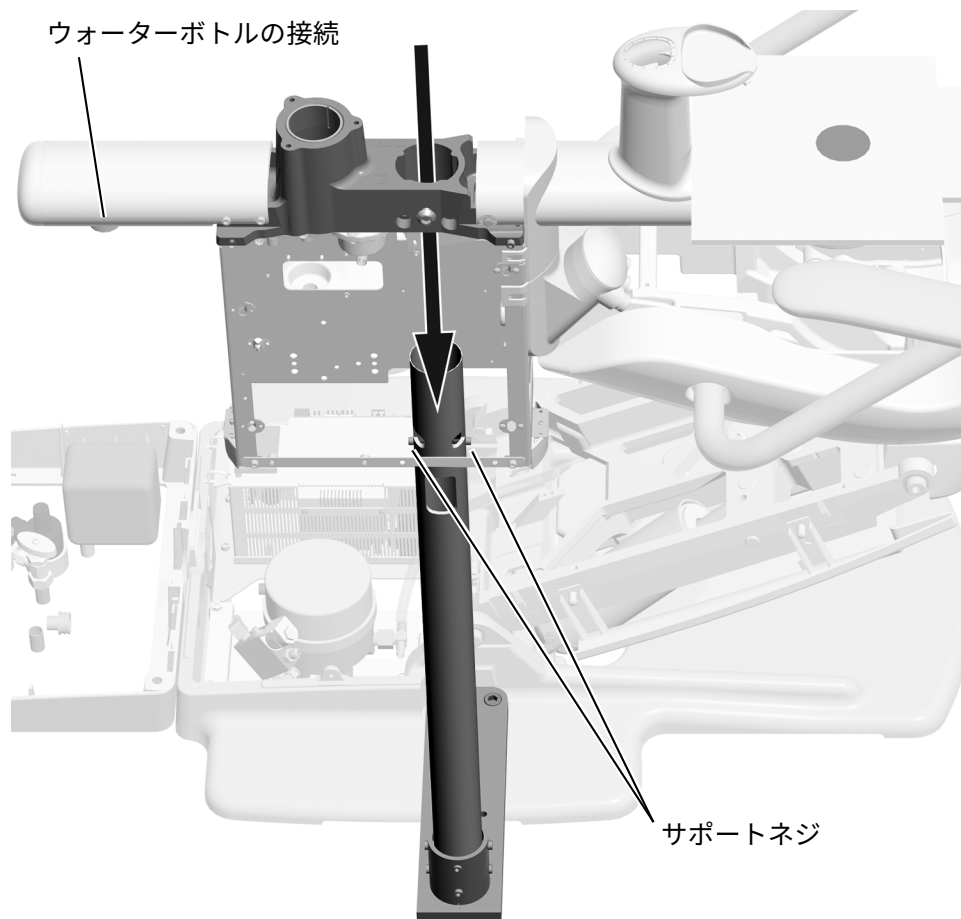
警告 システムにスピットンが含まれている場合は、サポートセンターが適切に配置されるまで、スピットンボウルサポートにケーブル留めされたポジショニングガイドを取り外さないでください。サポートセンターを適切に配置するために、以下のセクションの手順を実行してください。

- 3 ウォーターボトル接続をチェアの足側に向け、サポートセンターポストの上でサポートセンターを保持します。

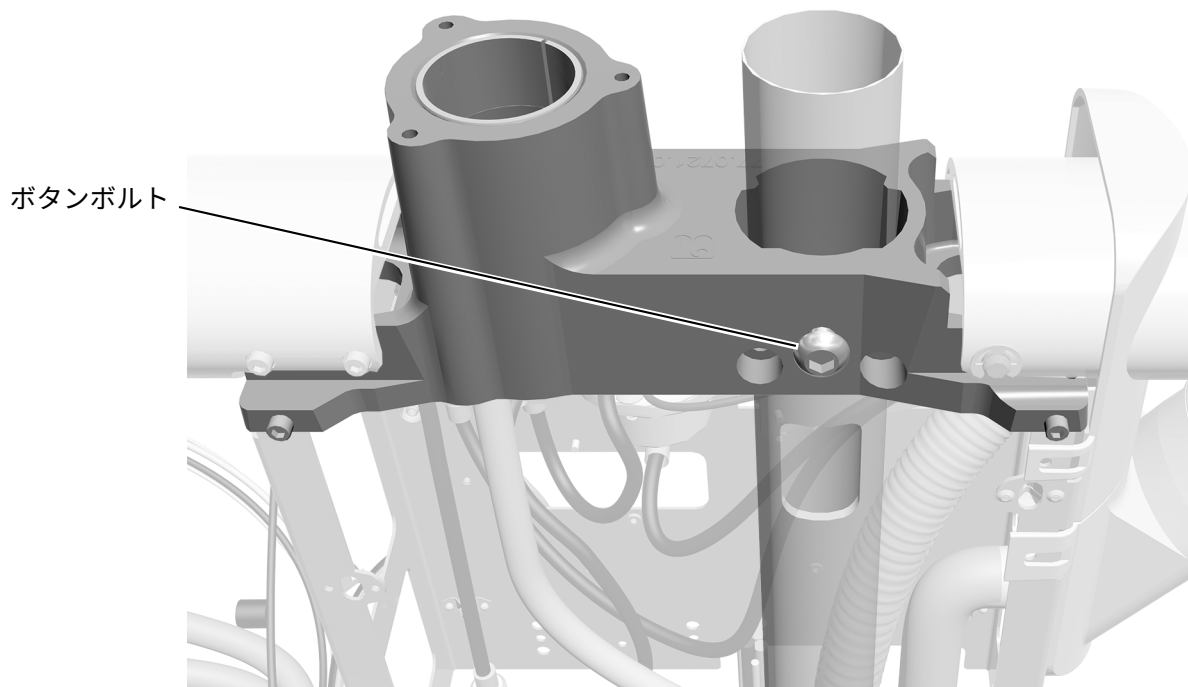


注意 ワイヤーやチューブが引っ掛かったりねじれたりしないよう、いずれもサポートセンターフレームの内側に収めるようにしてください。

- 4 フレームがサポートネジに接触するまで、サポートセンターを支柱に沿って下ろします。



手順 7.



- 1** 六角レンチを使用してボタンボルトを締め、サポートセンターが手動で回転可能かつ自動的には回らない状態にします。

手順 8.

システムにスピットンが含まれている場合：

- 1 チェアの電源をオンにします。
- 2 ポジショニングガイドを開きます。



警告 ポジショニングガイドとアームレストが接触しないよう、スピットンボウルとアームレスト間に適切なクリアランスを確保する必要があります。

- 3 ポジショニングガイドとアームレストが接触しないものの、すき間ができないようにサポートセンターの位置を合わせます。（すき間があると、サポートセンターのカバーが正しく取り付けられない場合があります）。



注記 回路基板は静電気の影響を受けやすい部品です。回路基板に触れる場合、あるいは回路基板への接続または回路基板からの接続を行う場合は、静電放電（ESD）対策が必要です。回路基板の取り付けは、必ず電気技師または適切な資格を持った整備担当者が行ってください。

- 4 クリアランスをテストするために、ジャンパーを使用してチェアを上下に動かします。

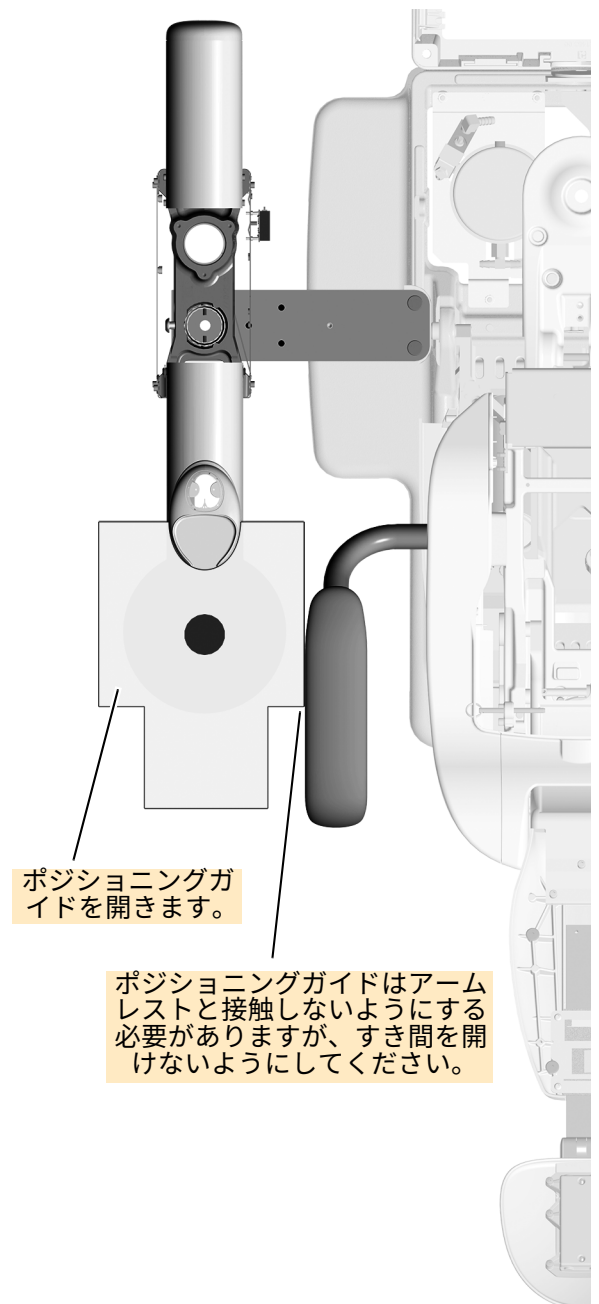


警告 この手順を開始する前に電源をオフにしないと、製品の損傷や、重傷または死亡事故につながるおそれがあります。

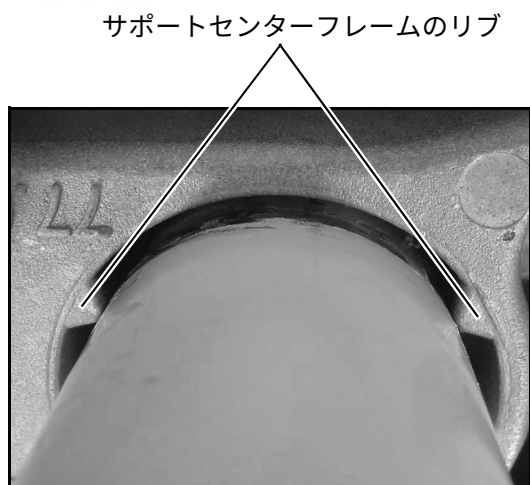
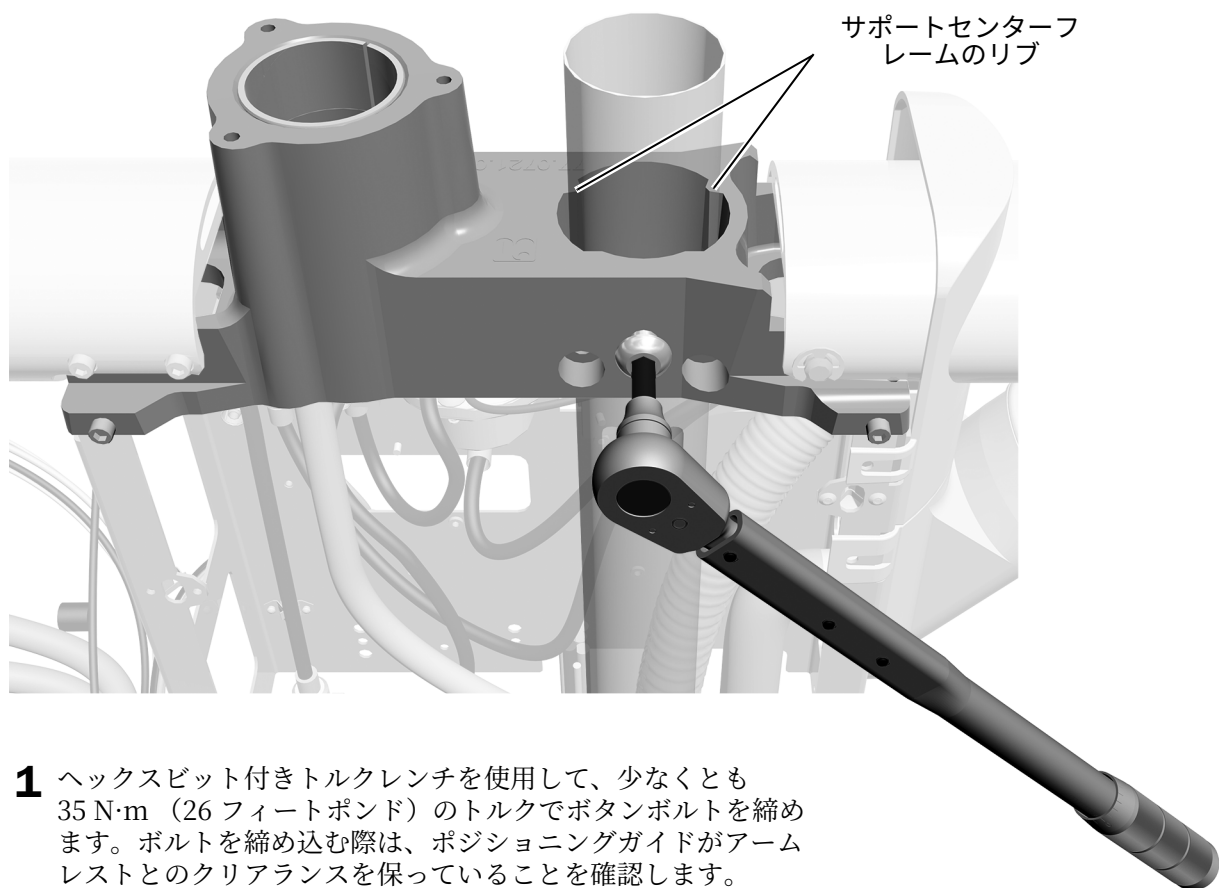
- 5 チェアの電源をオフにします。

システムにスピットンが含まれていない場合、またはチェアのスピットンの横にアームレストがない場合：

- 1 歯科用椅子と平行になるようにサポートセンターの位置を合わせます。



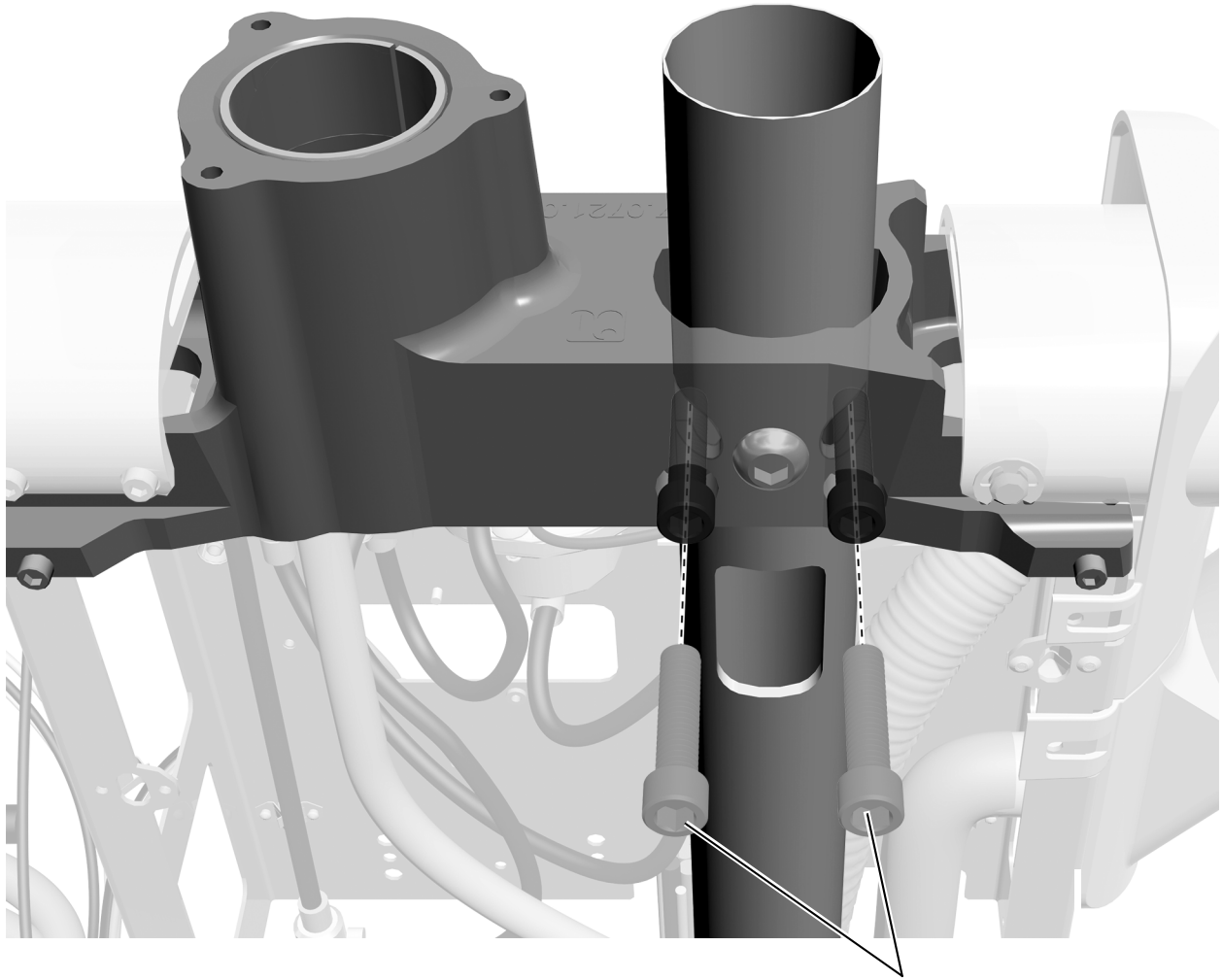
手順 9.



注 サポートセンターのフレームのリブ全体が完全に支柱に差し込まれている必要があります。差し込みが不完全な場合、取り付け作業後半のレベリングで問題が発生します。

手順 10.

- 1** 六角レンチを使用して、1-1/2 インチのソケットスクリューを2本取り付けます。サポートセンターポストの穴の背面に均等に接触し、しっかりと固定されるまで、ネジを交互に締めます。



ソケットスクリュー



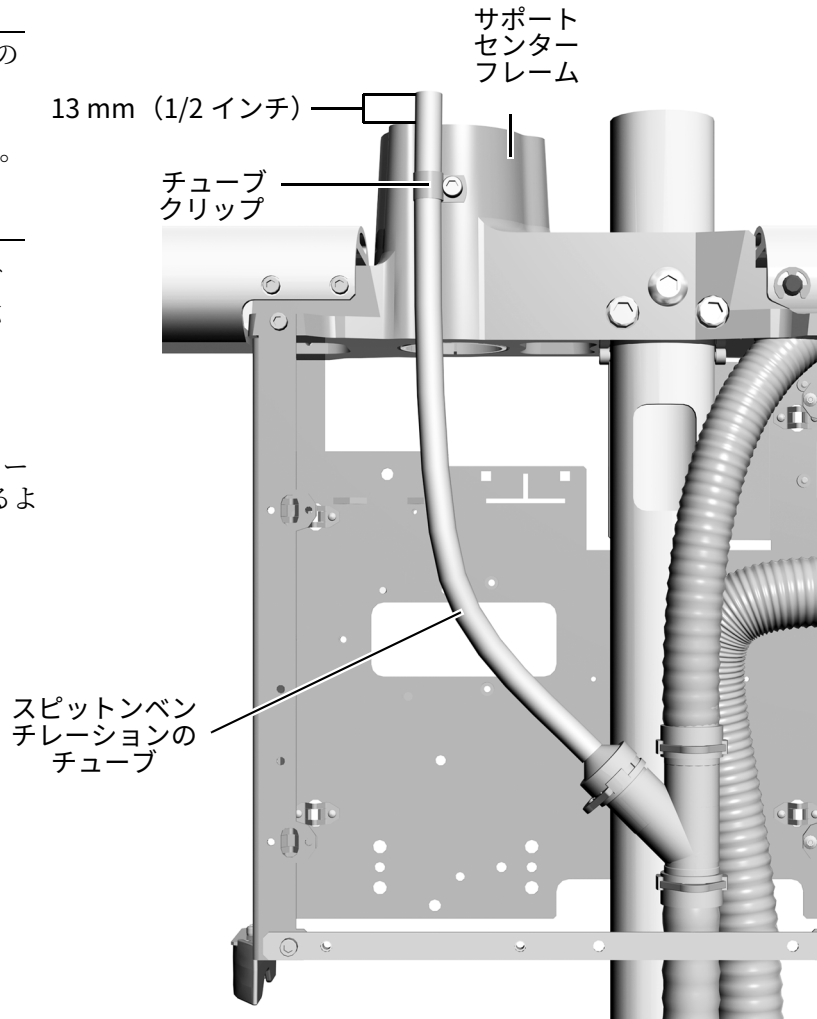
注 ネジを締め込む際は、ポジショニングガイドがアームレストとのクリアランスを保っていることを確認します。

手順 11.



注意 スピットンベンチレーションのチューブの末端がサポートセンターのフレームの 13 mm (1/2 インチ) 上に位置していることを確認します。これにより、スピットンが適切に排水されます。

- 1** スピットンベンチレーションのチューブの長さを調整する必要がある場合は、六角レンチを使用して、スピットンベンチレーションのチューブをサポートセンターに固定しているクリップを緩めます。
- 2** チューブの端がサポートセンターのフレームの 13 mm (1/2 インチ) 上に位置するようにチューブを引き上げます。
- 3** クリップを締めて、ベンチレーションのチューブを適切な位置に固定します。



A-dec 352/353 歯科助手用器具の取り付け

適切な手順に従って、歯科助手用器具を取り付けます。

伸縮式アームに装着された A-dec 352 歯科助手用器具の取り付け	13
A-dec 353 スピットン装着型歯科助手用器具の取り付け	17



A-dec 352 伸縮式歯科助手用器具
タッチパッド付き (オプション)



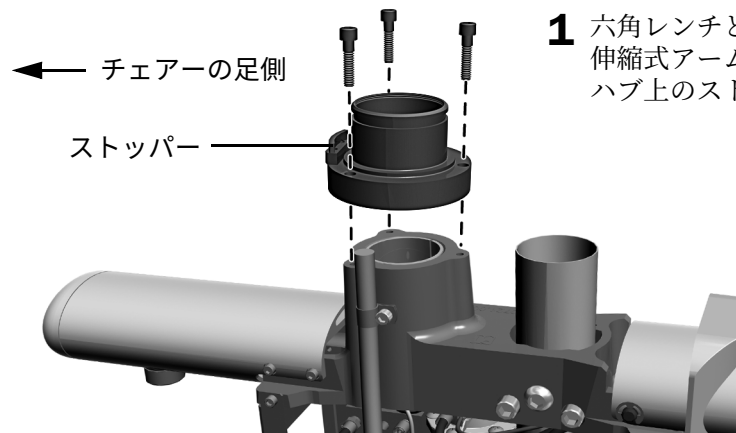
A-dec 353 スピットン装着型歯科助手用
器具タッチパッド付き (オプション)

伸縮式アームに装着された A-dec 352 歯科助手用器具の取り付け

推奨する工具

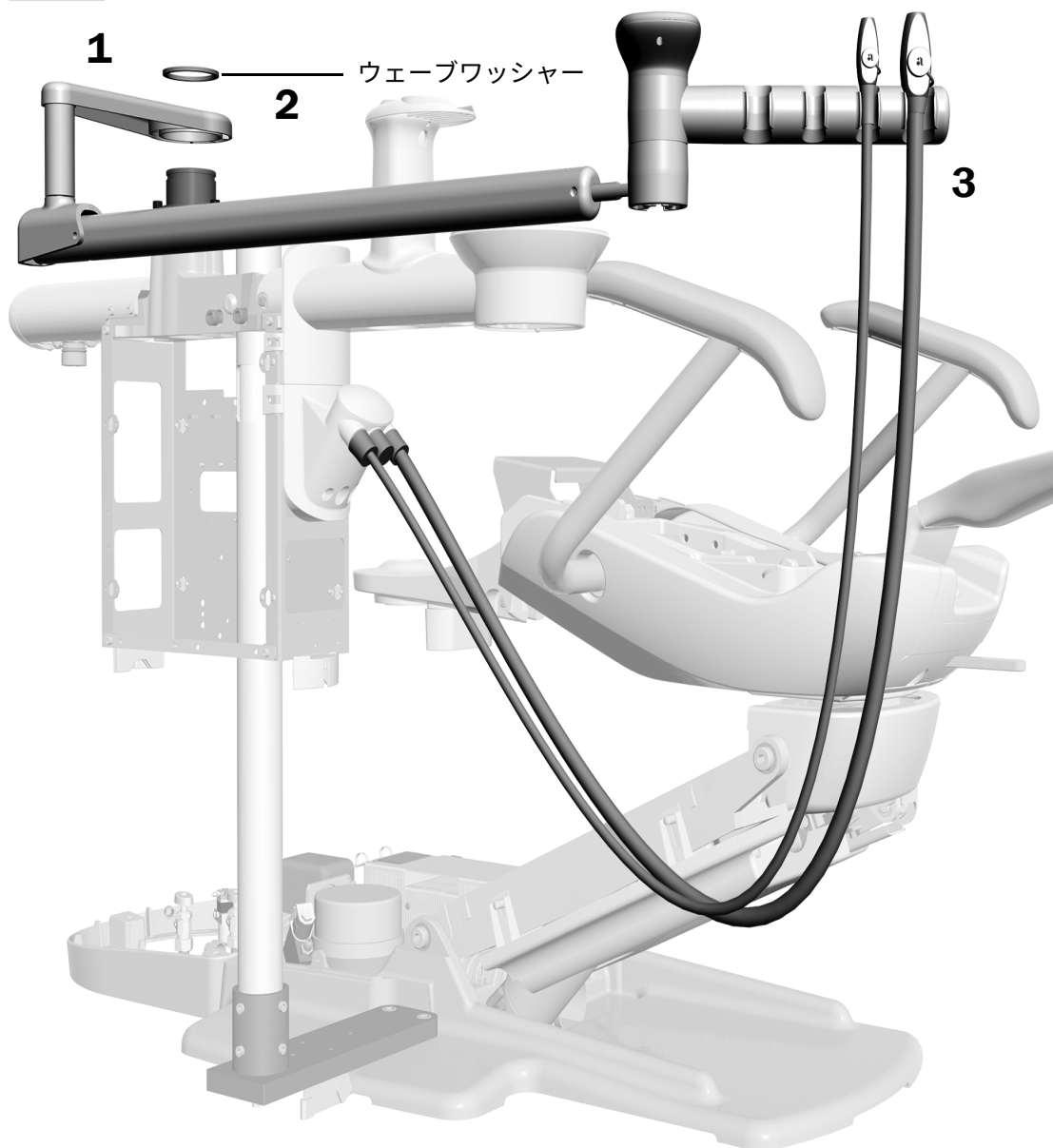
- 3/16 インチの六角レンチ
- 斜ニッパー

手順 1.



- 1 六角レンチと1インチのソケットスクリュー3本を使用して、伸縮式アームのハブをサポートセンターに取り付けます。ハブ上のストッパーがチェアの足側を向くようにします。

手順 2.



1. 歯科助手用アームをハブにセットします。
2. ウェーブワッシャーの端を押し下げ、ハブの突起部にセットします。ワッシャーが完全に押し下げられ、適切に取り付けられるまで、ハブ周りを合理的に調整します。
3. 高容量吸引装置（HVE）と排唾管をそれぞれのホルダーに配置してから、それぞれのチューブをバキュームキャニスターに取り付けます。



注 システムにエアバキュームシステムが含まれている場合、HVE と排唾管は出荷時に取り付けられているため、取り外すことはできません。

手順 3.

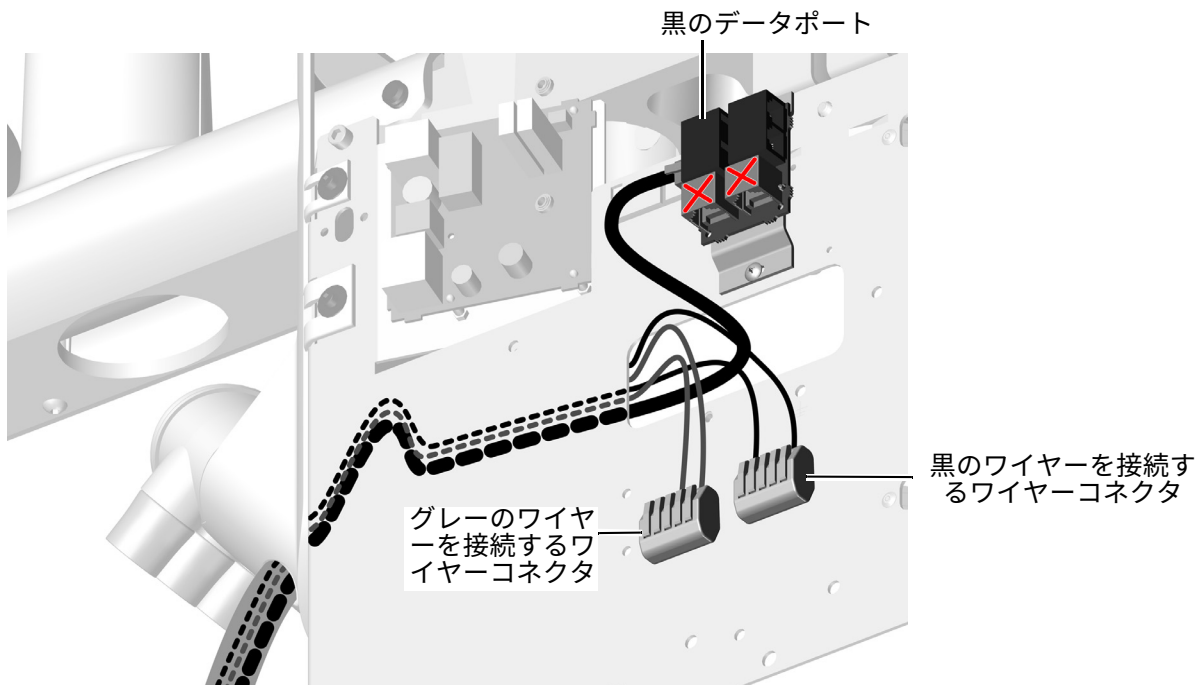
注記 回路基板は静電気の影響を受けやすい部品です。回路基板に触れる場合、あるいは回路基板への接続または回路基板からの接続を行う場合は、静電放電（ESD）対策が必要です。回路基板の取り付けは、必ず電気技師または適切な資格を持った整備担当者が行ってください。

- 1** システムにタッチパッドが含まれている場合は、タッチパッドのチューブをバキュームキャニスターの下から右の穴（最も大きな穴）に通します。
- 2** チューブ上にワッシャーを取り付けてから、チューブ内にブッシング（軸受筒）を差し込んで、タッチパッドのチューブの張力緩和を行います。



ヒント 張力緩和装置をセットする際は、他の器具のチューブの緩みに合わせ、十分な長さのチューブを残してください。

- 3** タッチパッドのデータ回線と電源ケーブルを、サポートセンターから矩形の穴を通してサポートセンターのフレームの外側に出します。



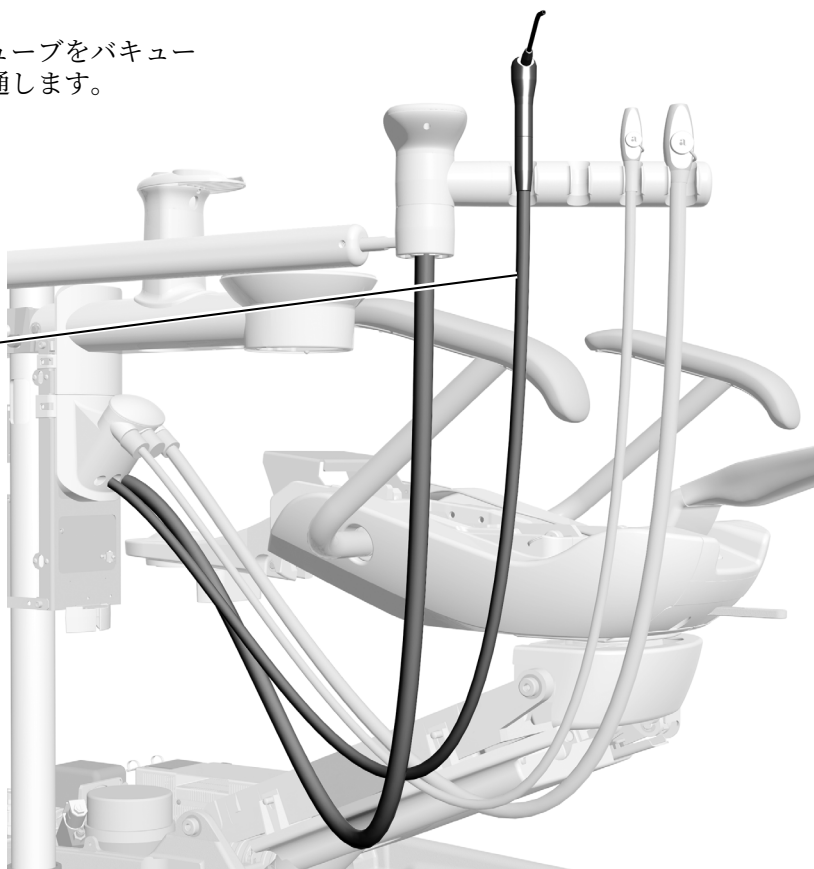
注意 黒の DCS1 データ回線をグレーの DCS2 ポートに差し込むと、製品が損傷することがあります。

- 4** データ回線を黒の DCS1 データポートに差し込みます。
- 5** 各電源ワイヤーを、同色のワイヤーが接続されたワイヤーコネクタに取り付けます。

手順 4.

- 1 シリンジをホルダーに配置し、そのチューブをバキュームキャニスターの下にある中央の穴に通します。

シリンジ
チューブ



- 2 ケーブル留めと黒のワッシャーを使用して、シリンジチューブの張力緩和を行います。チューブをしっかりと支えるため、ケーブル留めを2周させます。



ヒント 張力緩和装置をセットする際は、他の器具のチューブの緩みに合わせ、十分な長さのチューブを残してください。

A-dec 353 スピットン装着型歯科助手用器具の取り付け

推奨する工具

- 斜ニッパー
- 六角レンチセット

手順 1.

- 1 斜ニッパーを使用してケーブル留めを切断し、スピットンのポジショニングガイドとフォームプラグを取り外します。

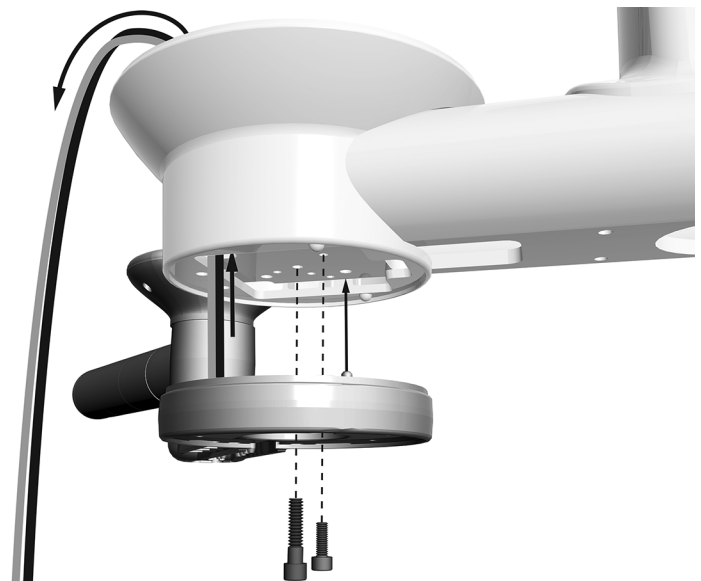


注 ポジショニングガイドと、それをスピットンボウルサポートに固定するフォームプラグは取っておきます。スピットンボウルとアームレスト間に適切なクリアランスが確保されていることを確認するために、後で必要になります。詳細については、56 ページの「スピットンボウルのクリアランスの確認」を参照してください。

- 2 システムにエアバキュームシステム (AVS) が含まれている場合は、六角レンチを使用して、トグルスイッチアセンブリをスピットンボウルサポートの底部に接続している 2 本のネジを取り外します。

手順 2.

- 1 歯科助手用器具にタッチパッドが含まれている場合は、電源ケーブルとデータ回線を上のスピットンホルダーに通します。
- 2 歯科助手用器具をスピットンホルダーの下に配置し、支柱がスピットンボウルサポートの底部の穴に合うまで、チェアから離れる方向に回転させます。
- 3 歯科助手用器具をスピットンホルダーの底部に取り付けます。
 - 六角レンチを使用して、中央の穴用のネジを取り付けます。
 - 六角レンチを使用して、中心からずれ、周囲がくぼんだ大きい穴にネジを取り付けます。
- 4 手順 1 のステップ 2 で AVS トグルスイッチアセンブリを取り外した場合は、ここで接続し直します。



ソケットスクリュー (実寸表示)



中央の穴用
(1/4-20 x 1 インチ
のネジ)



周囲がくぼんだ穴用
(10-32 x 5/8 インチ
のネジ)

手順 3.

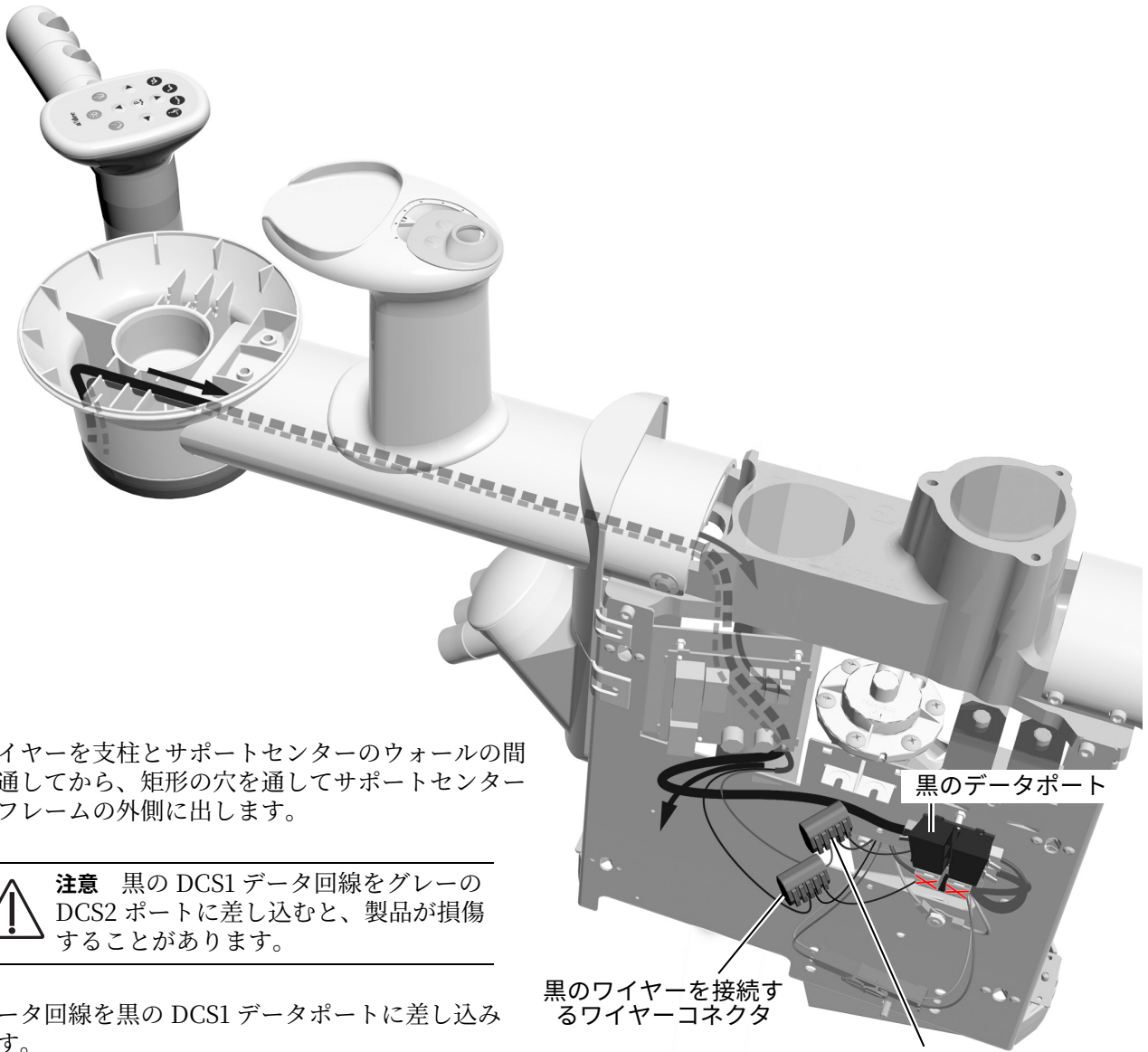
歯科助手用器具にタッチパッドが含まれる場合：

- 1 電源ケーブルとデータ回線を、スピットンアームを通してサポートセンターに配線します。



ヒント ケーブル留めをワイヤーの端に取り付け、スピットンアームに通します。

- 2 電源ケーブルとデータ回線をスピットンの溝に通します。



- 3 ワイヤーを支柱とサポートセンターのウォールの間を通してから、矩形の穴を通してサポートセンターのフレームの外側に出します。



注意 黒の DCS1 データ回線をグレーの DCS2 ポートに差し込むと、製品が損傷することがあります。

- 4 データ回線を黒の DCS1 データポートに差し込みます。
- 5 各電源ワイヤーを、同色のワイヤーが接続されたワイヤーコネクタに取り付けます。

黒のワイヤーを接続するワイヤーコネクタ

グレーのワイヤーを接続するワイヤーコネクタ

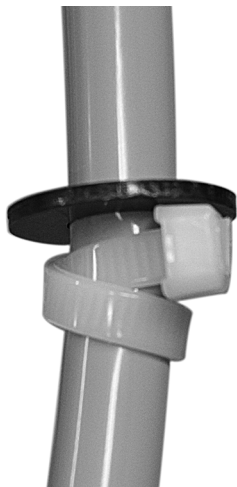
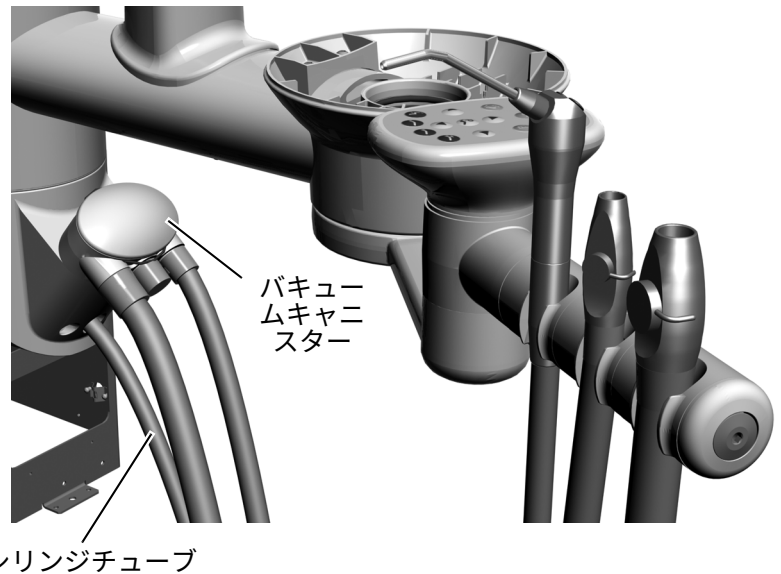
手順 4.

- 1** 高容量吸引装置（HVE）と排唾管をそれぞれのホルダーに配置してから、それぞれのチューブをバキュームキャニスターに取り付けます。



注 システムに AVS が含まれている場合、HVE と排唾管は出荷時に取り付けられているため、取り外すことはできません。

- 2** シリンジをホルダーに配置し、そのチューブをバキュームキャニスターの下にある中央の穴に通します。



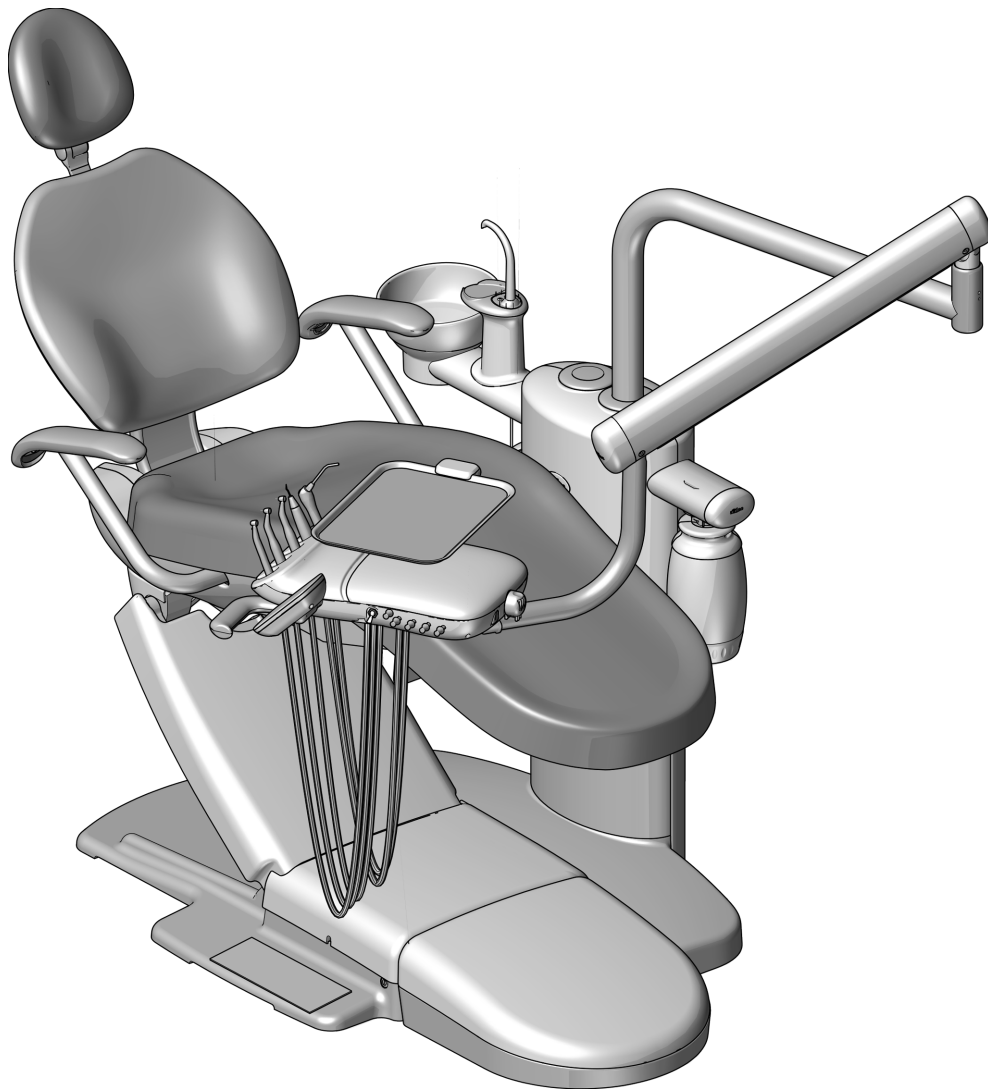
- 3** ケーブル留めと黒のワッシャーを使用して、シリンジチューブの張力緩和を行います。チューブをしっかりと支えるため、ケーブル留めを 2 周させます。



ヒント 張力緩和装置をセットする際は、他の器具のチューブの緩みに合わせ、十分な長さのチューブを残してください。

A-dec 334pro/335pro/334/335 デリバリーシステムの取り付け

A-dec サポートセンターは、Traditional (A-dec 334pro/334) または Continental® (A-dec 335pro/335) デリバリーシステムを使用して構成できます。どちらのデリバリーシステムでも、取り付け手順は同じです。

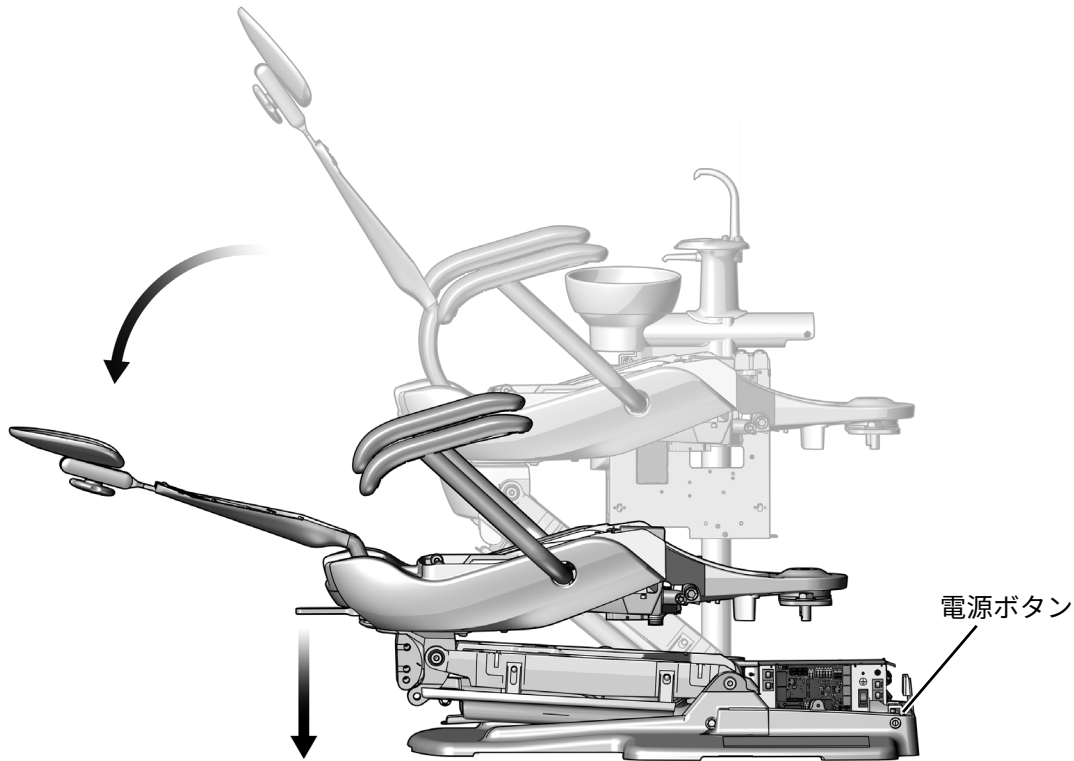


A-dec 334pro Traditional デリバリーシステム

推奨する工具

- 六角レンチセット
- 3/8 インチのコンビネーション・レンチ
- 斜ニッパー

デリバリーシステムのコンポーネントの取り付け 手順 1.



- 1 チェアの電源をオンにします。



注記 回路基板は静電気の影響を受けやすい部品です。回路基板に触れる場合、あるいは回路基板への接続または回路基板からの接続を行う場合は、静電放電（ESD）対策が必要です。回路基板の取り付けは、必ず電気技師または適切な資格を持った整備担当者が行ってください。

- 2 ジャンパーを使用してチェアを完全に下げます。



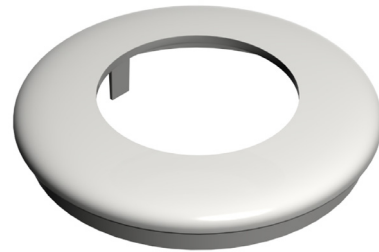
警告 この手順を開始する前に電源をオフにしないと、製品の損傷や、重傷または死亡事故につながるおそれがあります。

- 3 チェアの電源をオフにします。

手順 2.

1 デリバリーシステムの支柱には、必ず正しいトリムリングを取り付けてください。

- デリバリーシステムは含まれているが、伸縮式アームに装着された歯科助手用器具はない場合、デリバリーシステムの支柱に付属のトリムリングを使用します。



デリバリーシステムで使用されるトリムリング。歯科助手用器具なしの場合。

- デリバリーシステムと伸縮式アームに装着された A-dec 352 歯科助手用器具が含まれている場合、そのキットに付属のトリムリングを使用します。



デリバリーシステムで使用されるトリムリング。伸縮式アームに装着された A-dec 352 歯科助手用器具がある場合。

手順 3.

1 デリバリーシステムを持ち上げて肩の上でバランスを取り、チューブとワイヤーの束を通すために片方の腕を空けてください。

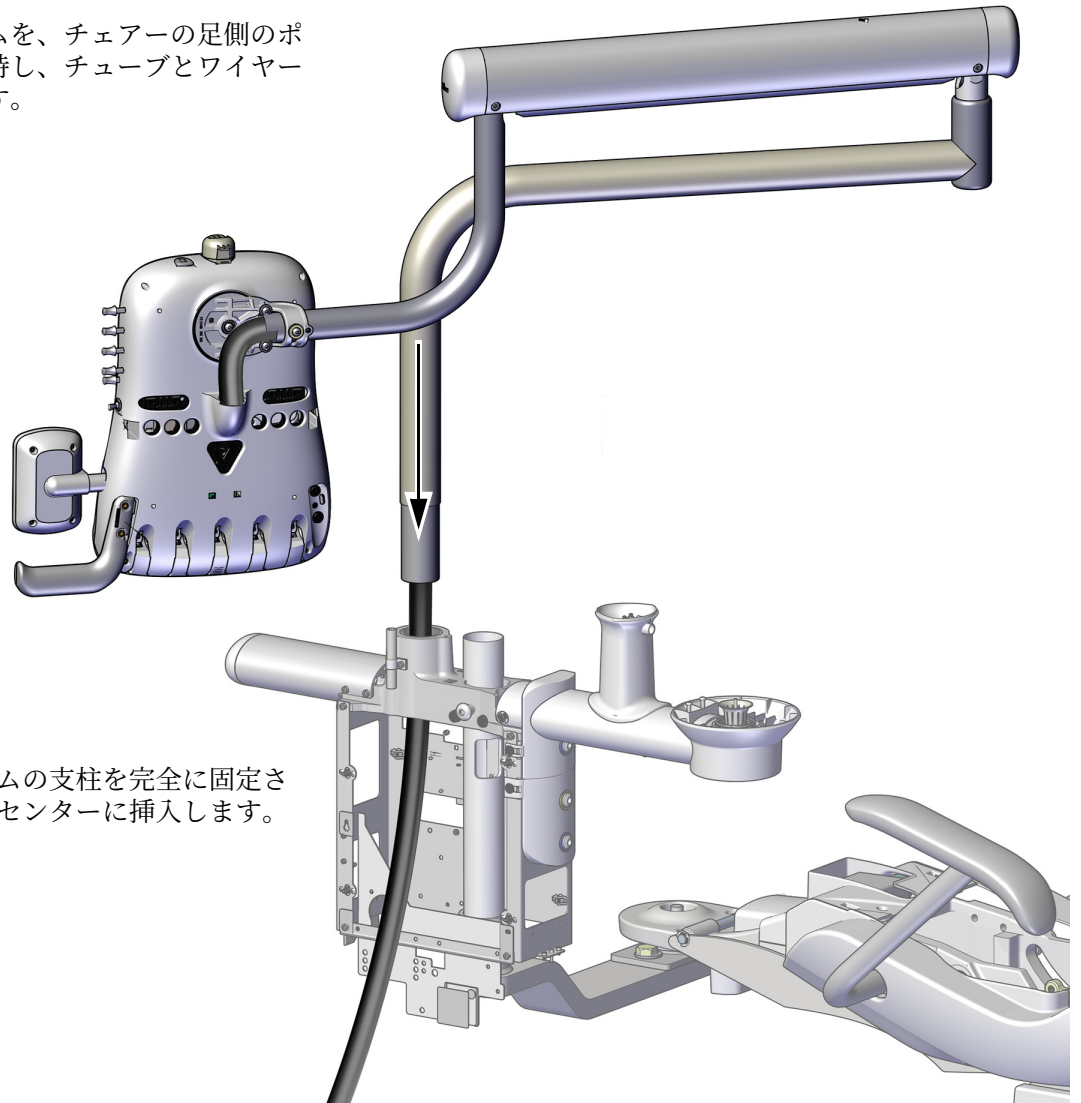


A-dec 334pro の図

手順 4.

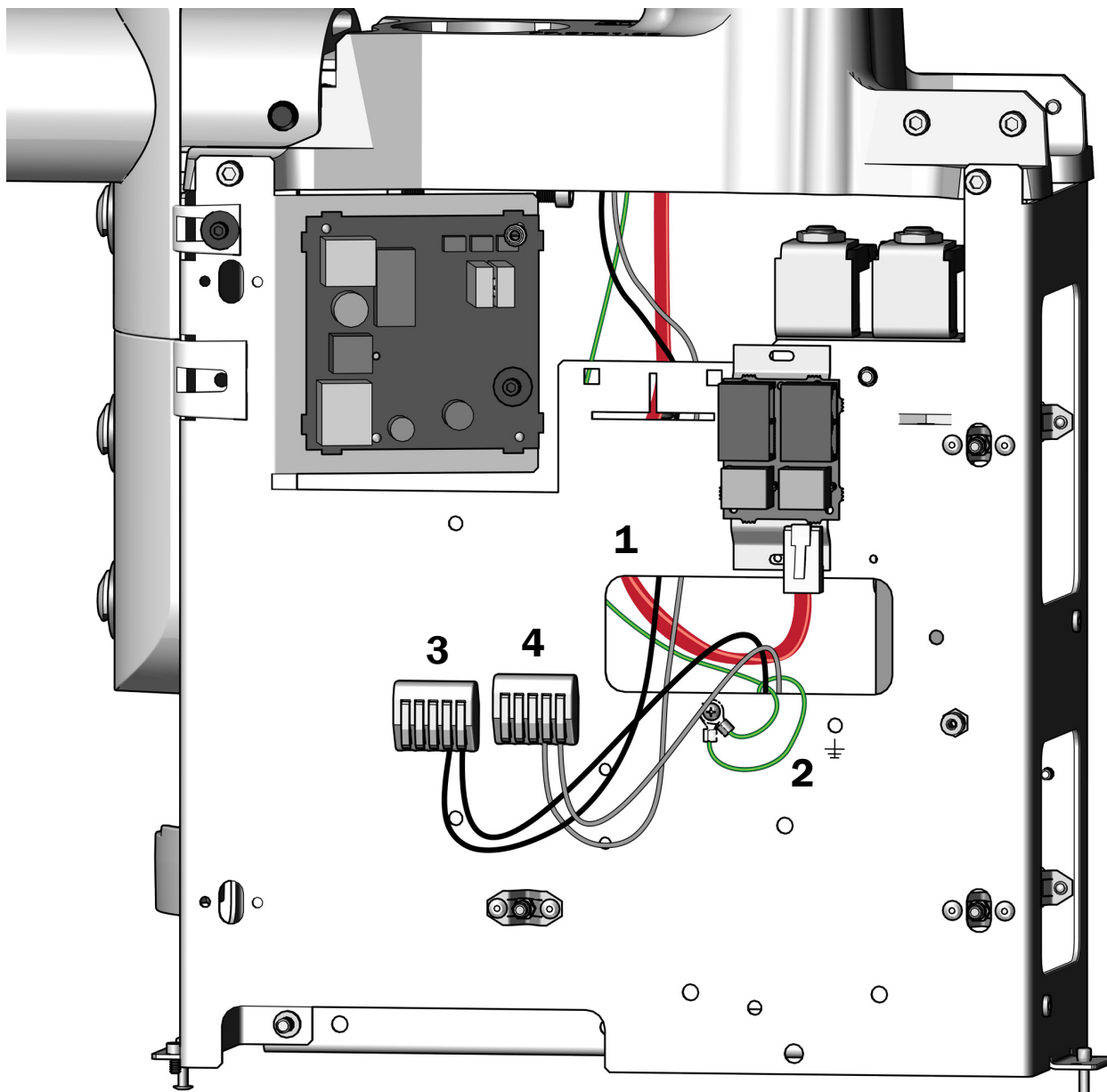
- 1** デリバリーシステムを、チェア側のポストホール上で保持し、チューブとワイヤーの束を穴に通します。

A-dec 335pro の図



- 2** デリバリーシステムの支柱を完全に固定されるまでサポートセンターに挿入します。

手順 5.

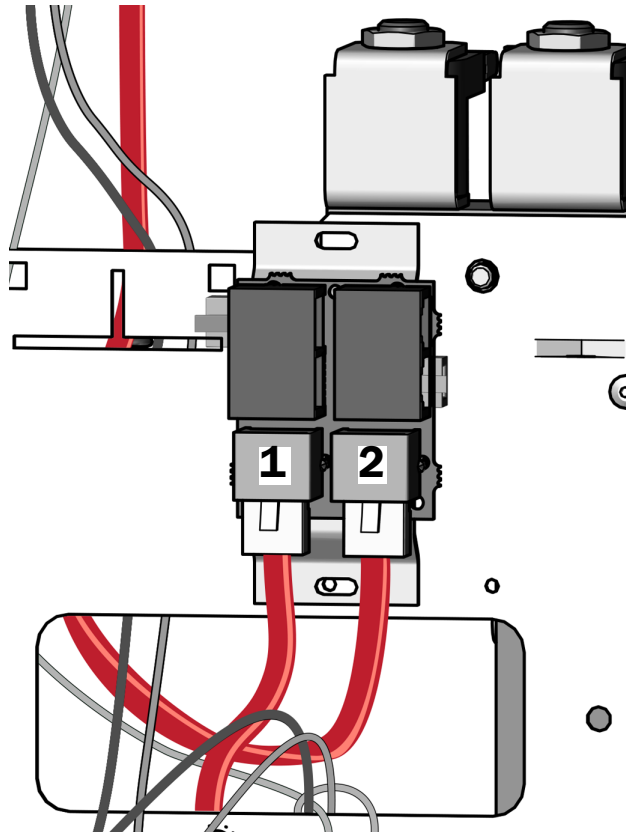


334pro/335pro からのワイヤーおよび赤の DCS2 データ回線の図

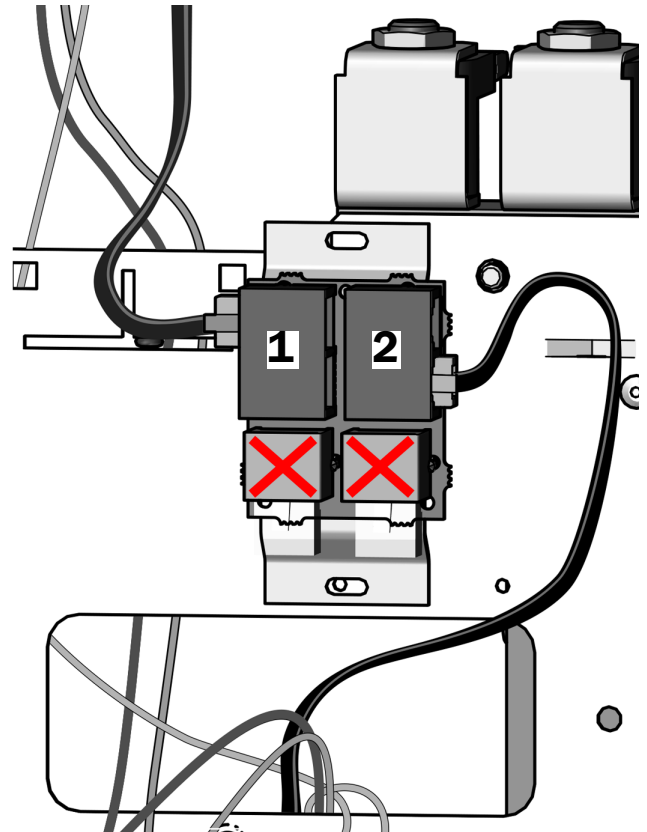
- 1** デリバリーシステムからのワイヤーとデータ回線を、矩形の穴からサポートセンターのフレームの外側に出します。
- 2** アース線を接続します。
- 3** 黒のワイヤーを、別の黒のワイヤーがすでに接続されているワイヤーコネクタに接続します。
- 4** グレーのワイヤーを、別のグレーのワイヤーがすでに接続されているワイヤーコネクタに接続します。

手順 6.

次のうちいずれかを行います。

A-dec 334pro/335proデリバリーシステム

- 1** チェア回路基板からの赤の DCS2 データ回線を穴に通し、**グレー**の DCS2 データポートに接続します。
- 2** デリバリーシステムからの赤の DCS2 データ回線を、**グレー**の DCS2 データポートに差し込みます。
- 3** 黒の 2 ポジションコネクタを黒の 24 VAC 絶縁リードに接続します (ある場合)。
- 4** 余分なワイヤーを巻いてサポートセンターの中に収納します。

A-dec 334/335デリバリーシステム

注意 黒の DCS1 データ回線をグレーの DCS2 ポートに差し込むと、製品が損傷することがあります。

- 1** デリバリーシステムからの**黒**の DCS1 データ回線を、**黒**の DCS1 データポートに差し込みます。
- 2** チェア回路基板からの**黒**の DCS1 データ回線を穴に通し、**黒**の DCS1 データポートに接続します。
- 3** 黒の 2 ポジションコネクタを黒の 24 VAC 絶縁リードに接続します (ある場合)。
- 4** 余分なワイヤーを巻いてサポートセンターの中に収納します。

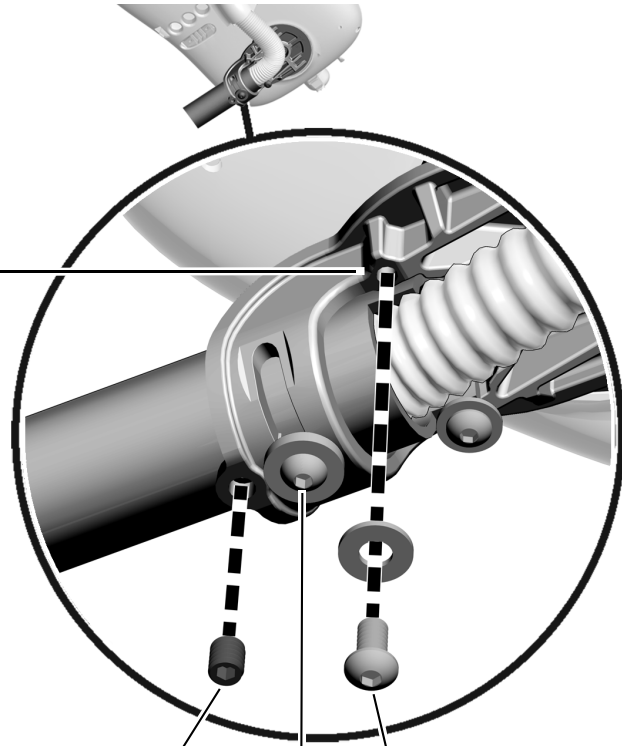
手順 7.

1. ボタンボルトを緩めます。



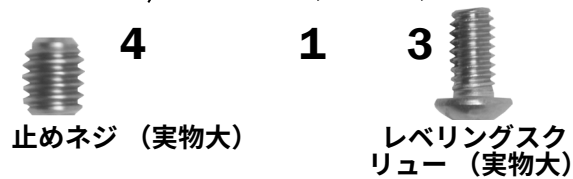
注 ボタンボルトを完全には引き出さないでください。コントロールヘッドを動かせる程度に緩めれば十分です。

2. コントロールヘッドを回転させ、レベリングスクリー用の穴の位置に合わせます。
3. 1/4-20 x 1/2 インチのレベリングスクリーとワッシャーを取り付けて締めます。
4. 3/8 インチ止めネジを取り付けます。
5. ボタンボルトを締めます。



ハンドピース管と調整キーの取り付け (A-dec 334pro/334/335 のみ)

A-dec 334pro の図



手順 8.

ハンドピース管と調整キーの取り付け (A-dec 334pro/334/335 のみ)

- 1 ハンドピース管を、使用に適した位置に設置します。

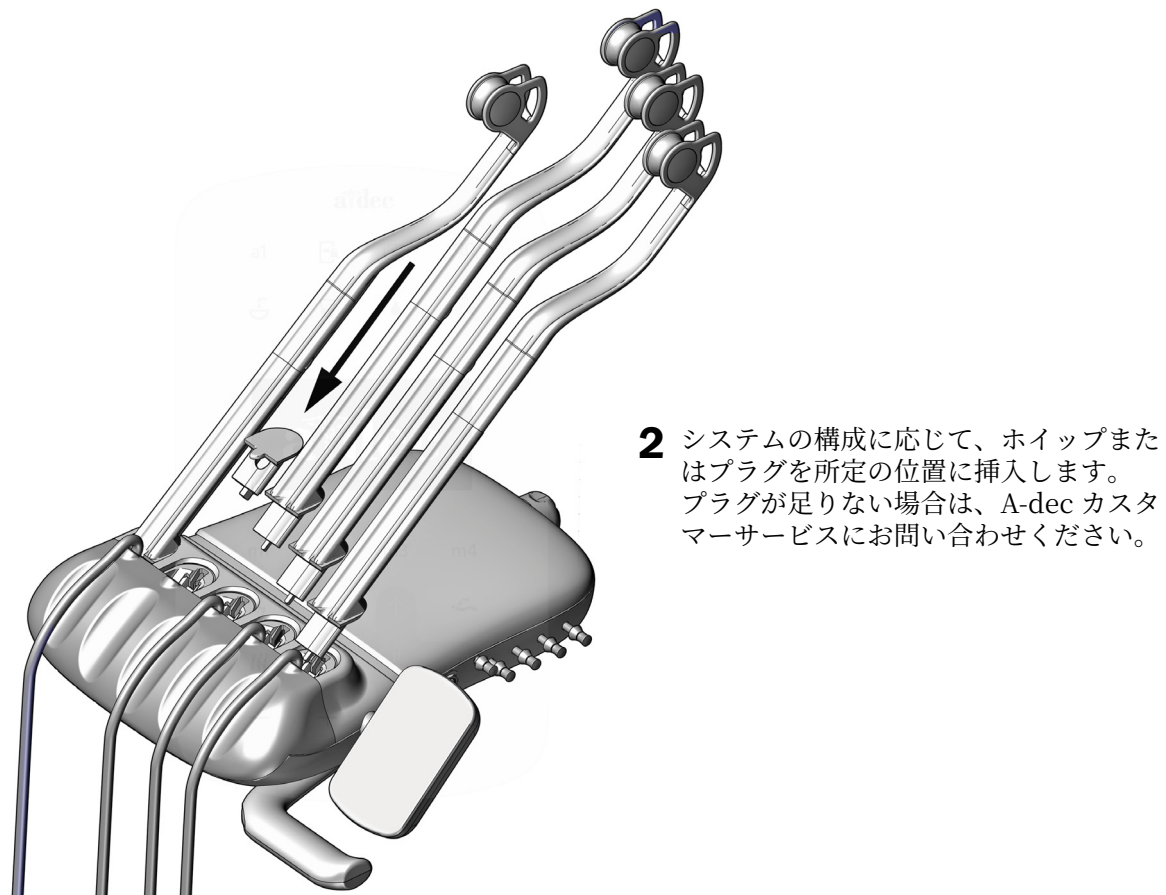
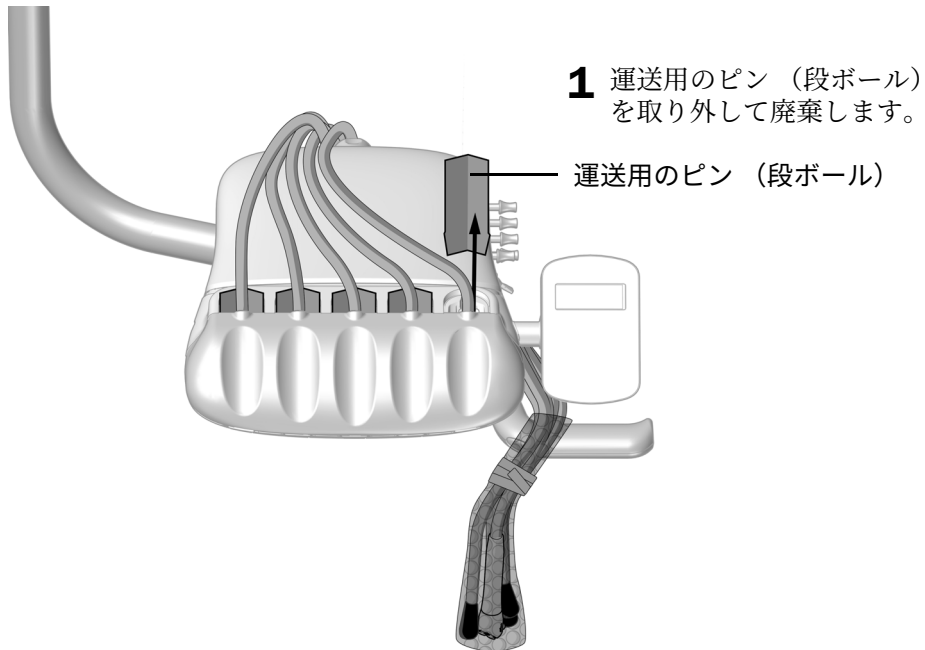
- 2 A-dec 335 Continental デリバリーシステムのみ：ホイップフックを差し込みます。

A-dec 335 の図

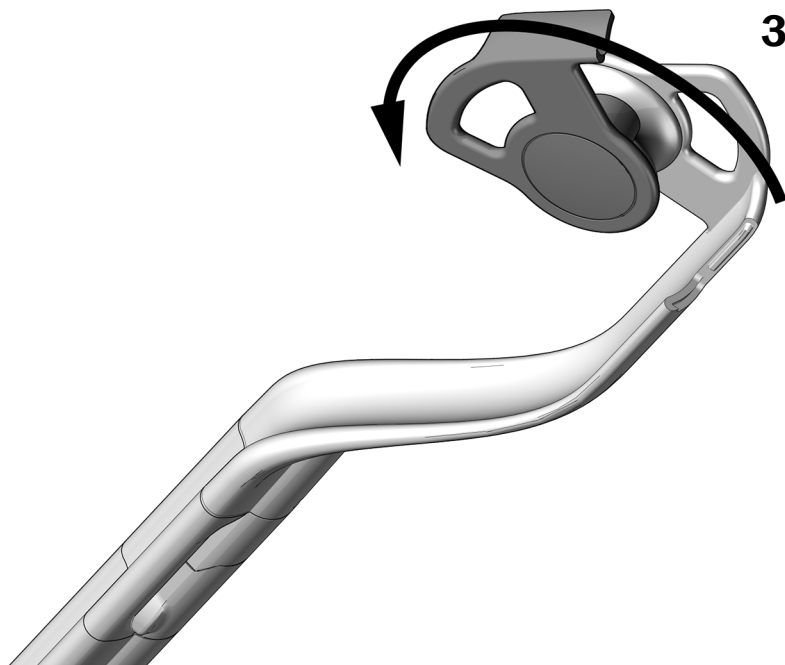
- 3 調整キーを差し込みます。

手順 9.

Continental ホイップと調整キーの取り付け (A-dec 335pro のみ)



- 3** ホイップを開くには、配管ガイドを反時計回りに90°回転させます。



- 4** チューブをホイップアセンブリに通します。
- 5** 配管ガイドを閉じ、カチッと音がしてしっかりと閉まったことを確認します。
- 6** ハンドピース管をそれぞれのホルダーに配置し、コントロールヘッドの側面のそれぞれの穴に調整キーを差し込みます。

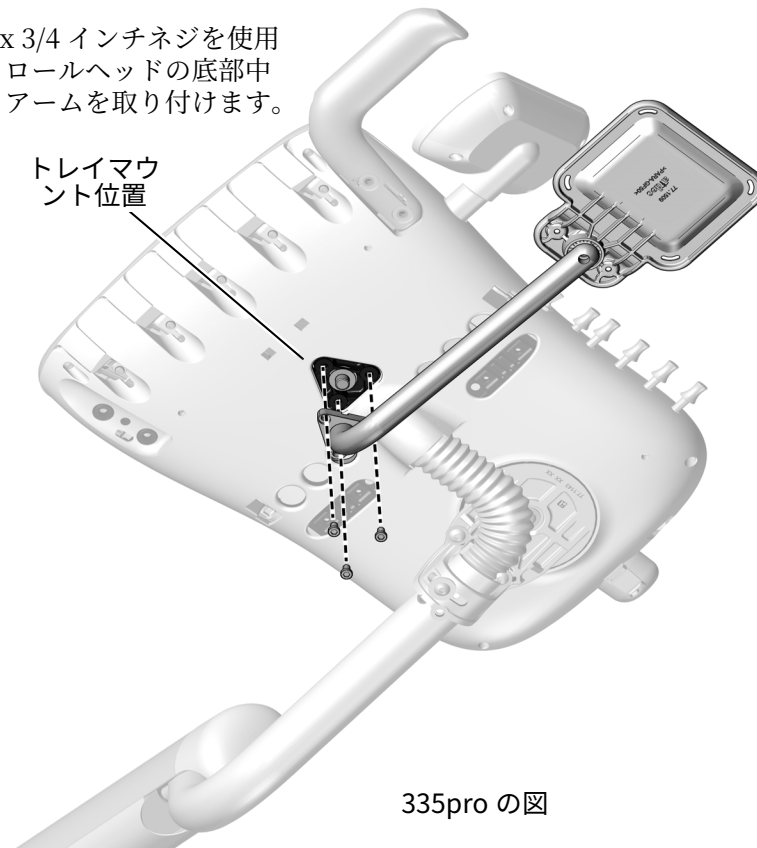


トレイ・ホルダーマウント（オプション）の取り付け

トレイ・ホルダーを取り付けるには、デリバリーシステムのタイプを選択し、必要な手順を実行します。

Continental デリバリーシステム

- 1 3本の 10-32 x 3/4 インチネジを使用して、コントロールヘッドの底部中央にマウントアームを取り付けます。



Traditional デリバリーシステム

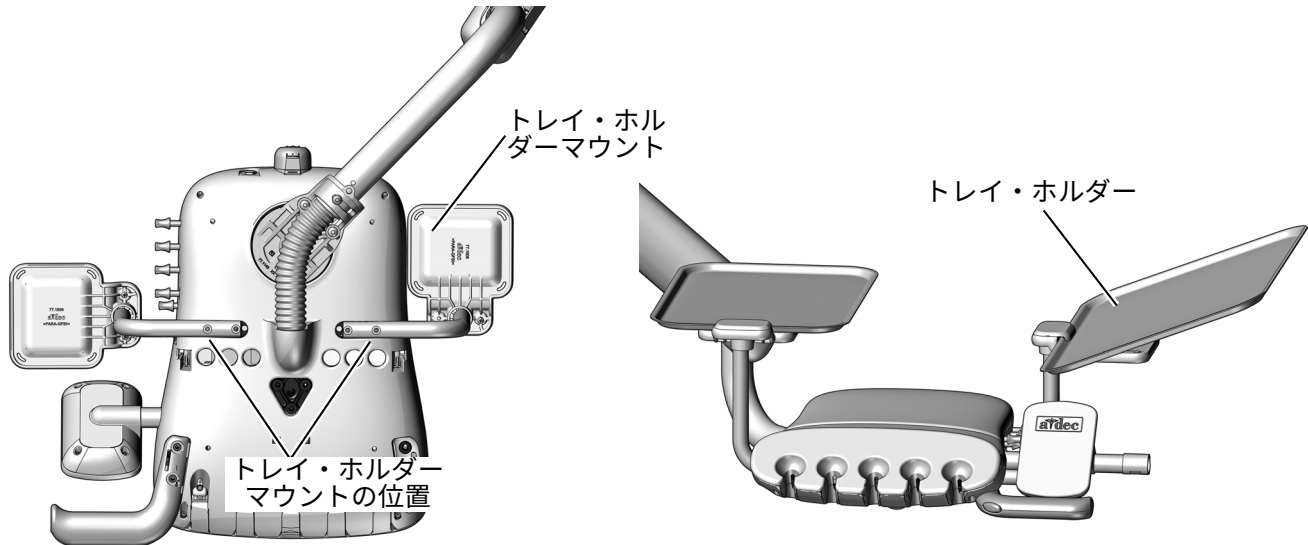


注 大型トレイ・ホルダーは、小型トレイ・ホルダーとは異なる向きでマウントアームに取り付けます。正しい向きについては、下図を参照してください。

- 1 2本の10-32 x 1インチボルトを使用して、コントロールヘッドの底部側面にトレイ・ホルダーサポートを取り付けます。
- 2 トレイ・ホルダーの一方の端を上に向け、トレイ・ホルダーの縁をトレイ・ホルダーサポートの端の下に合わせ、トレイ・ホルダーを所定の位置に下げます。



ヒント トレイ・ホルダーはコントロールヘッドのどちら側にも取り付けられますが、調整キーの反対側の側面に取付けるとキーにアクセスしやすくなります。



334pro の図

A-dec 歯科ライトの取り付け

システムに歯科ライトが含まれている場合は、この時点で取り付けます。歯科ライトに付属のサービスガイドを参照してください。

モニターマウントの取り付け

システムにモニターマウントが含まれている場合は、この時点で取り付けます。モニターマウントに付属のサービスガイドを参照してください。

スピットンの取り付け



推奨する工具

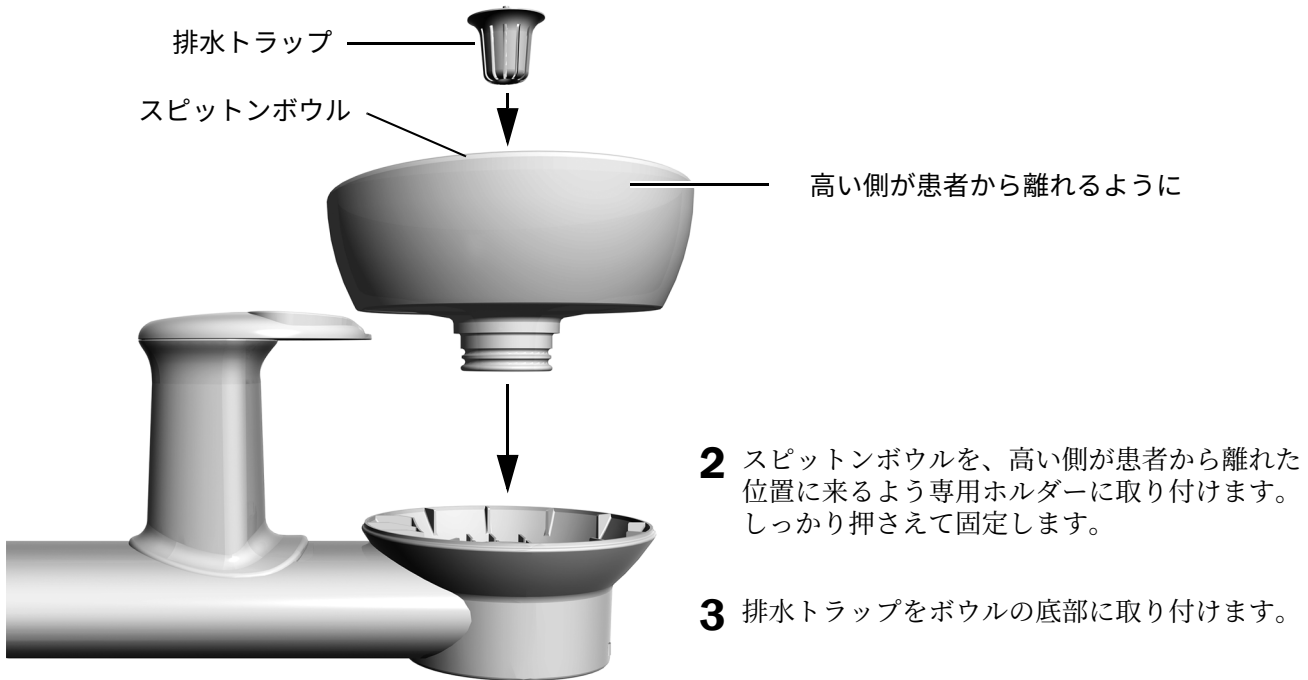
- 斜ニッパー

手順 1.

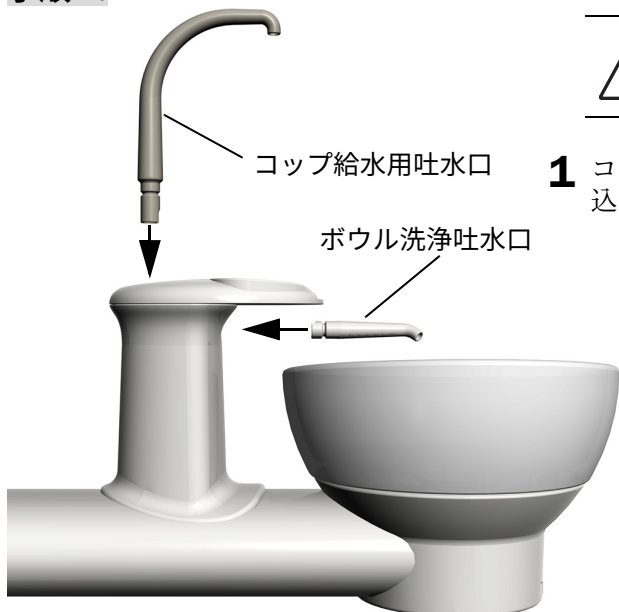
1 斜ニッパーを使用してケーブル留めを切断し、ポジショニングガイドとフォームプラグを取り外します。



注 ポジショニングガイドと、それをスピットンボウルサポートに固定するフォームプラグは取っておきます。スピットンボウルとアームレスト間に適切なクリアランスが確保されていることを確認するために、後で必要になります。



手順 2.



注意 コップ給水用吐水口を取り付けるとき、回転させないでください。破損するおそれがあります。

1 コップ給水用吐水口を取り付けるには、まっすぐ下方に押し込みます。

2 ボウル洗浄吐水口を取り付けるには、まっすぐ下方に押し込みます。

フロアボックスの取り付け

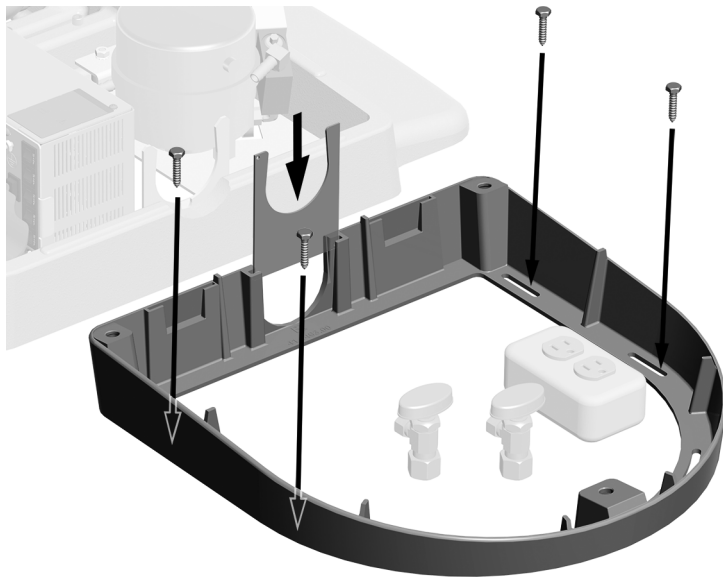


注 この手順を実行する前に、システムのすべてのモジュールを取り付けます。

推奨する工具

- プラスドライバー
- 斜ニッパー

手順 1.

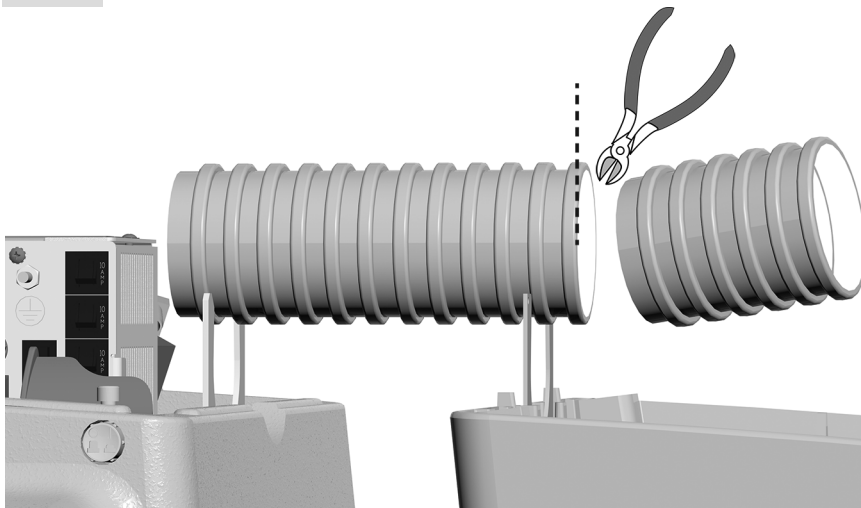


1 ユーティリティを囲むようにフロアボックスのフレームを配置します。

2 以下のものを4つ使用して、フレームを床に固定します。

- 板張り床：1-1/4 インチネジ
- コンクリート床：2 インチアンカー

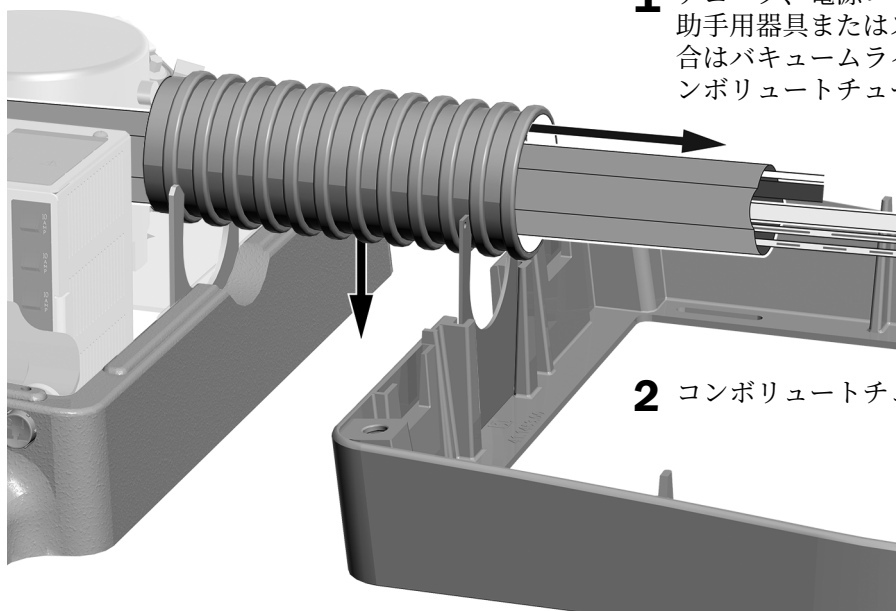
手順 2.



1 チェアとフロアボックスの間の距離を測定します。

2 コンポリュートチューブを切って長さを合わせます。

手順 3.



1 チューブ、電源コード、そしてシステムに歯科助手用器具またはスピットンが含まれている場合はバキュームラインおよび排水チューブをコンボリユートチューブに通します。

2 コンボリユートチューブをクリップに差し込みます。

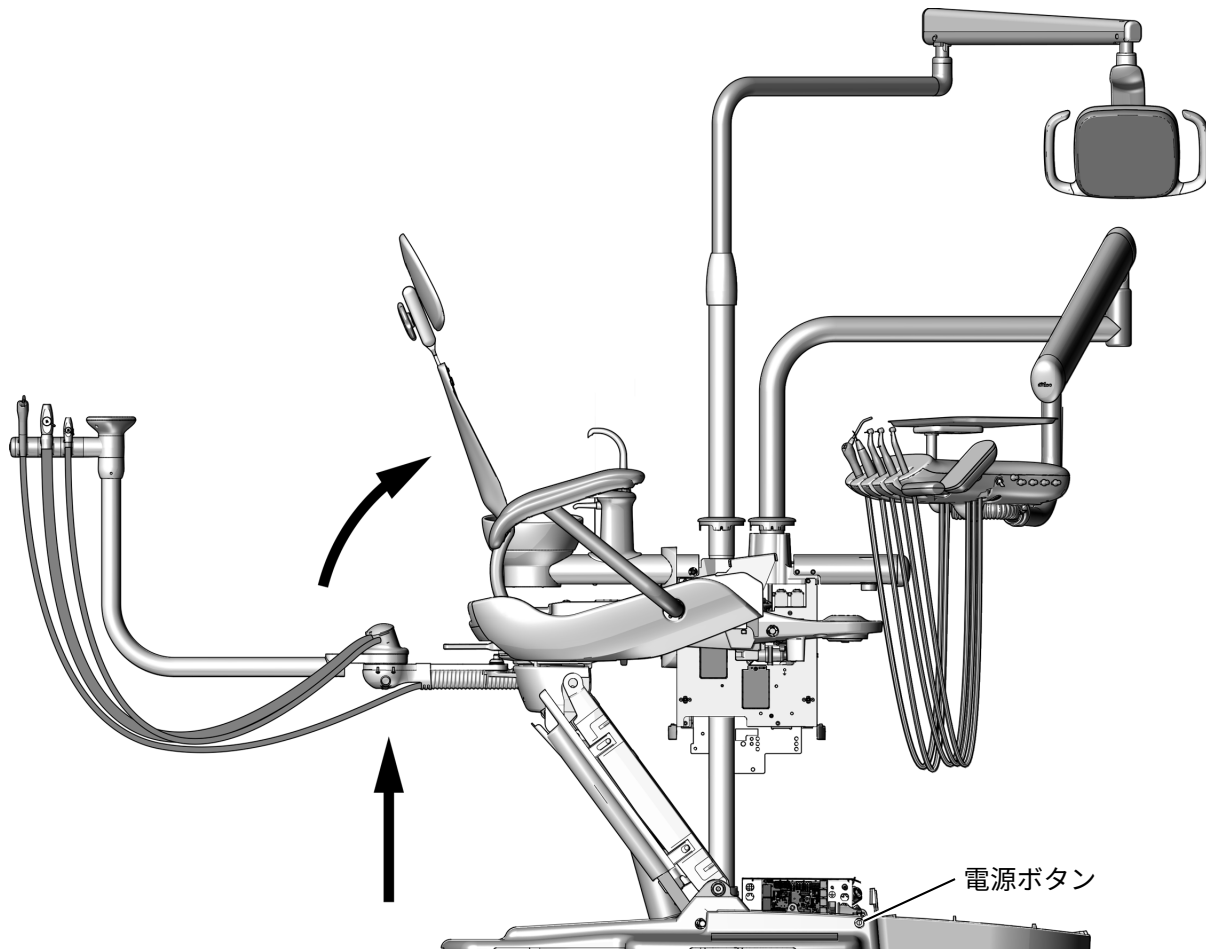
次のステップ リストされた順序で、システムのモジュールをすべて取り付けます。モジュールを取り付ける必要がない場合は、次の手順にスキップしてください。

- システムにオプションのエアバキュームシステム（AVS）が含まれる場合は、69 ページの「付録：エアバキュームシステム（AVS）の取り付け」に進みます。
- 35 ページの「ユーティリティの配管と接続」に進みます。

ユーティリティの配管と接続



注意 ワイヤーやチューブの損傷、外れを防ぐため、接続作業はすべてのシステムモジュールの取り付け完了後に行ってください。



- 1 システムの電源をオンにします。
- 2 チェアのベースと背板が限界まで上がっていることを確認します。



警告 この手順を開始する前に電源をオフにしないと、製品の損傷や、重傷または死亡事故につながるおそれがあります。

- 3 チェアの電源をオフにします。

チェアベースとフロアボックスへの配管・配線

推奨する工具

- 六角レンチ



注記 回路基板は静電気の影響を受けやすい部品です。回路基板に触れる場合、あるいは回路基板への接続または回路基板からの接続を行う場合は、静電放電（ESD）対策が必要です。回路基板の取り付けは、必ず電気技師または適切な資格を持った整備担当者が行ってください。

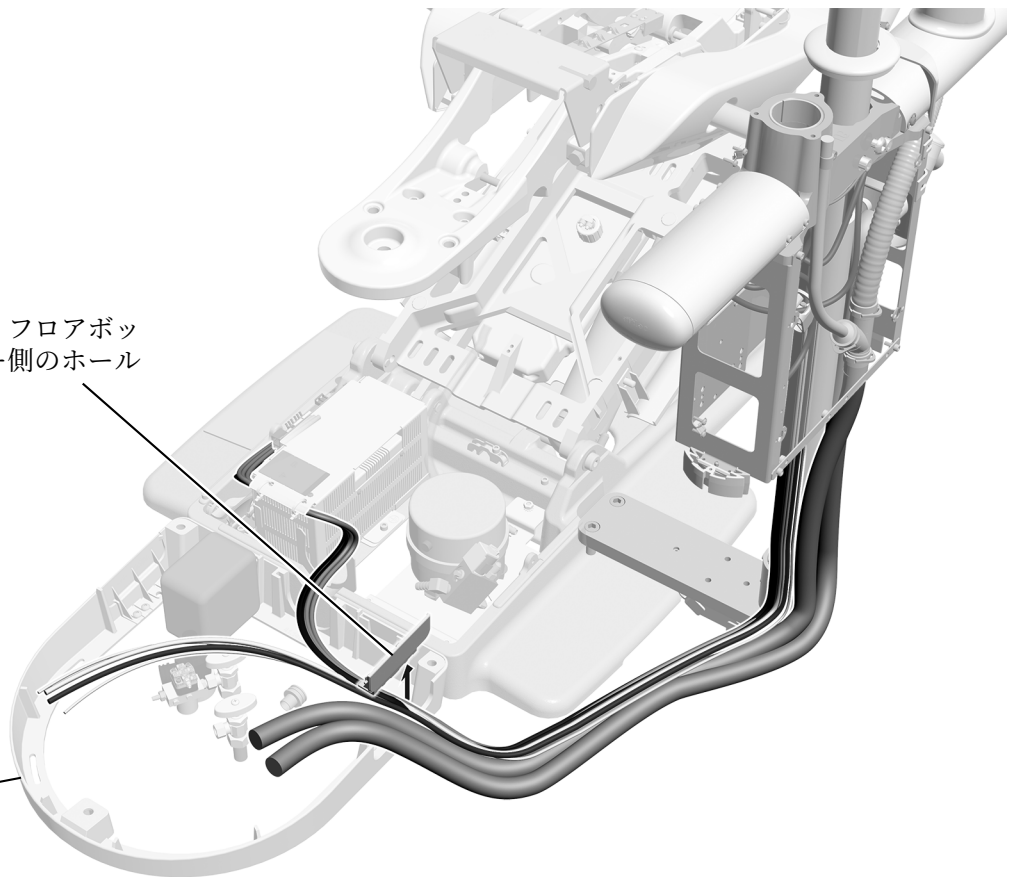


警告 感電の危険があります。カバーを外したり元に戻す際には、ワイヤーやチューブに損傷を与えないよう注意してください。また、カバーを再度取り付け後は、しっかりと固定されていることを確認してください。

手順 1.

- 1 六角レンチを使用して、フロアボックスのサポートセンター側のホールカバーを取り外します。

フロアボックス



- 2 チューブとワイヤーの束を、チェアのベースプレートの側面に沿ってフロアボックスの中に緩く通します。

手順 2.

- 1 電線、データ回線、USB ケーブル、歯科ライトケーブルを束から引き出します。
- 2 すべてのワイヤーを電源装置に向けて配線します。



注意 排水ラインとチューブは長さに余裕を見ておきます。設置作業の後半で、チューブをサポートセンターポストに固定してカバーの下を通します。



注意 排水ラインとチューブを切りそろえる前に、束の中にワイヤーまたはケーブルがないことを確認します。

- 3 排水ラインとチューブがフロアボックス内側に収まるように切りそろえます。



注 363 サポートセンターのワイヤー、ケーブル、チューブには、コンボリユートチューブまたはアンビリカル・スパイラルチューブを使用しません。これらはペデスタルマウントカバーで覆います（他のすべての取り付け手順が完了した後に設置）。

フットコントロールの配管

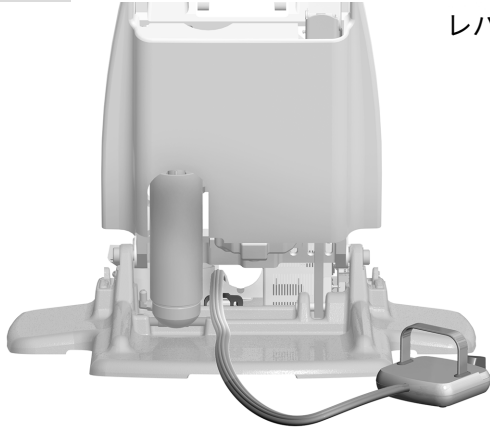
推奨する工具

- 3/16 インチおよび 5/32 インチの六角レンチ



注 以下の説明は、ディスクとレバーフットコントロールの両方に適用されます。

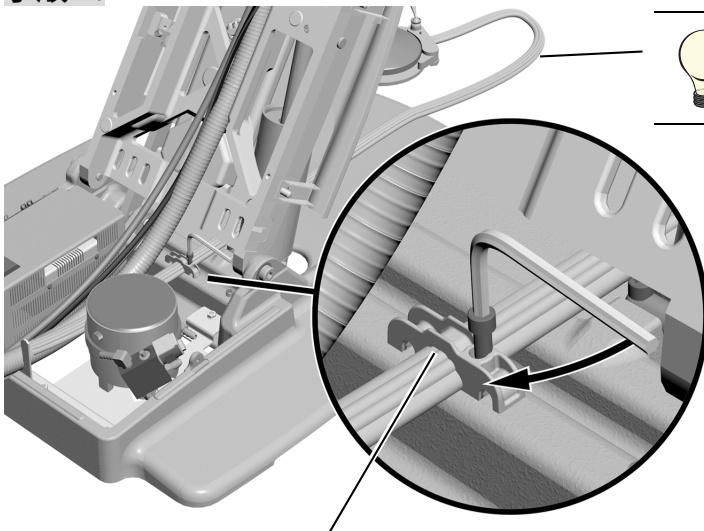
手順 1.



レバーフットコントロールの図

- 1 チェアの背面側から、張力緩和装置の上と電源装置の後ろを通るようにフットコントロールチューブを引きます。

手順 2.



ヒント 152 ~ 254 mm (6 ~ 10 インチ) のチューブをチェアベースとフットコントロールの間に通します。

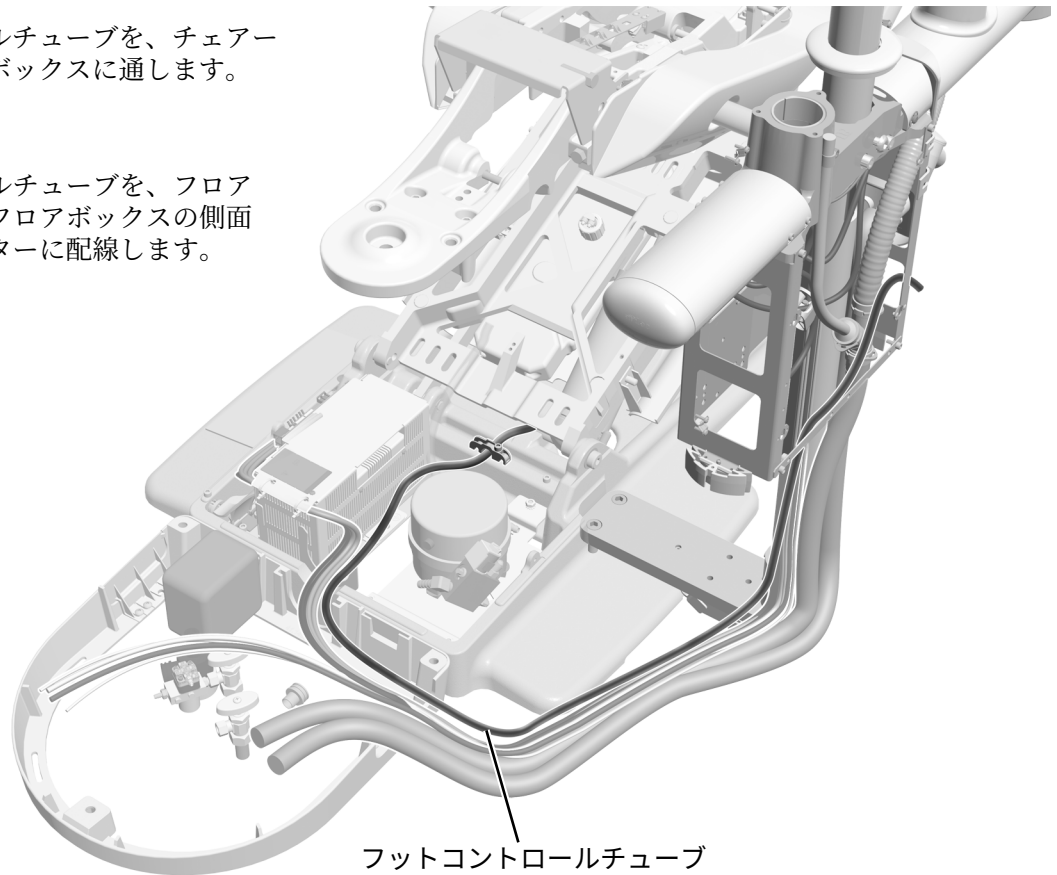
- 1 六角レンチを使用して、フットコントロールチューブをチェアベースの張力緩和装置内に固定します。



注 適切に配置できるように、フットコントロールチューブの隆起部を上に向け、張力緩和装置の溝に合わせてください。

手順 3.

- 1 フットコントロールチューブを、チェアベースからフロアボックスに通します。
- 2 フットコントロールチューブを、フロアボックスに通し、フロアボックスの側面からサポートセンターに配線します。



サポートセンターの配管

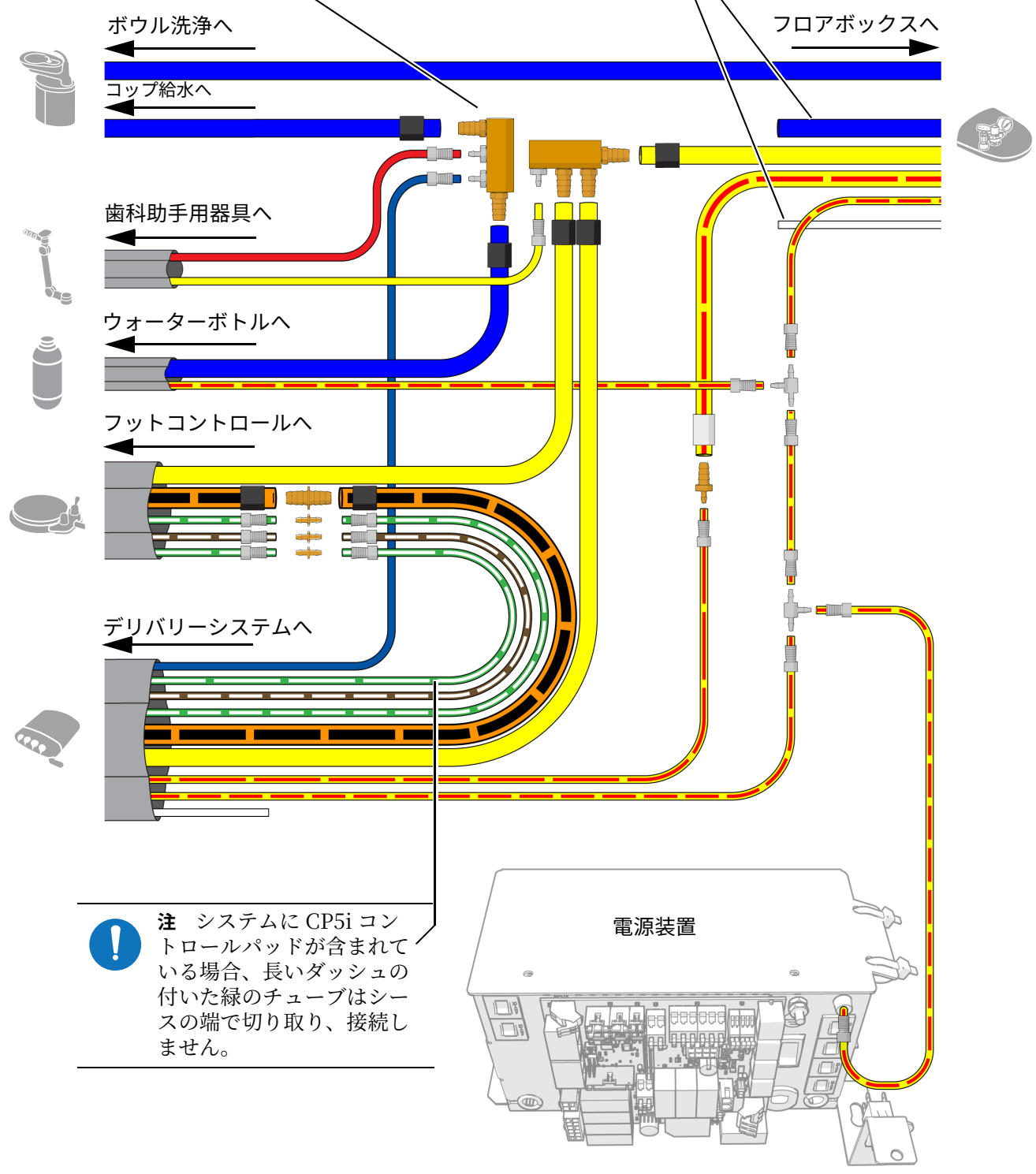
推奨する工具

- 斜ニッパー
- スリーブプッシャー

次のページのフローチャートに従ってチューブを接続します。

注 水マニホールドを取り付けるときは、マニホールド内で水が淀むのを避けるために、端にバープ継手を取り付けてください。

注意 白または青のチューブは接続しないでください。



注 システムに CP5i コントロールパッドが含まれている場合、長いダッシュの付いた緑のチューブはシースの端で切り取り、接続しません。

サポートセンターのワイヤーとデータ回線の電源装置への接続



注意 ワイヤーやチューブの損傷、外れを防ぐため、接続作業はすべてのシステムモジュールの取り付け完了後に行ってください。



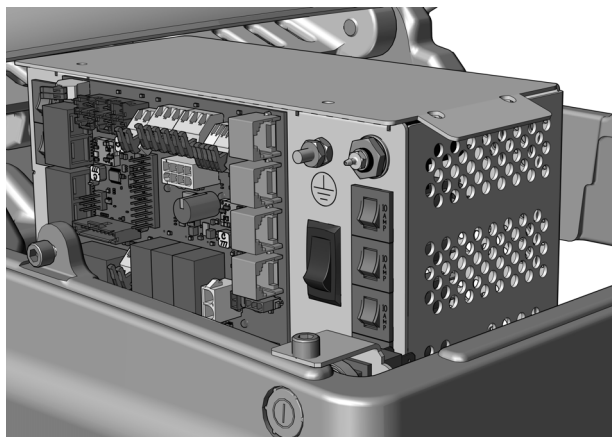
注記 回路基板は静電気の影響を受けやすい部品です。回路基板に触れる場合、あるいは回路基板への接続または回路基板からの接続を行う場合は、静電放電（ESD）対策が必要です。回路基板の取り付けは、必ず電気技師または適切な資格を持った整備担当者が行ってください。



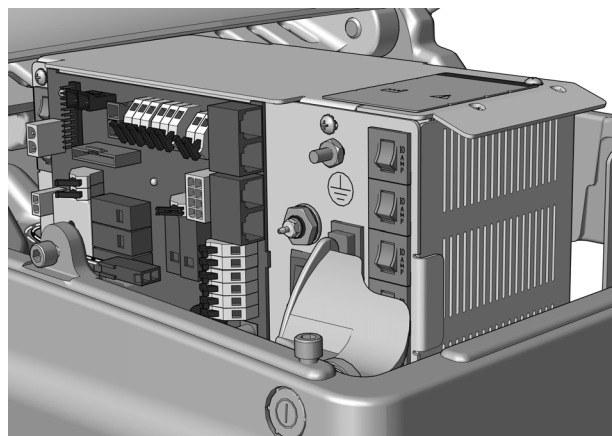
警告 この手順を開始する前に電源をオフにしないと、製品の損傷や、重傷または死亡事故につながるおそれがあります。

1. システムの電源をオフにします。

システムに備わっている電源装置に応じて、以下のセクションの手順を実行してください。



2023年6月以降に製造されたA-decユニバーサル電源装置へのサポートセンターのワイヤーとデータ回線の接続..... 42



2023年6月以前に製造されたA-dec 311/411電源装置へのサポートセンターのワイヤーとデータ回線の接続..... 44

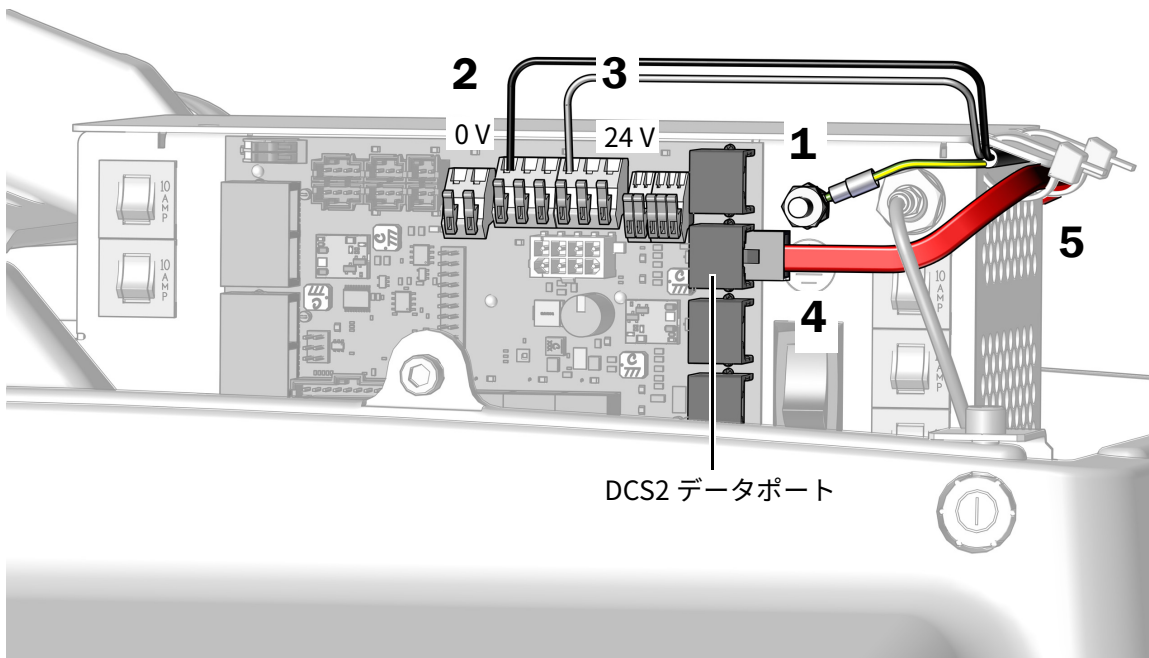
2023年6月以降に製造された A-dec ユニバーサル電源装置へのサポートセンターのワイヤーとデータ回線の接続

推奨する工具

- 3/8 インチのコンビネーション・レンチ
- 斜ニッパー

2023年6月以降に製造された A-dec ユニバーサル電源装置への A-dec 334pro/335pro デリバリーシステムの接続

1. 緑 / 黄のアース線を電源装置ハウジングのアース端子に接続します。
2. 黒のワイヤーを 0 VAC に接続します。
3. グレーのワイヤーを 24 VAC に接続します。
4. 赤のデータ回線を DCS2 データポートに差し込みます。データ回線をどのポートに接続してもかまいません。
5. ケーブル留めを使用して、ワイヤーを縁の下に固定します。



2023年6月以降に製造された A-dec ユニバーサル電源装置への A-dec 334/335 デリバリーシステムの接続

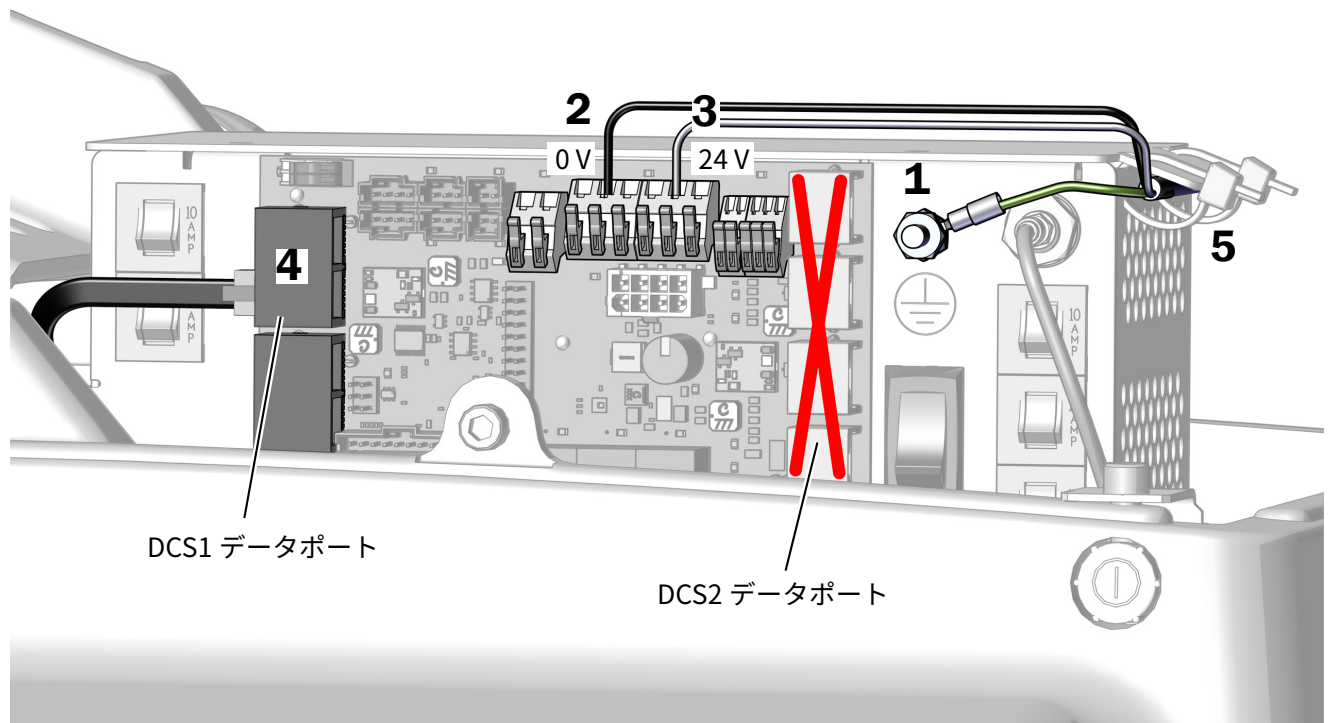
手順 1.

1. アース線を接続します。
2. 黒のワイヤーをチェアの回路基板のサポートセンター接続（SPRT CTR）0V ～に接続します。
3. グレーのワイヤーをチェアの回路基板のサポートセンター接続（SPRT CTR）24V ～に接続します。



注意 黒の DCS1 データ回線を DCS2 データポートに差し込むと、製品が損傷することがあります。

4. 黒のデータ回線をチェア回路基板の頭側にある DCS1 データポートに差し込みます。
5. ケーブル留めを使用して、すべてのワイヤー、ケーブル、チューブを電源装置の縁の下に固定します。
6. 余分なケーブルをすべて輪にして結び、フロアボックスに収納します。



2023年6月以前に製造された A-dec 311/411 電源装置へのサポートセンターのワイヤーとデータ回線の接続

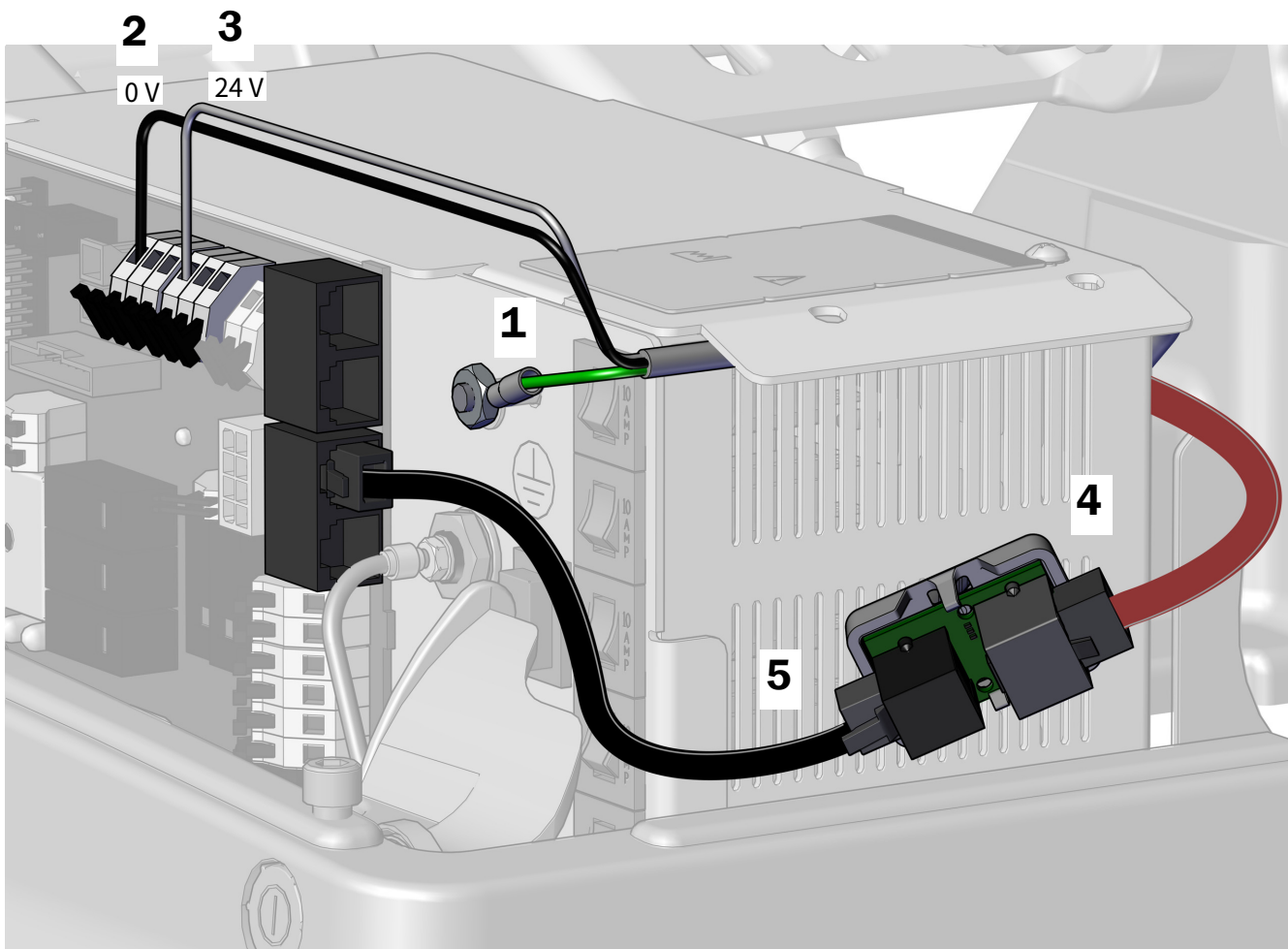
2023年6月以前に製造された A-dec 311/411 電源装置への A-dec 334pro/335pro デリバリーシステムの接続

推奨する工具

- 3/8 インチのコンビネーション・レンチ
- 斜ニッパー

手順 1.

1. アース線を電源装置の支柱に取り付けます。
2. 黒のワイヤーを 0 V に接続します。
3. グレーのワイヤーを 24 V に接続します。
4. 中継基板のグレーのポートを電源装置の背面に配置し、赤の DCS2 データ回線をグレーのポートに接続します。
5. 中継基板の黒いポートから、黒の DCS1 データ回線を電源装置のいずれかのデータポートに接続します。



手順 2.

1. 中継基板に付いている保護紙をはがします。



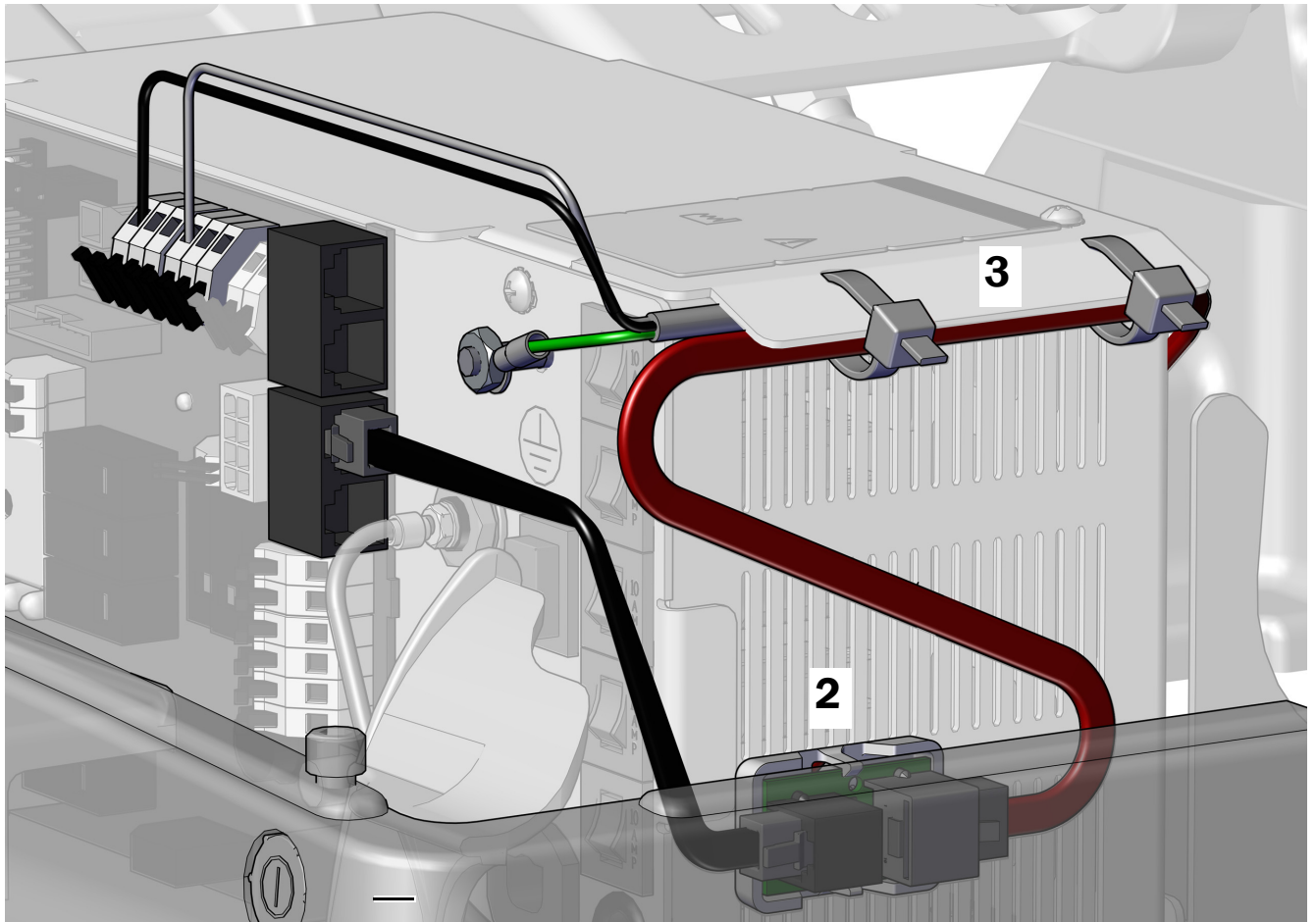
注意 他の装置への損傷や干渉を防ぐため、中継基板は必ずこの位置に取り付けてください。

2. 中継基板を電源装置の側面（チェアの足側を向いている方）に取り付けます。スタブおよび中央通気口の最下部に位置を合わせます。



注 電源装置にすでに発光ダイオード（LED）ライト用のアダプター基板が取り付けられている場合は、その下に中継基板を重ねてください。

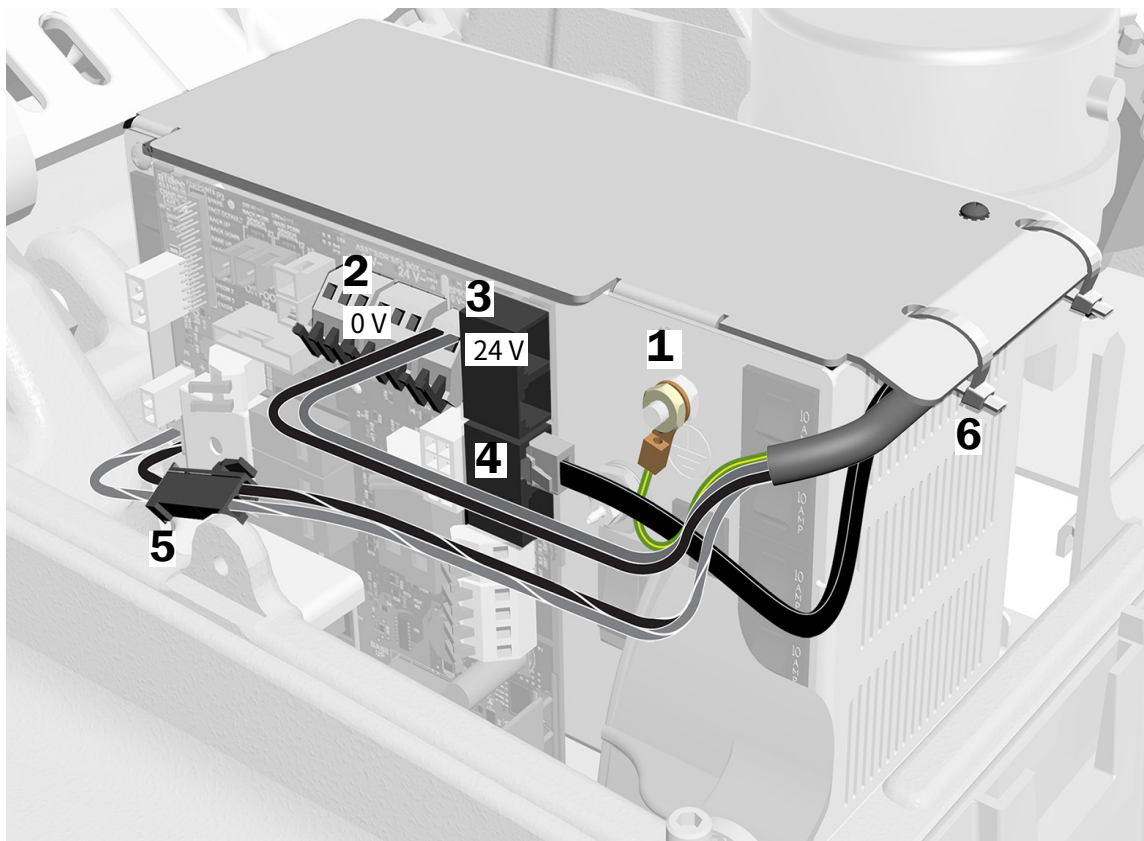
3. すべてのモジュールを電源装置に接続したら、ワイヤーを電源装置の縁の下に固定します。



2023年6月以前に製造された A-dec 311/411 電源装置への A-dec 334/335 デリバリーシステムの接続

手順 1.

1. アース線を接続します。
2. 黒のワイヤーをチェアの回路基板のサポートセンター接続（SPRT CTR）0 V に接続します。
3. グレーのワイヤーをチェアの回路基板のサポートセンター接続（SPRT CTR）24 V に接続します。
4. チェアの回路基板上のデータポートにデータ回線を接続します。
5. 黒の 2 ポジションコネクタを黒の 24 VAC 絶縁リードに接続します（ある場合）。
6. ケーブル留めを使用して、すべてのワイヤー、ケーブル、チューブを電源装置の縁の下に固定します。
7. 余分なケーブルをすべて輪にして結び、フロアボックスに収納します。



フロアボックスユーティリティの接続

システムの構成に適した手順で接続を行います。

デリバリーシステムのための接続47

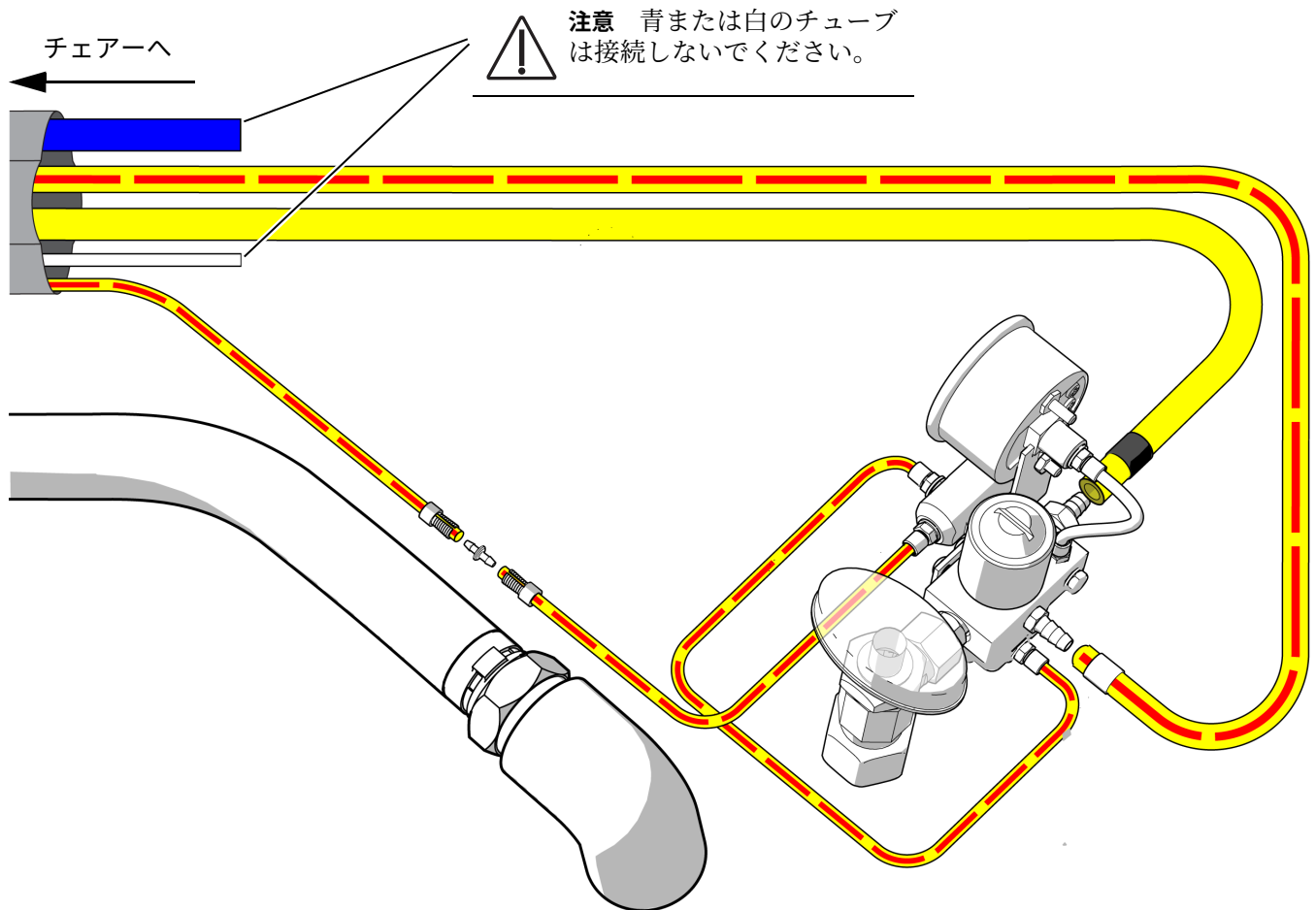
複数のモジュールが含まれるシステムの接続48

推奨する工具

- 斜ニッパー
- スリーブプッシャー

デリバリーシステムのための接続

システムにデリバリーシステム以外のモジュールが含まれていない場合は、この図を使用します。

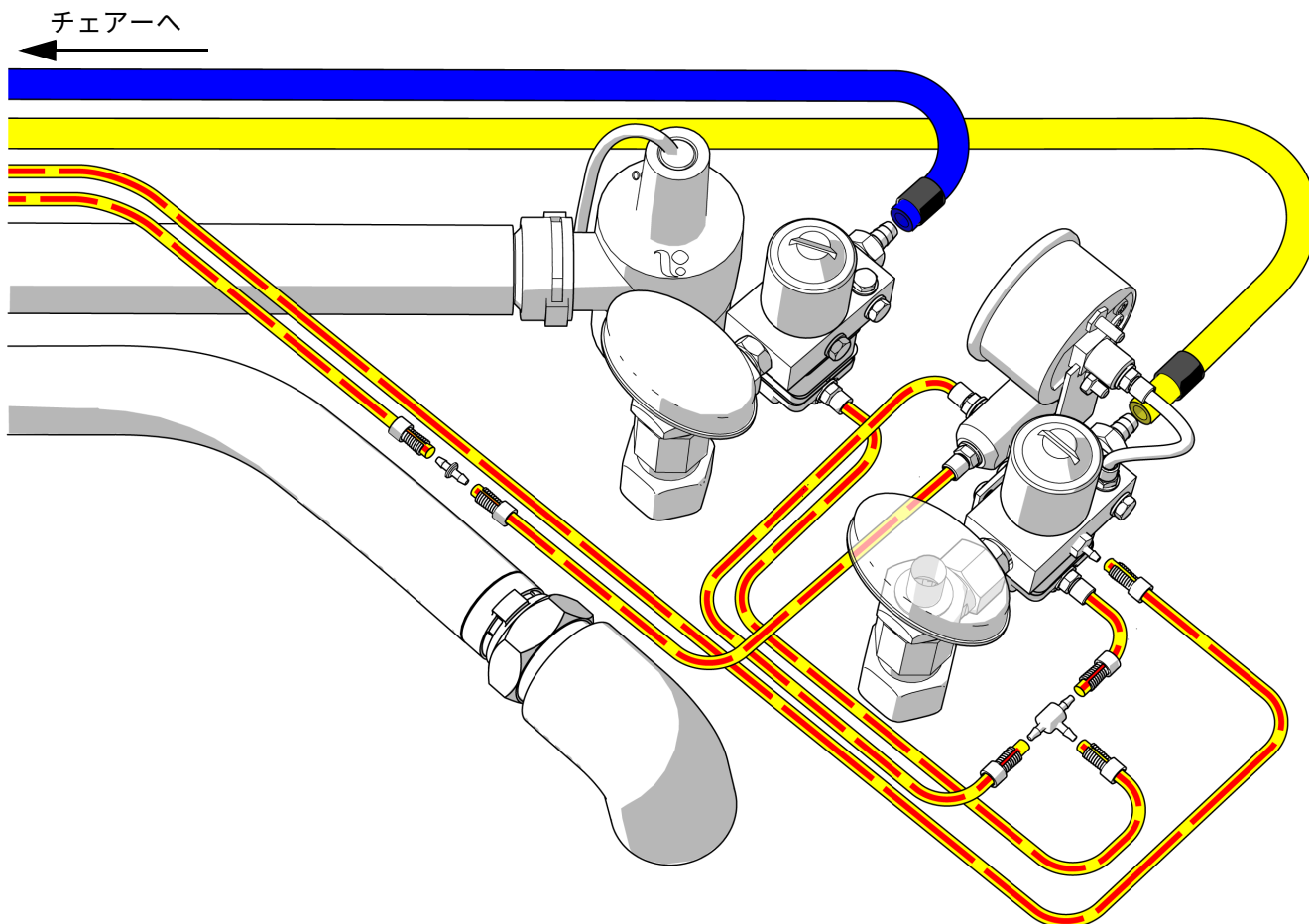


複数のモジュールが含まれるシステムの接続

システムにデリバリーシステムの他にもモジュールが含まれている場合は、この図を使用します。

推奨する工具

- 斜ニッパー
- スリーブプッシャー



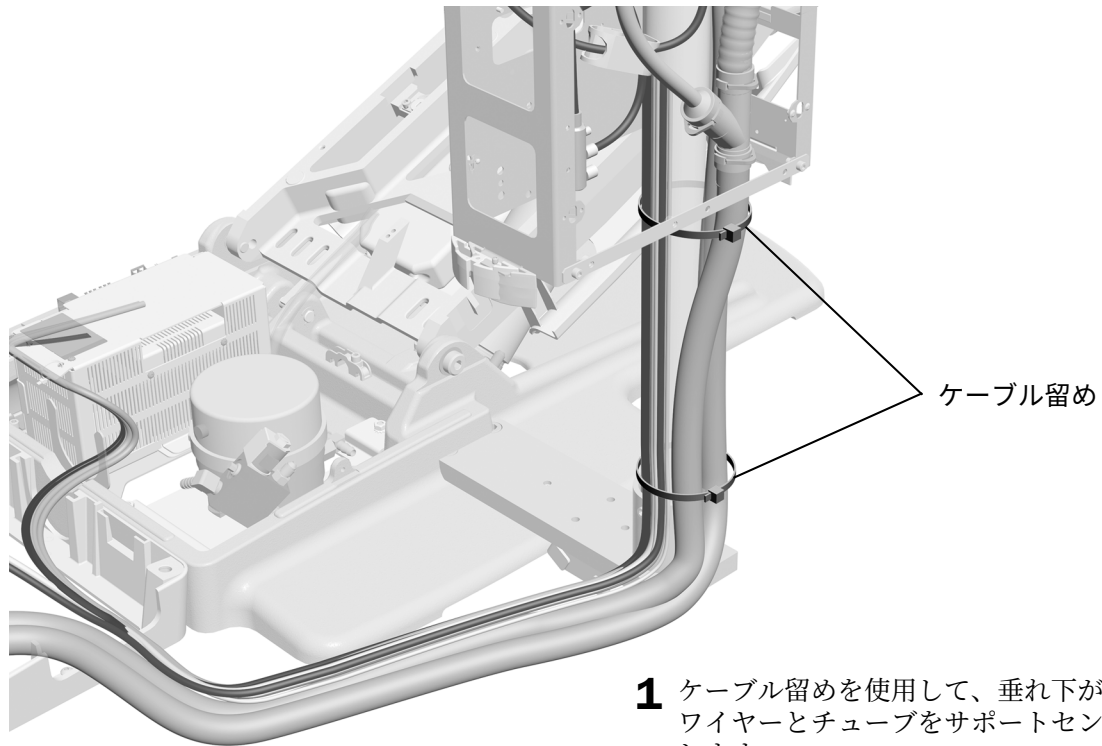
湿水分離器の取り付け（オプション）

湿水分離器の取り付けについては、湿水分離器キットに同梱されている説明書を参照してください。

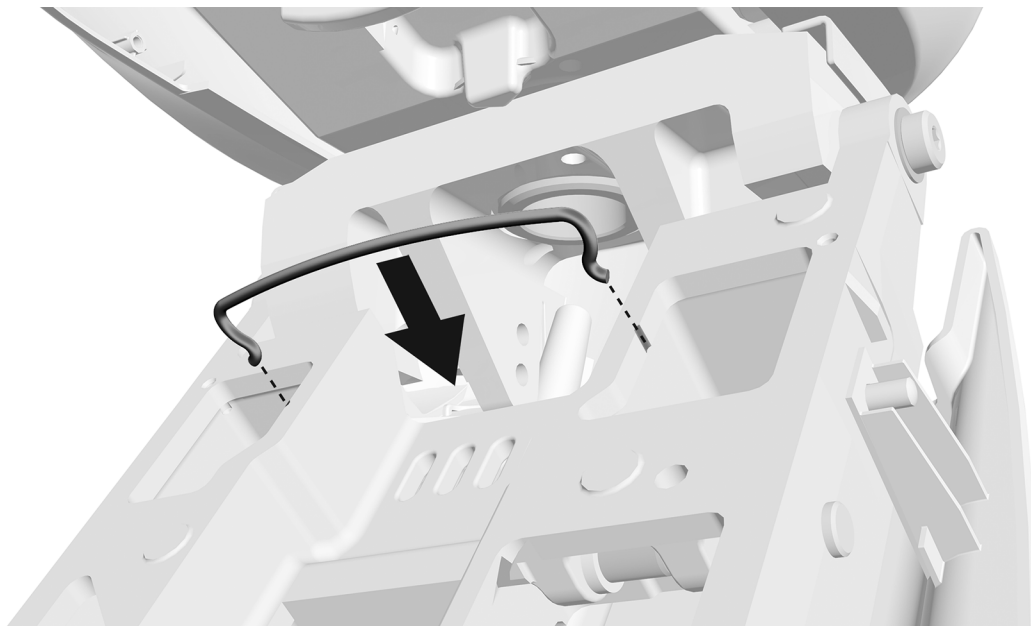
システムの準備

ワイヤーとチューブの固定

手順 1.



手順 2.



- 1** ベイルを取り付けます。ベイルはフロアボックスキットに同梱されています。

ウォーターボトルの取り付け



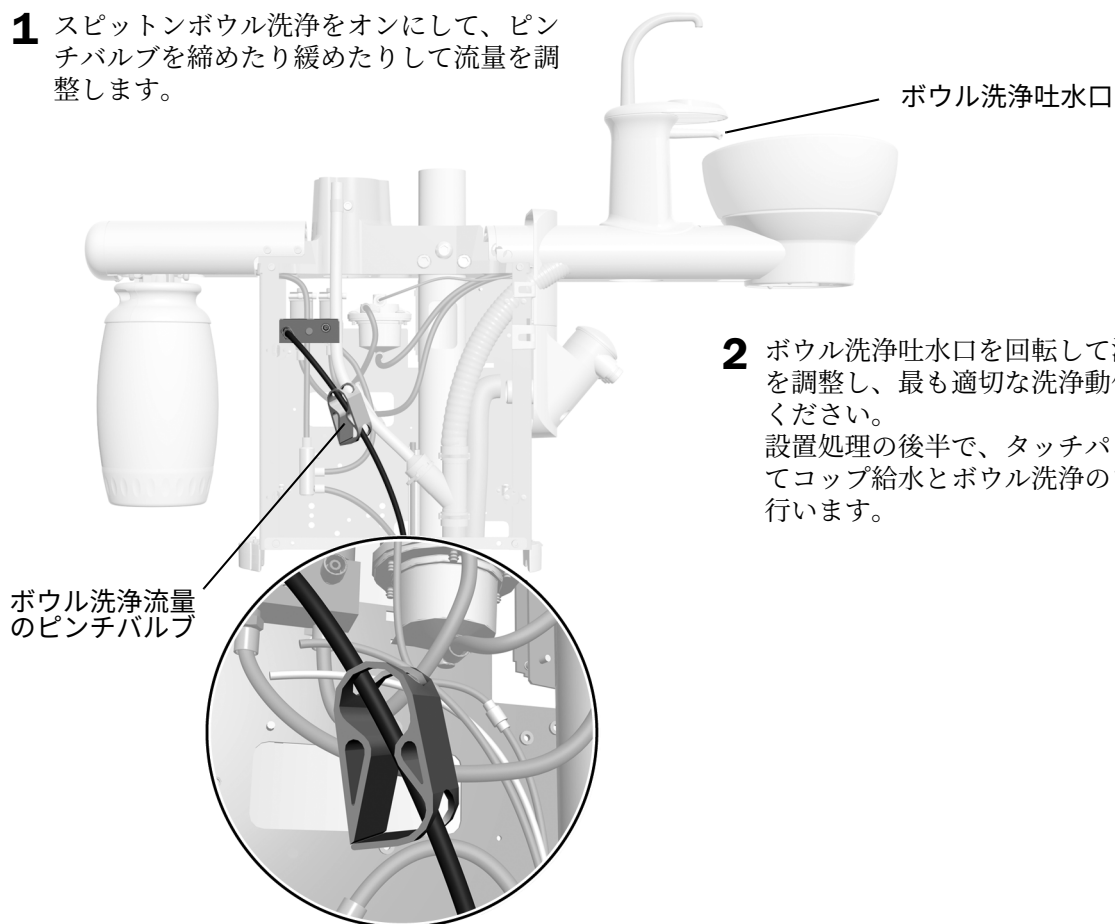
重要 A-dec では、システムの初回使用前に、歯科チームで歯科治療ユニットウォーターラインのショックトリートメントを実行すること、また継続的なウォーターライン保守プログラムを確立することをお勧めしています。詳細については、『ウォーターライン保守ガイド』（部品番号 (P/N) 85.0983.05) および『A-dec 内蔵型給水システム使用方法』（部品番号 (P/N) 86.0609.05) を参照してください。



- 1** レセプタクルの O リングに A-dec シリコン潤滑油を塗布します。
- 2** ウォーターボトルを持ち上げてウォーターボトルレセプタクルに押しかぶせ、右に回転させます。

スピットンボウル洗浄流量の設定の調整

- 1 スピットンボウル洗浄をオンにして、ピンチバルブを締めたり緩めたりして流量を調整します。



- 2 ボウル洗浄吐水口を回転して流量パターンを調整し、最も適切な洗浄動作を確保してください。
設置処理の後半で、タッチパッドを使用してコップ給水とボウル洗浄のプリセットを行います。

システムの調整

システムのモジュールを調整する方法については、機器に同梱されているサービスガイドを参照してください。

システムの水平調整

システムが水平になるように調整するには、以下のセクションの手順を実行します。システムを水平にすることで、モジュールの位置がずれたり器具がトレイ上で転がったりするのを防止できます。



注 システムを手際よく水平にするには、表示された順序に従って以下のセクションを完了することが肝要です。

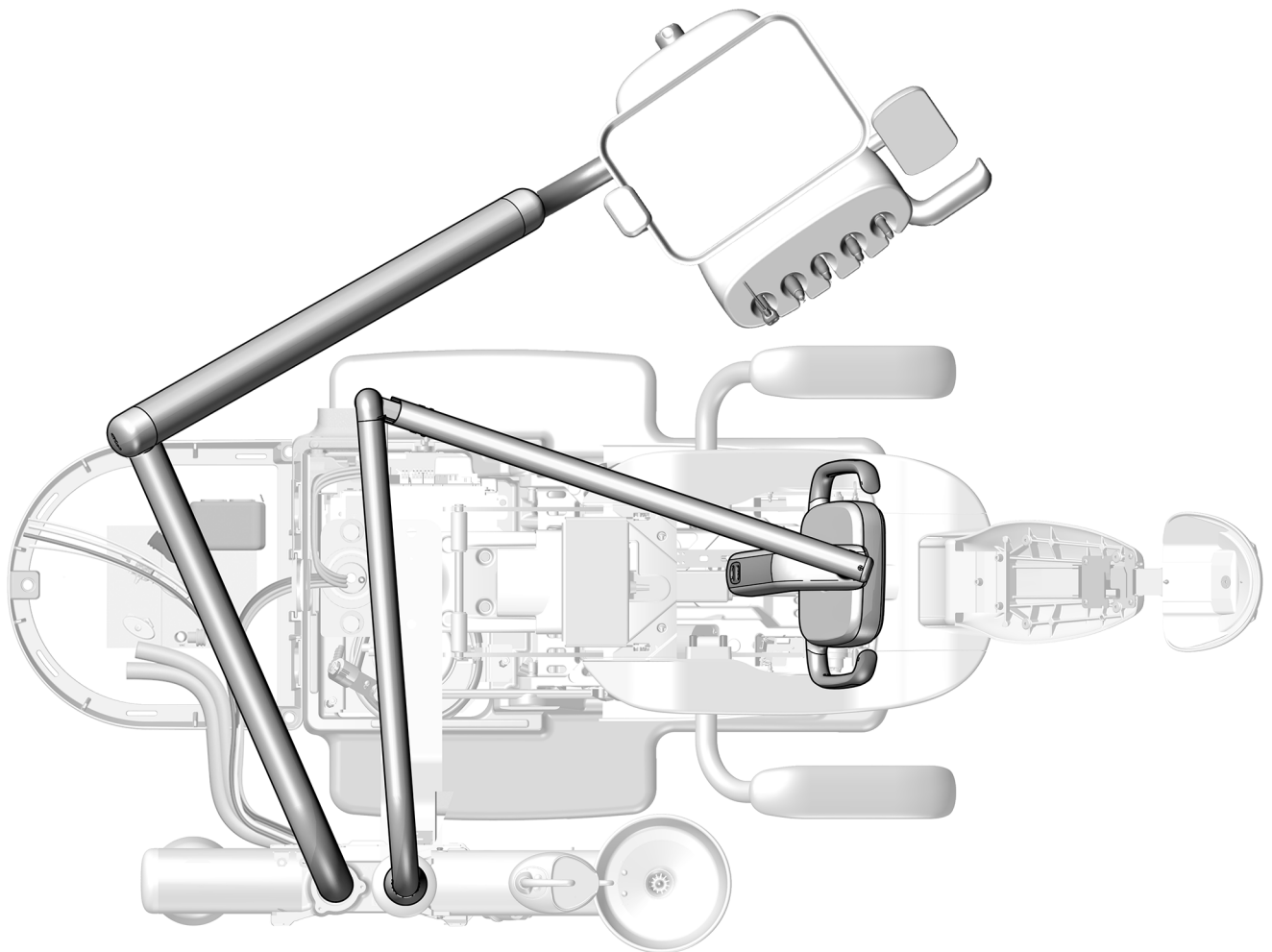
推奨する工具

- 磁気水準器
- 1/8 インチおよび 3/16 インチの六角レンチ

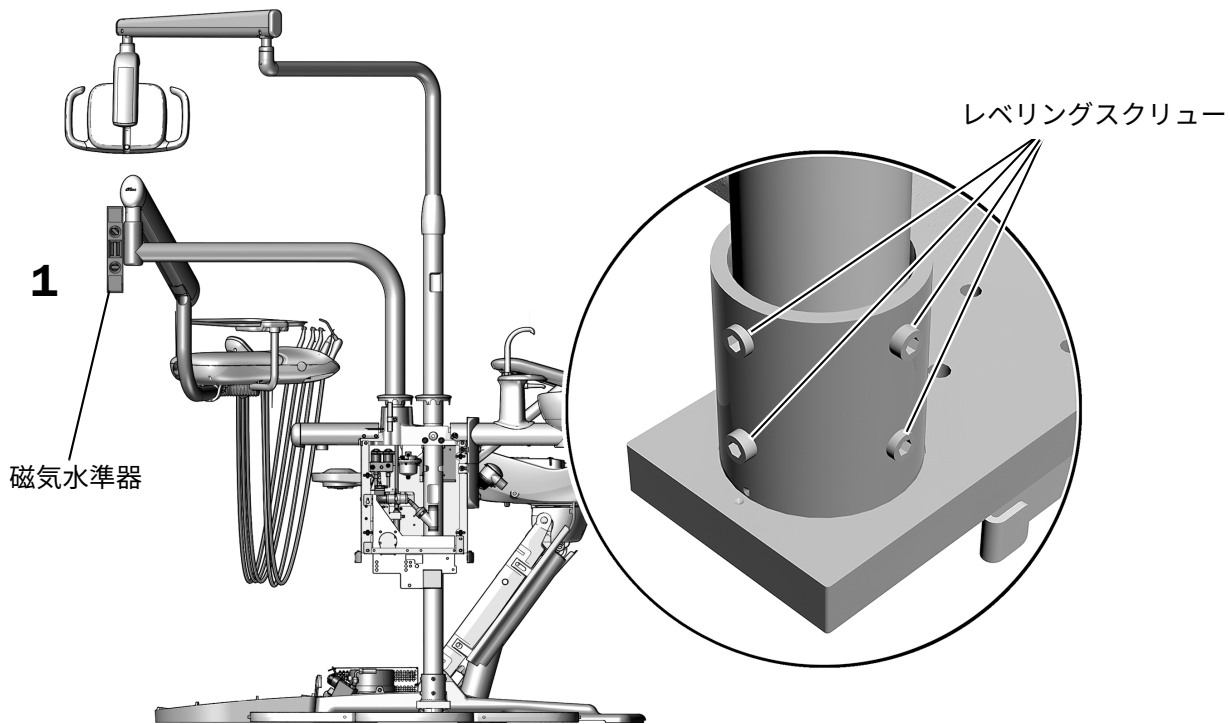
サポートセンターの水平調整

手順 1.

- 1** チェア、コントロールヘッド、歯科ライトを、医師による通常使用時の位置にセットします。



手順 2.



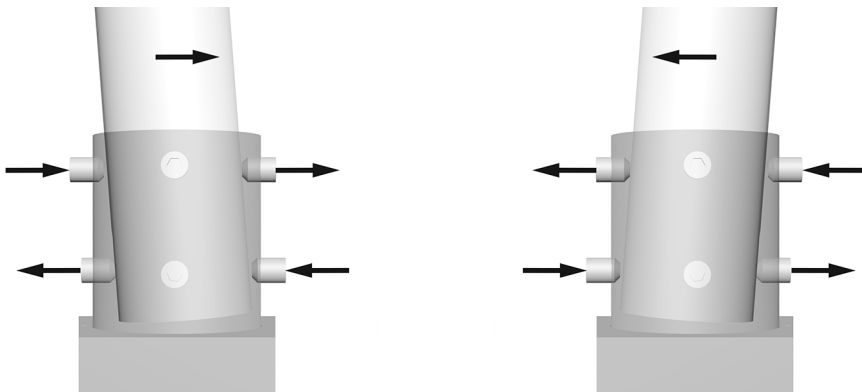
- 1 磁気水準器をデリバリーシステムの固定アームのナックルに垂直に置きます。支柱の根元のマウントのレベリングスクリューを調整して、傾きを修正します。



ヒント 所定の位置に水準器を保持するため、必要に応じて短いテープを1本使用します。

手順 3.

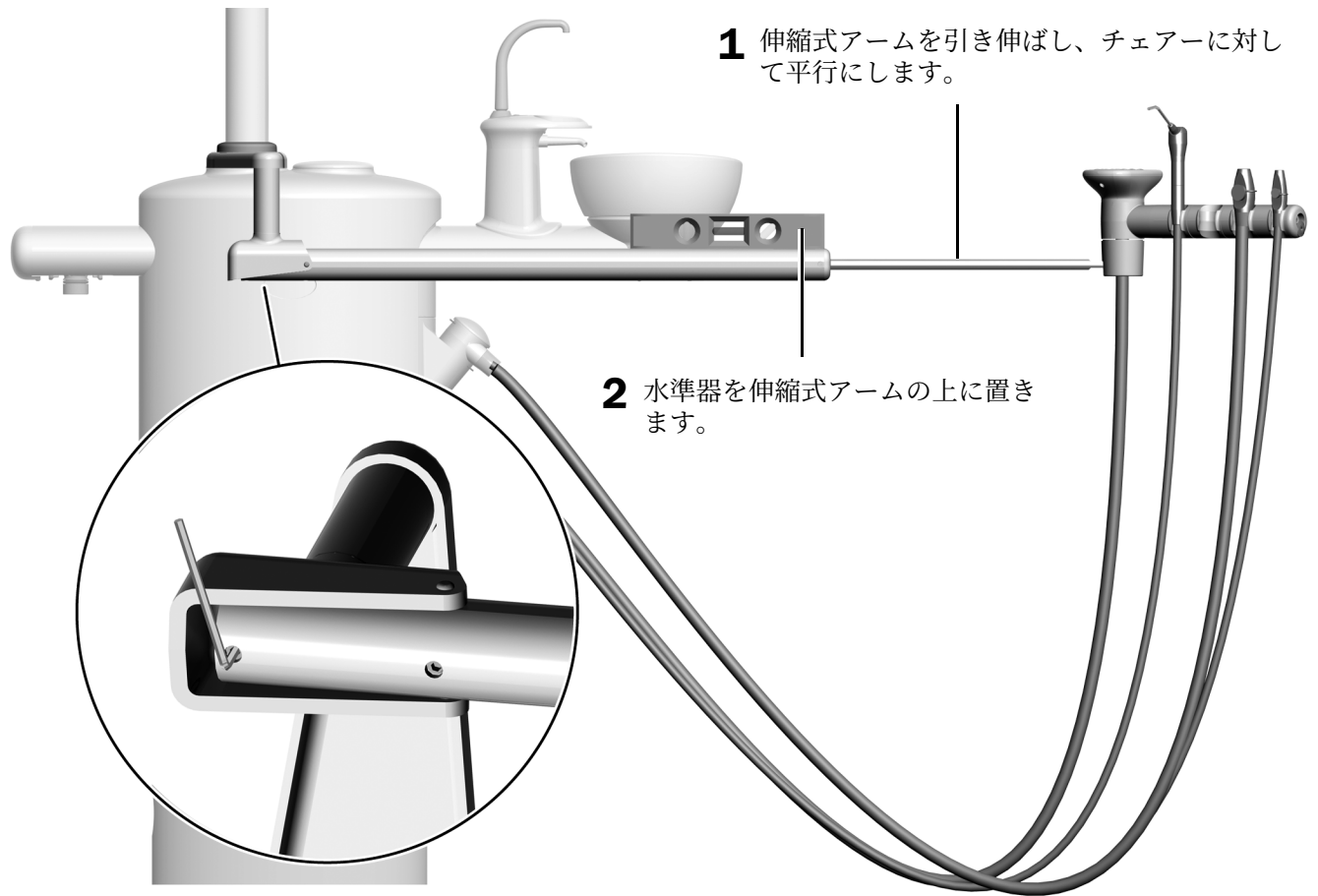
- 1 傾きを変更するには、マウントの上下にあるレベリングスクリューを互いに反対方向に調整します。どのスクリューを締めたり緩めたりするかは、修正したい傾きの方向によって決まります。レベリングスクリューは、2本を1組として締めたり緩めたりします。



- 2 マウントの周囲にある8本すべてのレベリングスクリューを調整して、支柱が垂直になり、デリバリーシステムがずれなくなるようにします。

手順 4.

歯科助手用器具の伸縮式アームの水平調整



1 伸縮式アームを引き伸ばし、チェアに対して平行にします。

2 水準器を伸縮式アームの上に置きます。

3 六角レンチを使用してアームを水平にします。

スピットンボウルのクリアランスの確認



注 サポートセンターにスピットンが含まれていない場合、またはチェアのスピットンの横にアームレストがない場合、このセクションを飛ばして、61 ページの「カバーの取り付け」を参照してください。

推奨する工具

- 5/16 インチの六角レンチ

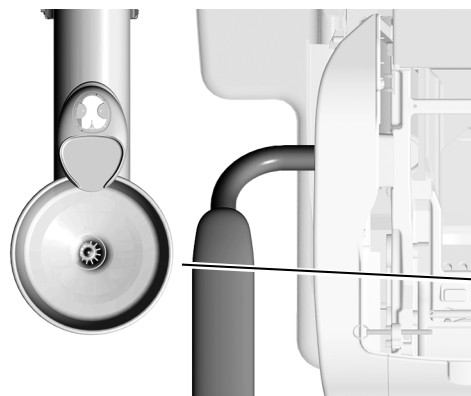
手順 1.

- 1 スピットンボウルを取り外します。
- 2 ポジショニングガイドを、タブがチェアの頭側を向くようにスピットンボウルサポートの上に置き、ガイドの中央にあるフォームプラグで固定します。
- 3 ポジショニングガイドを開きます。
- 4 チェアを上下させ、ポジショニングガイドとアームレストが接触せず、すき間がないことを確認します。(すき間があると、サポートセンターのカバーが正しく取り付けられない場合があります)。



警告 ポジショニングガイドとアームレストが接触しないよう、スピットンボウルとアームレスト間に適切なクリアランスを確保する必要があります。

- クリアランスを調整する必要がある場合は、手順 2. を実行します。
- クリアランスが適切な場合は、61 ページの「カバーの取り付け」を参照してください。



ポジショニングガイドを開きます。

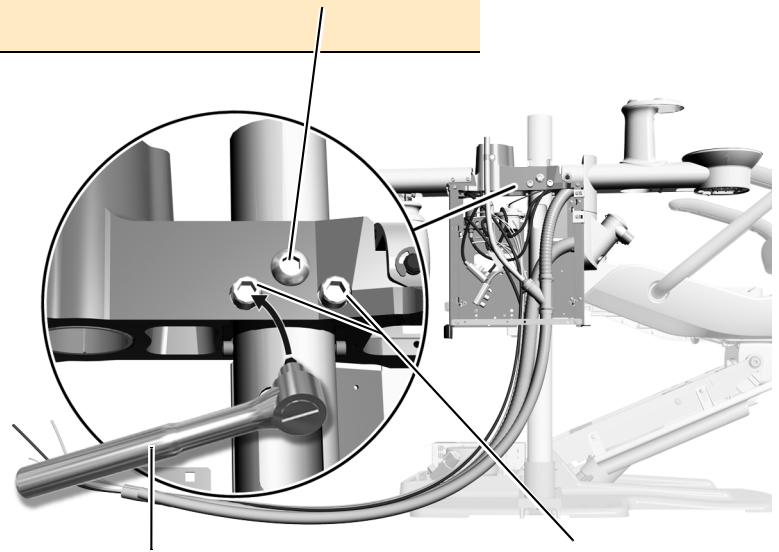
ポジショニングガイドはアームレストと接触しないようにする必要がありますが、すき間を開けないようにしてください。



ヒント ポジショニングガイドがない場合は、ボウルの縁とアームレストの間が 29 mm (1-1/8 インチ) あるか測定します。

手順 2.**注** ボタンボルトを緩めないでください。

- 1** システムにデリバリーシステムとライトが含まれている場合は、それらをサポートセンターの上に設置します。
- 2** 六角レンチを使用してソケットネジを調整します。片方のネジを緩め、もう一方のネジを締めて、ネジを緩めた側の端をチェアの方に回転させます。
- 3** ポジショニングガイドとアームレストに適切なクリアランスが得られ、すき間がなくなるまでネジを調整します。



5/16 インチの六角レンチ付きラチェット

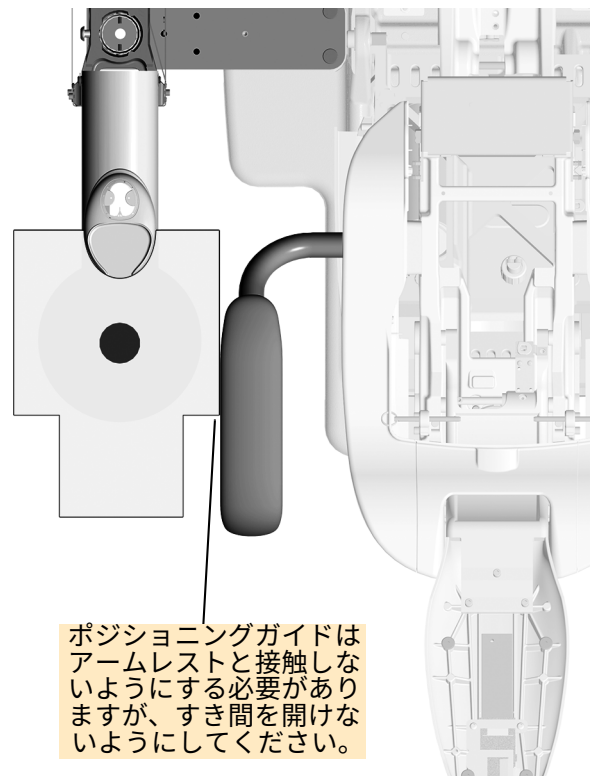
ソケットネジ

手順 3.

- 1** チェアを上下させ、ポジショニングガイドとアームレストが接触せず、すき間がないことを確認します。

ガイドとアームレストのクリアランスが適切でない場合は、手順 2. を繰り返します。

- 2** サポートセンターが水平になっていることを確認します。調整が必要な場合は、53 ページの「サポートセンターの水平調整」の手順を実行します。
- 3** ポジショニングガイドとプラグを取り外して処分します。
- 4** スピットンボウルを再度取り付けます。



ポジショニングガイドはアームレストと接触しないようにする必要がありますが、すき間を開けないようにしてください。

タッチコントロール操作

お使いのシステムのタッチコントロールインターフェースの種類に応じたセクションを参照してください。

CP5i/CP5 コントロールパッドによるスピットンの操作	58
A-dec 300 Deluxe/ 標準タッチパッドでのスピットンの操作	59
取り付けられたモジュールの操作	60



注 タッチコントロール上の記号やアイコンは、A-dec, Inc. の専有物です。

CP5i/CP5 コントロールパッドによるスピットンの操作



タッチスクリーンとコントロールパッドの使用については、以下のリンクから『A-dec タッチスクリーンおよびコントロールパッド使用方法』（部品番号（P/N）86.0857.05）を参照してください。

a-dec.com/touchscreen-manual



接続機能の設定については、以下のリンクから『A-dec+™使用方法』（部品番号（P/N）86.1030.05）を参照してください。

a-dec.com/connectivity-manual



A-dec 300 Deluxe/ 標準タッチパッドでのスピットンの操作







注 タッチコントロール上の記号やアイコンは、A-dec Inc. の専有物です。



標準タッチパッドの図

コップ給水およびボウル洗浄のオン / オフの切り替え




タッチパッドアイコンまたはスピットンボタンを使用して、コップ給水およびボウル洗浄機能を制御します。

アイコン/機能	動作/オプション
コップ給水 タッチパッド  スピットン 	スピットンからコップに注入される流量を制御します。 <ul style="list-style-type: none"> 1 回押すと、時限操作を行います。給水の工場出荷時のプリセットは 2.5 秒です。 長押しすると、手動操作が可能です。
ボウル洗浄 タッチパッド  スピットン 	スピットンボウルに洗浄水を供給します。 <ul style="list-style-type: none"> 1 回押すと、時限操作を行います。洗浄の工場出荷時のプリセットは 30 秒です。 2 回押すと水流が継続し、1 回押すと止まります。 長押しすると、手動操作が可能です。ボタンを離すと水が止まります。





コップ給水およびボウル洗浄時間のカスタマイズ

コップ給水とボウル洗浄時間は、タッチパッドまたはスピットンで設定できます。

時間のカスタマイズ（タッチパッドから）

1. タッチパッドの  を長押しします。ピープ音が 1 回鳴ったらボタンを離します。
2. 5 秒以内に、目的の時間にわたって  または  を長押しします。
3. ピープ音が 3 回鳴り、新しい設定が保存されたことを示します。

時間のカスタマイズ（スピットンから）

1. コップ給水用吐水口の下にある  と  を長押しします。ピープ音が 1 回鳴ったらボタンを離します。
2. 5 秒以内に、目的の時間にわたって  または  を長押しします。
3. ピープ音が 3 回鳴り、新しい設定が保存されたことを示します。

取り付けられたモジュールの操作

システムのモジュールのタッチコントロール設定については、機器に同梱されているサービスガイドを参照してください。

システムのテスト

サポートセンターとモジュールの設置が完了したら、次のチェックリストを使用してシステムをテストします。

ユーティリティ

- 空気圧が 552 kPa (5.52 バール) に調整されているか。
- フロアボックスに空気および水の漏れがないか。
- チューブや接続にねじれがないか、また空気や水の漏れがないか。
- 余分なチューブやワイヤーがコイル状に巻かれて可動部品から離れた場所に収められているか。

歯科助手用器具、スピットン、コップ給水

- バキューム / 吸引が以下の仕様に従って設定されているか：
 - ウェットバキューム - 最小 34 ± 7 KPa (10 ± 2 インチ Hg)、255 sl/分 (9 SCFM)
 - ドライ / セミドライバキューム - 最小 16 ± 3.5 KPa (4.5 ± 1 インチ Hg)、340 sl/分 (12 SCFM)
- 空気および水のシリンジボタンは滑らかに作動するか
- HVE および排唾管に装備されたバルブの動作に支障はないか
- コップ給水の時間は適切に設定されているか
- スピットン流量パターンはボウルを効果的に洗浄し、ボウル排水は正常か
- スピットンベンチレーションチューブの終端がサポートセンターのフレームの 13 mm (1/2 インチ) 上に位置しているか
- スピットンボウルとアームレストの間に 29 mm (1-1/8 インチ) のクリアランスがあるか

追加モジュール

デリバリーシステムや歯科ライトなど、追加モジュールのテストチェックリストについては、機器に同梱されているサービスガイドを参照してください。

カバーの取り付け



警告 感電の危険があります。カバーを外したり元に戻す際には、ワイヤーやチューブに損傷を与えないよう注意してください。また、カバーを再度取り付けた後は、しっかりと固定されていることを確認してください。



注 システムを調整、テストしてからカバーを取り付けます。58 ページの「タッチコントロール操作」を参照してください。



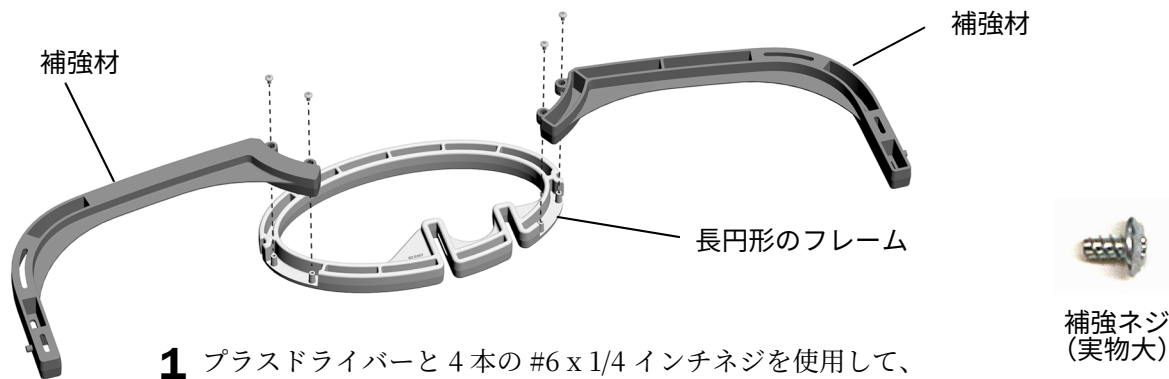
注 オプションの AVS を接続した場合は、63 ページの手順 3 に進んでください。

推奨する工具

- 斜ニッパー
- プラスドライバー
- ゴム製マレット

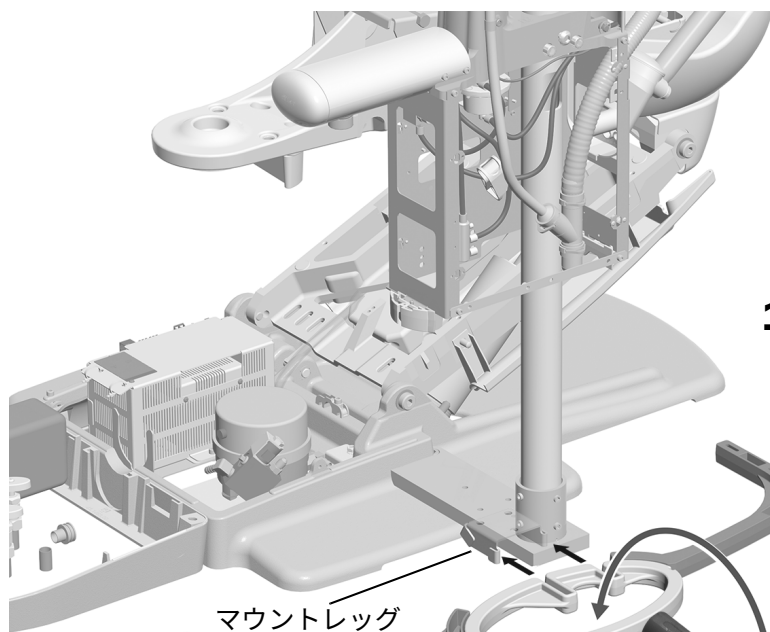
ペDESTALマウントのカバーとアンビリカルラップの取り付け

手順 1.



- 1** プラスドライバーと 4 本の #6 x 1/4 インチネジを使用して、補強材を長円形のフレームに取り付けます。

手順 2.



マウントレッグ

1 長円形のフレームの短い方のスロットがチェアアの背に最も近いスロットになるように、床フレームを設置します。

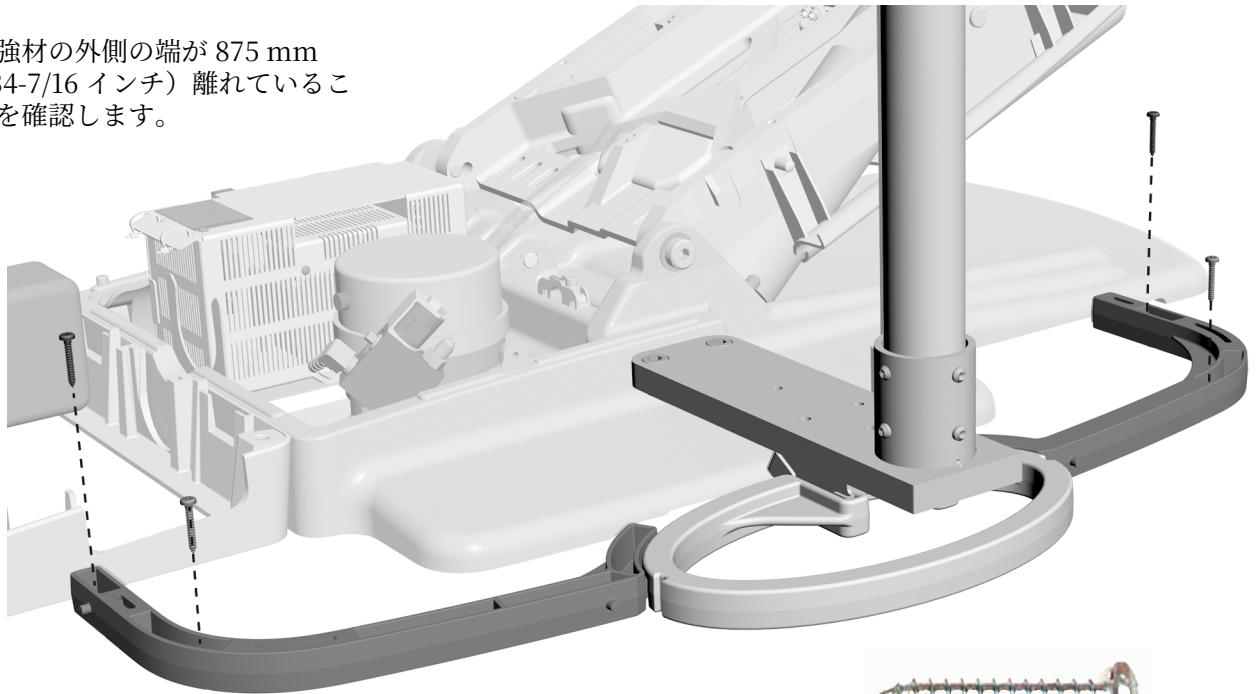
2 ゴム製マレットを使用して、床フレームをペDESTALマウントの下部に押し込み、マウントレッグにぴったりと取り付けます。



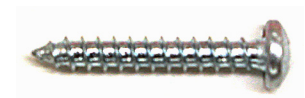
ヒント 床フレームをマウントレッグにぴったりと取り付けるには、床フレームをしっかりと叩く必要があります。

手順 3.

- 1 補強材の外側の端が 875 mm (34-7/16 インチ) 離れていることを確認します。

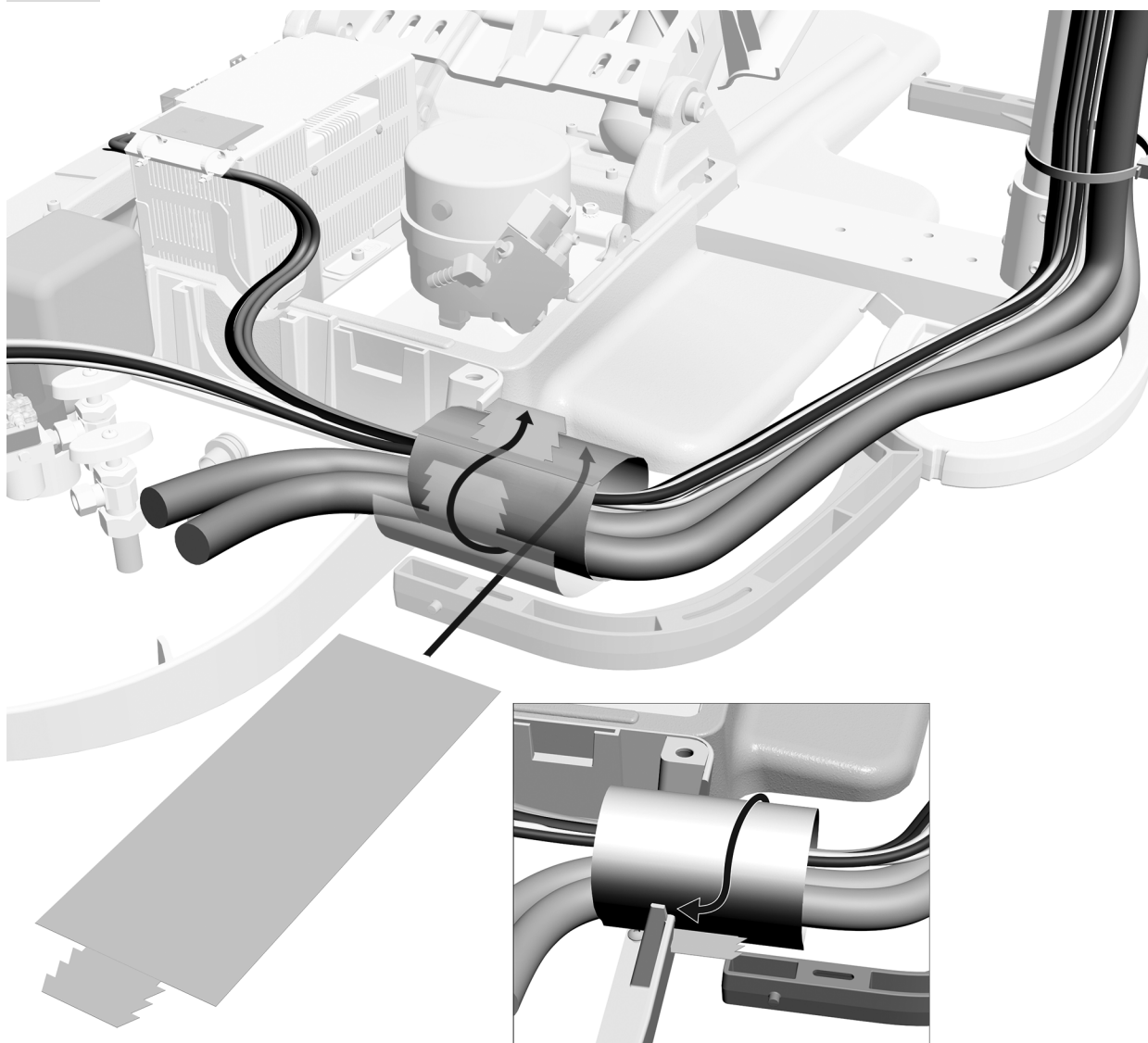


- 2 プラスドライバーと 4 本の #10 x 1-1/4 インチのネジを使用して、床フレームを床に固定します。



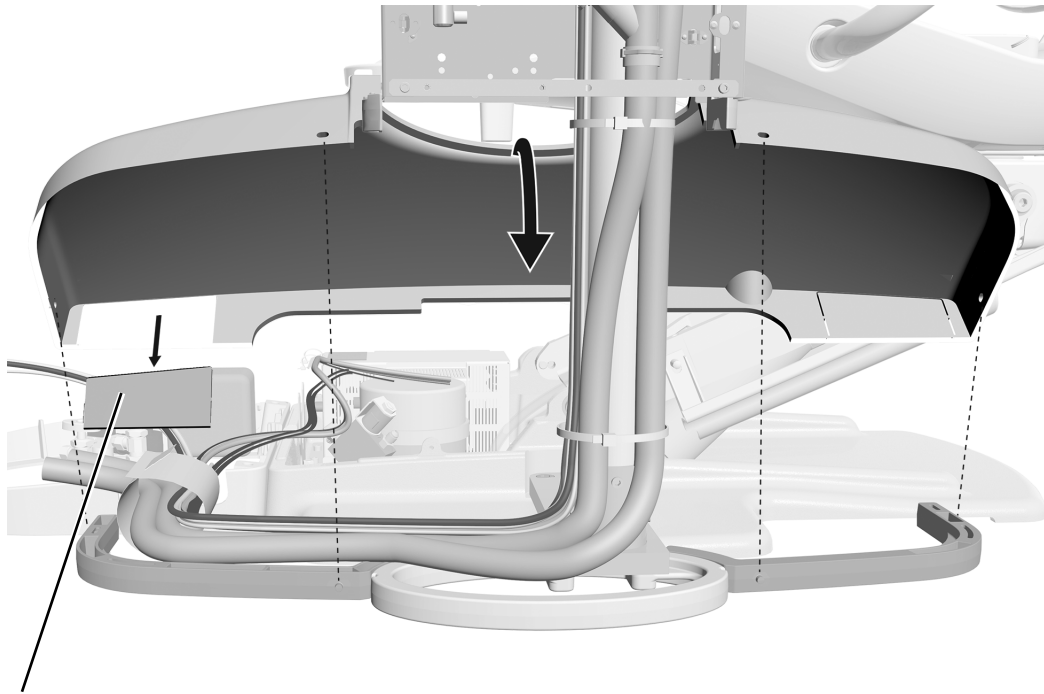
床ネジ (実物大)

手順 4.



- 1** フロアボックスの開口部で、サポートセンターのケーブルとチューブをプラスチックのカバー（グレーの面を外側）で包みます。カバーを固定し、とじ目を床側に伏せます。
- 2** プラスチックカバーがフロアボックスフレームの端の中央にくるように移動させます。

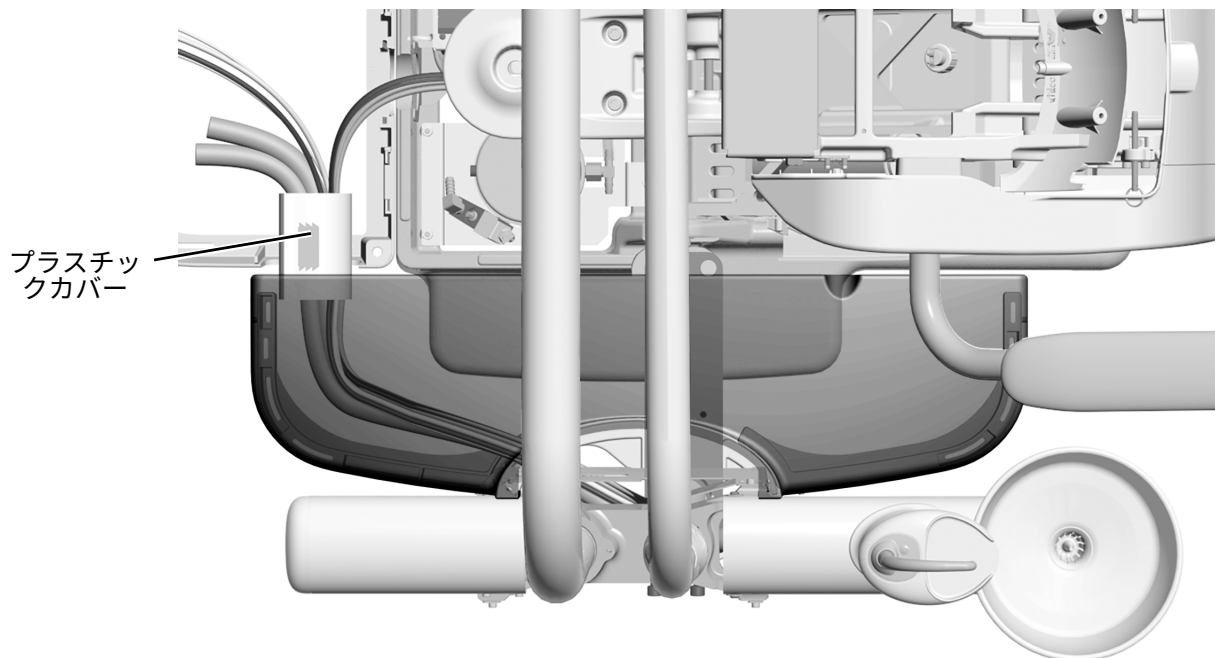
手順 5.



1 ペDESTALマウントのカバーのプラグを取り外し、チューブがカバーの下を通過してフロアボックスに入るようにします。

2 ペDESTALマウントのカバーを床フレームのピンに合わせます。

手順 6.



1 ペDESTALマウントのカバーとフロアボックスのすき間にあるコードとチューブが、プラスチックカバーで隠れていることを確認します。

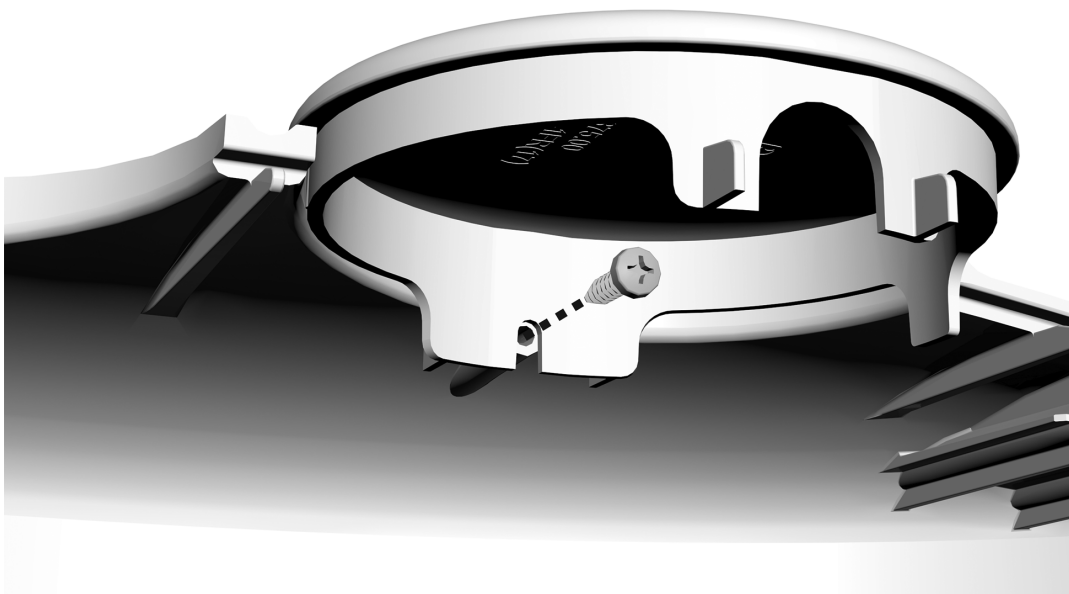
トリムキャップの取り付け

システムにデリバリーシステム、歯科ライト、またはモニターがない場合は、これらのモジュール用のポストホールにトリムキャップを取り付けてください。

システムにデリバリーシステム、歯科ライト、またはモニターがない場合は、これらのモジュール用のポストホールにキャップを取り付けてください。

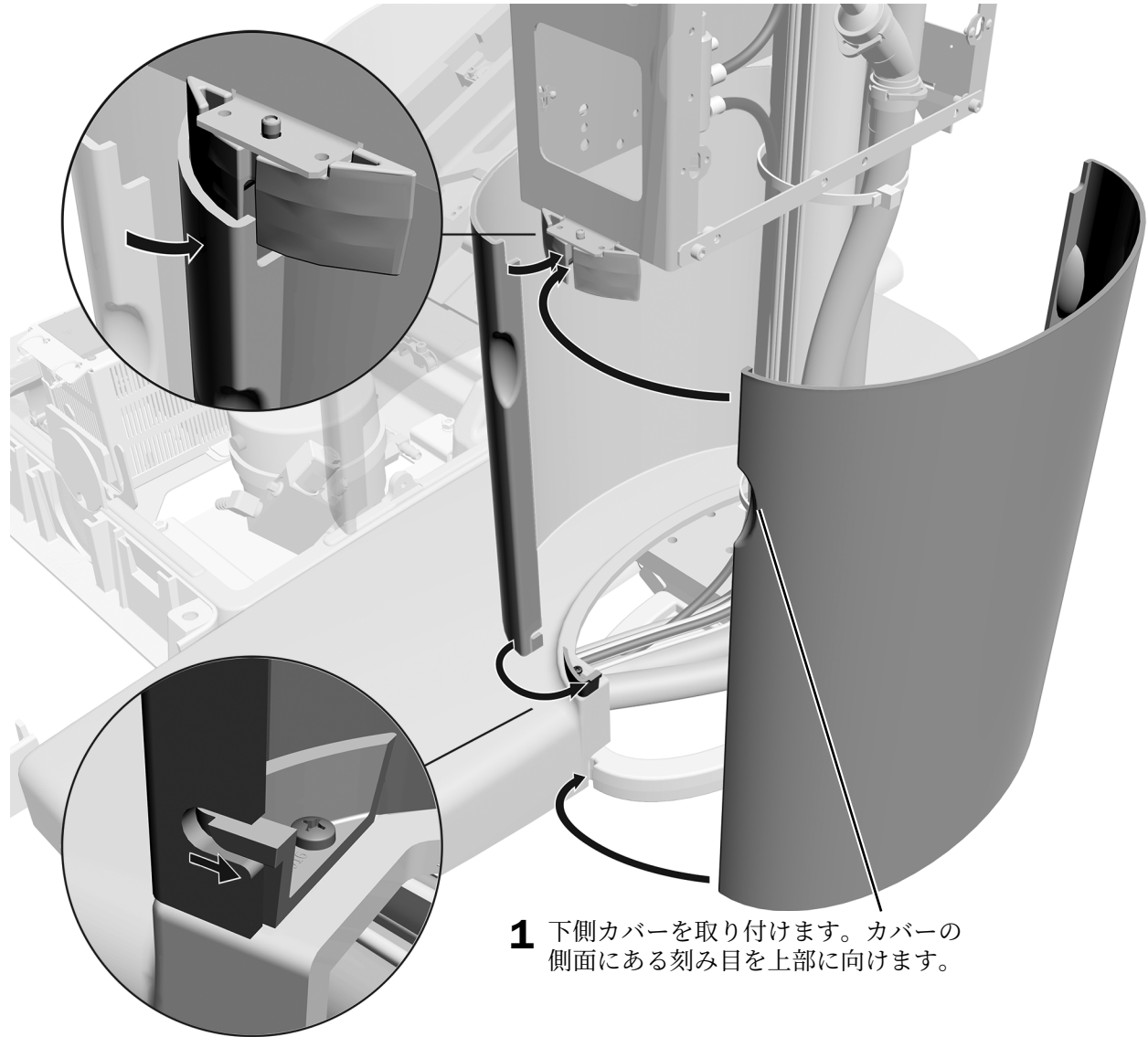
- **サポートセンターポストホール:** プラスドライバーと 6-19 x 1.2 インチのネジを使用して、フローチャートに示されていないサポートセンターのカバーにトリムキャップを取り付けます。
- **間柱:** システムの間柱にモニターが取り付けられていても、歯科ライトがない場合は、間柱の端部にトリムキャップを押し込みます。
- **歯科助手用器具ハブ:** システムの伸縮式アームに歯科助手用器具が取り付けられていても、デリバリーシステムがない場合は、ハブの上部にトリムキャップを押し込みます。

サポートセンターポストホール用トリムキャップ



サポートセンターのカバーの取り付け

手順 1.



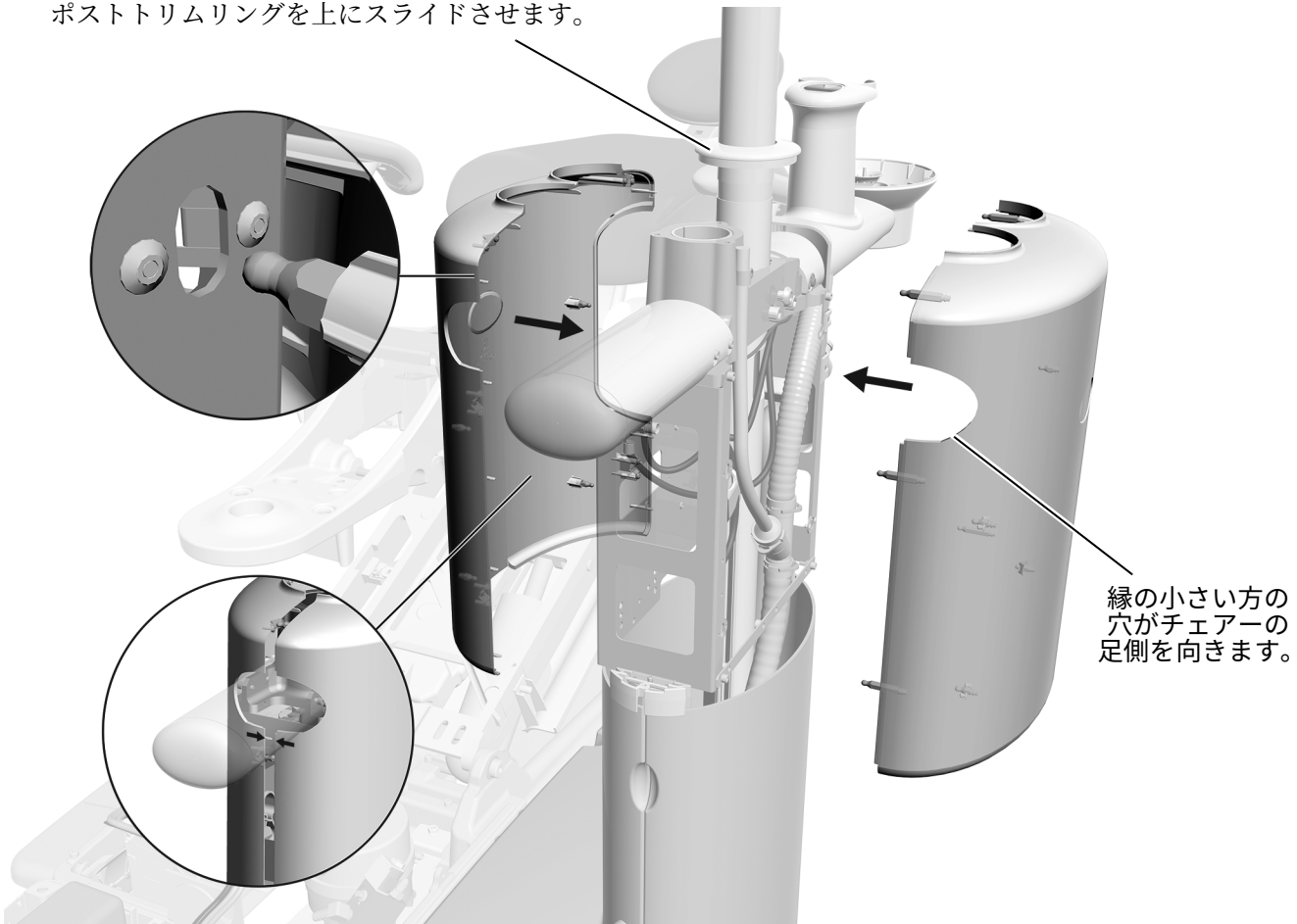
- 1** 下側カバーを取り付けます。カバーの側面にある刻み目を上部に向けます。



ヒント 下側カバーの位置が合わない場合は、スピットンとアームレストのクリアランスを確認します。ポジショニングガイドとアームレストの間にすき間があると、下側カバーの位置がずれる場合があります。56 ページの「スピットンボウルのクリアランスの確認」を参照してください。

手順 2.

- 1 システムに歯科ライトまたは、モニターマウントが含まれている場合は、上側カバーを取り付ける前にポストトリムリングを上スライドさせます。



- 2 カバーをサポートセンターの適切な側にそれぞれ配置します。縁の小さい方の穴がチェアの足側を向きます。
- 3 上側のカバーをサポートセンターのフレームに取り付けます。カバーの小さなピンをフレームの穴に、一方のカバーの大きいピンをもう一方のカバーのコネクタに差し込みます。
- 4 システムに歯科ライトまたはモニターマウントが含まれる場合は、トリムリングをサポートセンターカバーまで下にスライドさせます。

次のステップ 『A-dec 311 歯科用椅子サービスガイド』（部品番号 (P/N) 86.0921.05) の張地の取り付けを参照してください。

付録：エアバキュームシステム（AVS）の取り付け

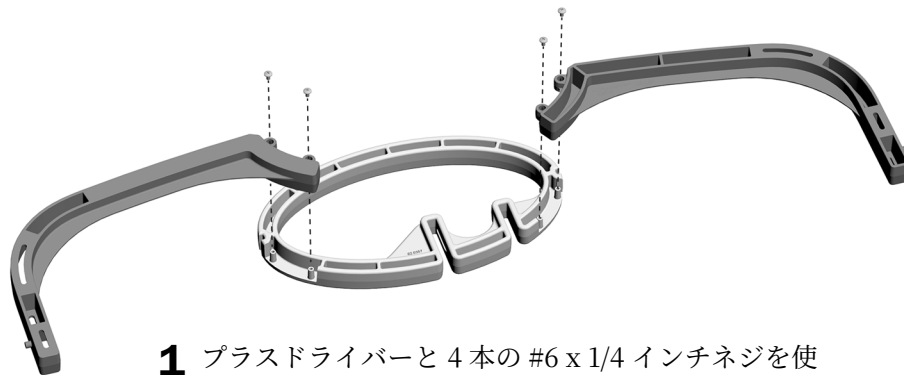
エアバキュームシステム（AVS）は、中央バキュームシステムが利用できない場合に、最小 483 kPa（4.83 バール）の給気を使用して真空状態を作り出します。また、システム内を流れる水分と空気を分離し、ドレインとエアアウトレットから放出します。

推奨する工具

- 5/64 インチおよび 7/64 インチの六角レンチ
- プラスドライバー
- 1/4 インチコンビネーション・レンチ

床フレームと液体分離タンクの取り付け

手順 1.



- 1** プラスドライバーと 4 本の #6 x 1/4 インチネジを使用して、カーブした補強材を長円形の床フレームに取り付けます。



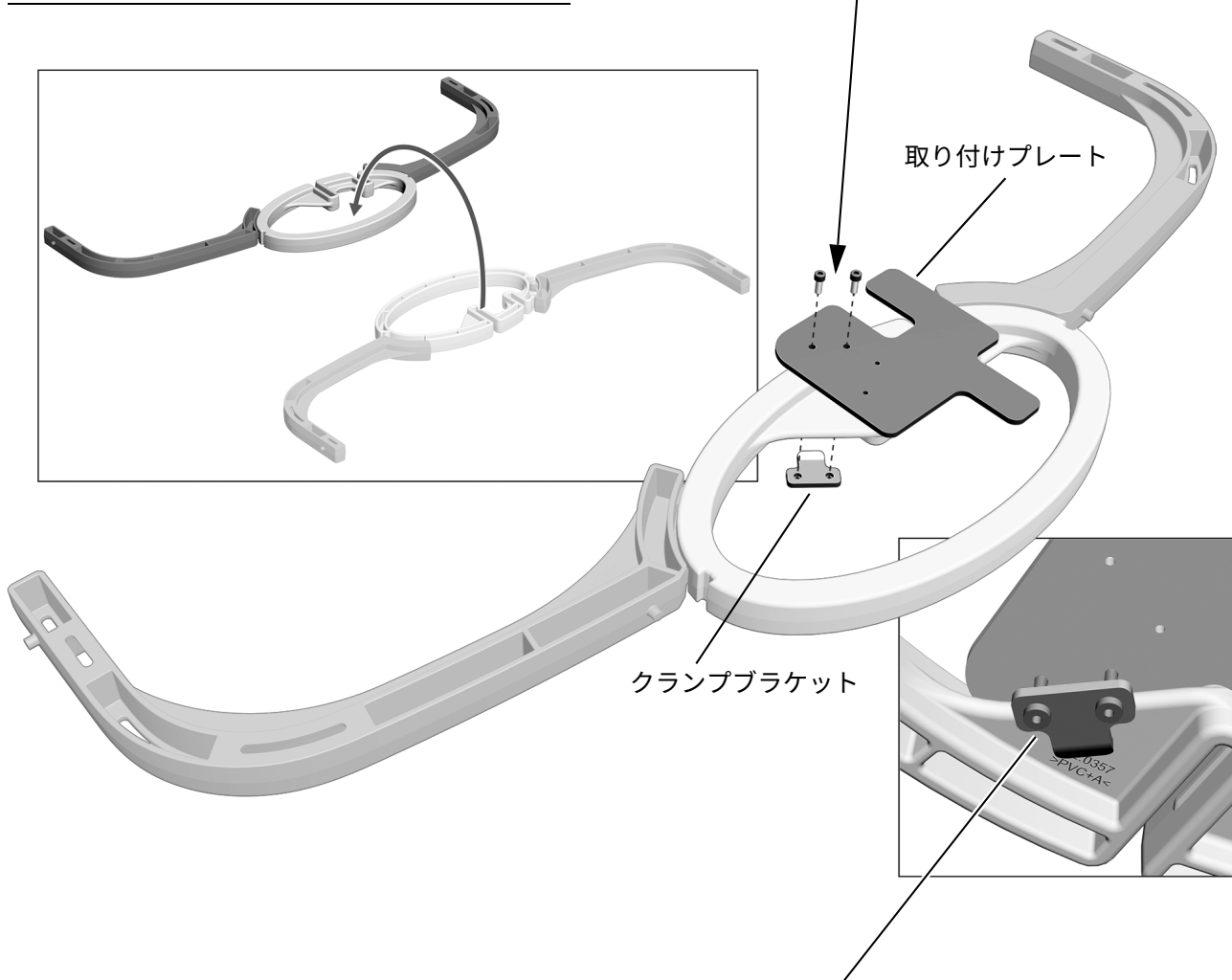
補強ネジ
(実物大)

手順 2.



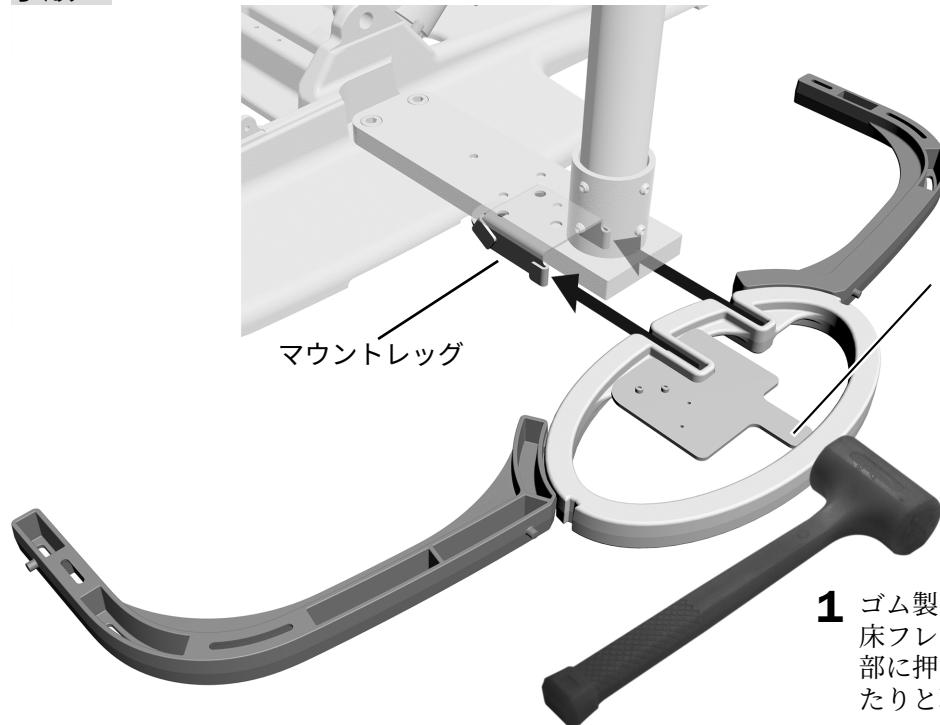
注 必要に応じて床フレームを裏返し、床フレームの開いた側がチェアの隣になるようにします。

- 1 2本の 6-32 x 5/8 インチネジを使用して、クランプブラケットを取り付けプレートに固定します。ネジは緩めたままにしておきます。



- 2 取り付けプレートとクランプブラケットを長円形フレームの上に置きます。クランプブラケットのカーブが長円形の方を向くようにします。ネジを締めて取り付けプレートを固定し、動かないようにします。

手順 3.



注 取り付けプレートのアームは、長円形フレームの内側に位置する必要があります。

1 ゴム製マレットを使用して、長円形の床フレームをペダスタルマウントの下部に押し込み、マウントレッグにぴったりと取り付けます。

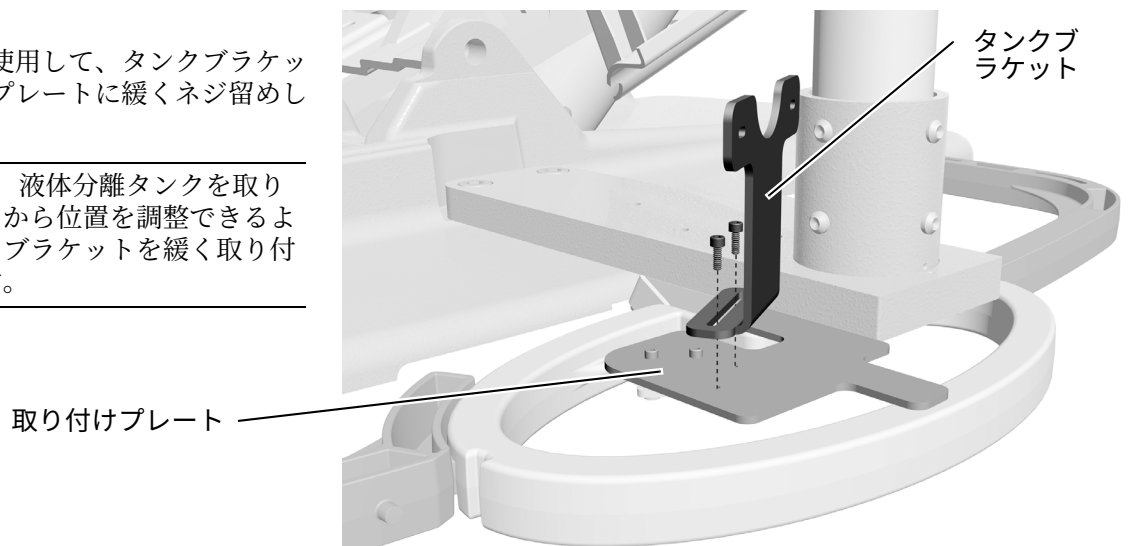
ヒント 床フレームをマウントレッグにぴったりと取り付けるには、床フレームをしっかりと叩く必要があります。

手順 4.

1 六角レンチを使用して、タンクブラケットを取り付けプレートに緩くネジ留めします。

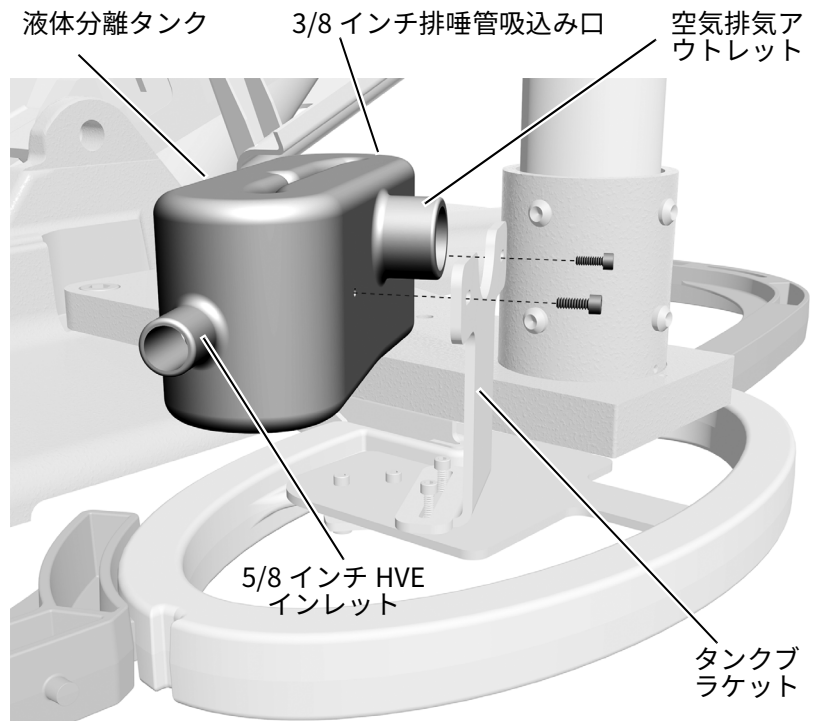


ヒント 液体分離タンクを取り付けてから位置を調整できるように、ブラケットを緩く取り付けます。



手順 5.

- 1 六角レンチと 2 本の 6-32 x 3/8 インチのボタンスクリューを使用して、液体分離タンクをタンクブラケットに緩く取り付けます。
- 2 液体分離タンクとブラケットの位置を調整し、HVE と排唾管の両端にクリアランスを確保し、下側カバー（長円形フレームに沿って取り付け）に接触しないようにします。
- 3 タンクとブラケットを配置したら、六角レンチを使用してブラケットを取り付けプレートに固定するネジを締めます。
- 4 六角レンチを使用して、タンクをブラケットに固定しているネジを締めます。



空気排気の接続と配管

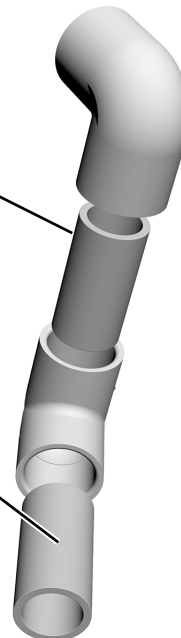
手順 1.

- 1 空気排気アセンブリを組み立てるには、スプライサーを使用して 2 個のエルボを接続します。



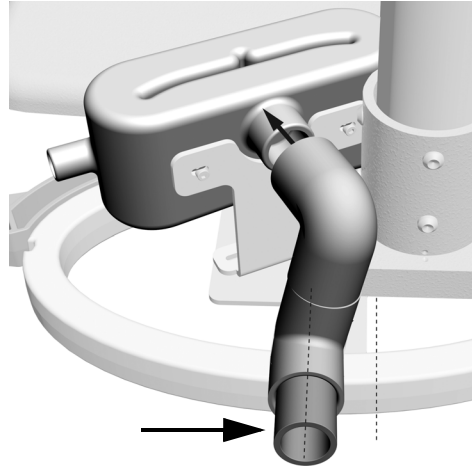
注 エルボとスプライサーの間に Loctite® を使用しないでください。

- 2 エルボの 1 つにスプライサーを挿入します。



手順 2.

- 1 エルボアセンブリを空気排気アウトレットに接続します。
- 2 空気排気アセンブリの端が長円形の床フレームに対して垂直になるように調整します。

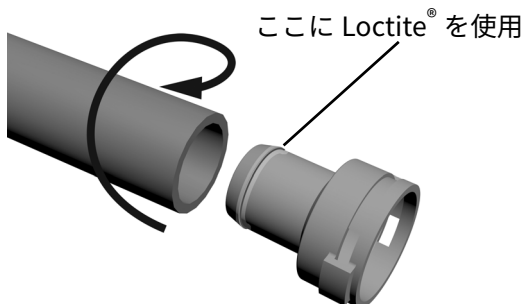
**手順 3.**

- 1 スピットンの排水管を空気排気アセンブリの上、HVE インレットの下に通します。

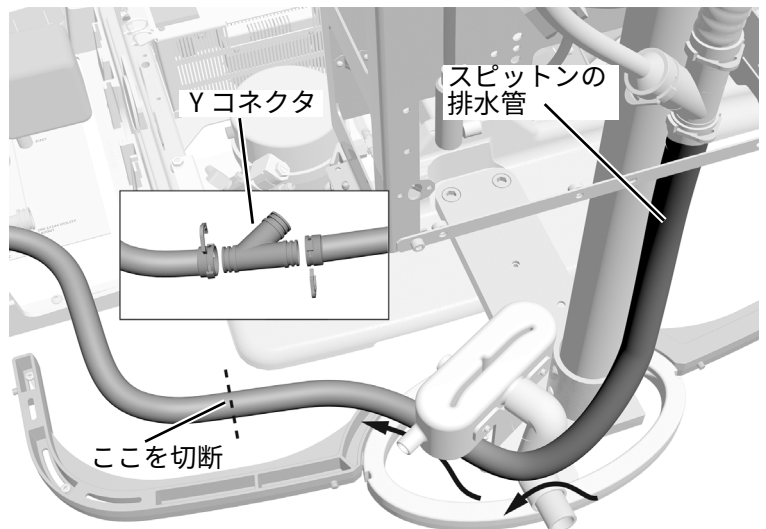


ヒント 底部カバーがサポートセンターに納まるように、チューブをできるだけコンパクトにします。

- 2 3個のアダプターを Y コネクタ本体に固定しているクリップを取り外します。アダプターを Y コネクタから抜きます。
- 3 Y コネクタをチェアのベースプレートの前端に置き、Y コネクタの主上部分岐に合うようにスピットンの排水管を切断します。
- 4 いずれかのアダプターのリップに Loctite® 411™ を塗布します。



- 5 スピットンの排水管をねじりながら、アダプターに押し込みます。



- 6 スピットンの排水管を Y コネクタに取り付けます。コネクタクリップを使用して、アダプターを Y コネクタに固定します。
- 7 Loctite® 411™ を使用して、付属の 20 mm のチューブを Y コネクタに取り付けます。コネクタクリップを使用して、アダプターを Y コネクタに固定します。
- 8 20 mm のチューブの端をドレインにつなぎます。余ったチューブを切りそろえます。



注 現地の配管基準に従って、排水管を接続します。

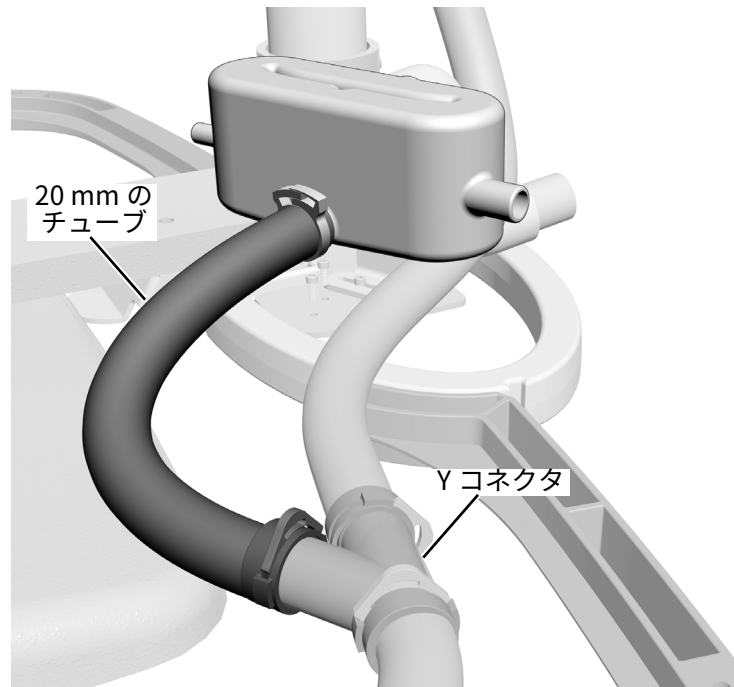
手順 4.

- 1 20 mm チューブの残りの部分を液体分離器ドレインに接続します。20 mm のアダプターとプライヤーを使用してクランプを固定します。



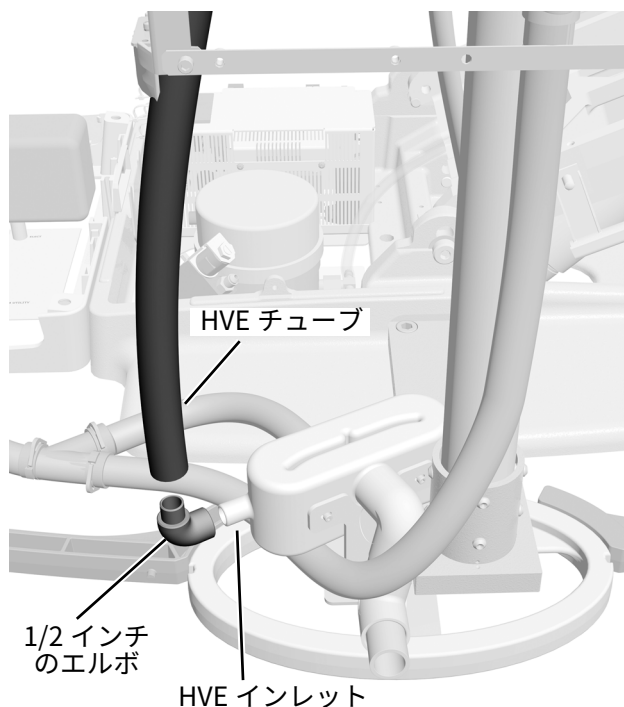
注 Loctite® 411™は、本システムでの排水管の取り付けおよびシーリングに不可欠です。

- 2 チューブを液体分離器ドレインから Y コネクタ上部の開口端まで通し、必要に応じて切りそろえます。
- 3 Loctite® 411™を使用して、チューブを Y コネクタの最後のアダプターに取り付けます。
- 4 液体分離器ドレインのチューブを Y コネクタ上部に取り付けます。コネクタクリップを使用して、アダプターを Y コネクタに固定します。



手順 5.

- 1 HVE チューブ (5/8 インチ) を HVE インレットに差し込みます。
- 2 経路ができるだけ真っ直ぐになるように、チューブを切りそろえます。
- 3 Loctite® 411™を使用して、HVE チューブを 1/2 インチのエルボに固定します。
- 4 1/2 インチのエルボをタンクの HVE インレットに取り付けます。

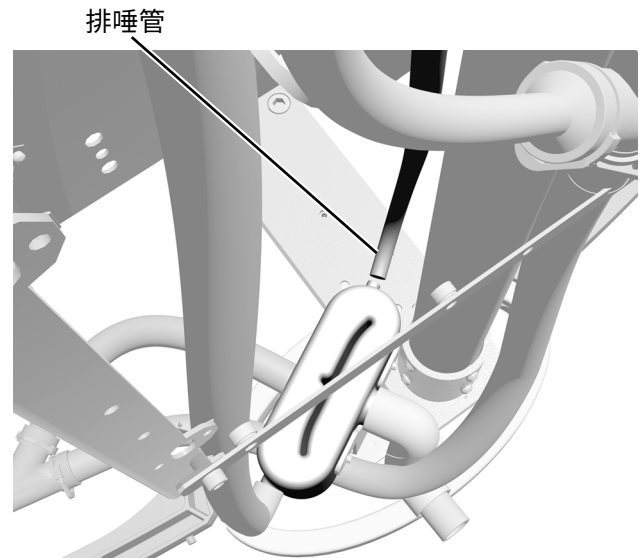


手順 6.

- 1 AVS からの排唾管 (3/8 インチ) を排唾管吸込み口に接続します。必要に応じて切りそろえます。



注 排唾管にねじれがないことを確認します。



手順 7.

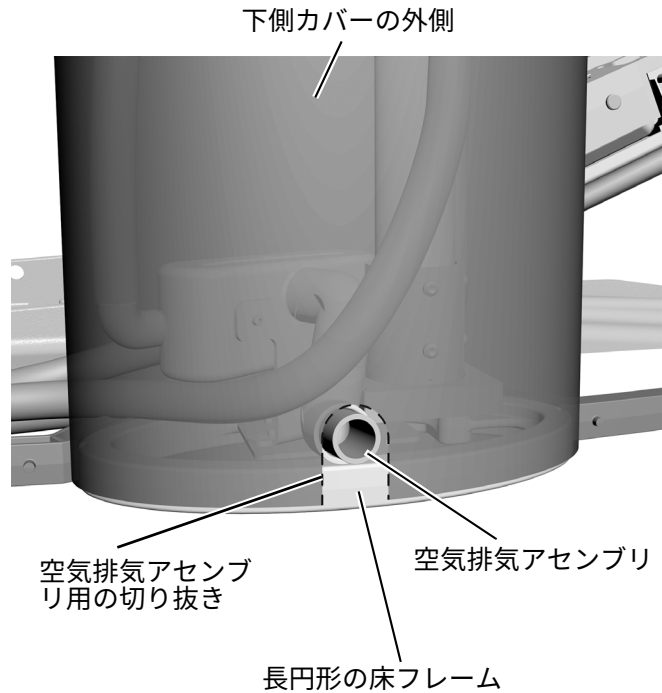


- 1 1/4 インチのコンビネーション・レンチを使用して、エアフィルターとレギュレーターのパラグのひとつを 5/16 インチバープ継手に置き換えます。
- 2 エアバキュームシステムの T コネクタから出ている 5/16 インチの黄色のチューブの端にスリーブをスライドさせ、エアフィルターとレギュレーターのパラグ継手に接続します。

これらのプラグのいずれかをバープ継手と交換します。

手順 8.

- 1** サポートセンターの外側にある下側カバーの位置を確認します。下側カバーは濃い灰色（ダークグレー）で、外側カバーは内側のカバーよりも高くなっています。
- 2** 側面の刻み目が上になるようにカバーを回転させ、床フレームのほぼ前方に置きます。
- 3** 排気アセンブリの位置に注意し、カバーにその位置をマークします。サポートセンターのカバー底部にアーチ型の穴を開け、空気排気アセンブリ用の開口部を作ります。開口部は、高さ約 2-3/4 インチ、幅約 1-1/2 インチにします。
- 4** カバーを取り付けて、排気アセンブリの穴が正しい位置にあることを確認します。必要に応じて排気アセンブリの穴を整え、カバーを長円形のフレームに合わせます。
- 5** 25 mm のチューブを空気排気アセンブリの端に接続し、チューブを適切な排気ベントに通します。
- 6** 下側カバーを取り外して脇に置きます。後で再度、取り付けます。



次のステップ 35 ページの「ユーティリティの配管と接続」に進みます。

規制に関する情報

当局から指定された規制に関する情報と A-dec の保証については、『*規制情報、仕様および保証*』（部品番号 (P/N) 86.0221.05) に記載されています。この文書は、www.a-dec.com のリソースセンターから入手できます。



このドキュメントをオンラインでご覧になるには、左の QR コードをスキャンまたはタップ、クリックしてください。以下のリンクに移動します。
a-dec.com/regulatory-guide

Loctite および Loctite 411 は Henkel IP & Holding GmbH の米国における商標または登録商標であり、その他の国においても商標または登録商標である可能性があります。本書に記載されているその他の商標はすべて A-dec, Inc. の米国における登録商標または商標であり、その他の国においても商標または登録商標である可能性があります。



A-dec 本社

2601 Crestview Drive
Newberg, OR 97132 USA
電話：1.800.547.1883 米国 / カナダ国内
電話：+1.503.538.7478 米国 / カナダ国外
www.a-dec.com

A-dec, Inc. は本書の内容について、商品性および特定用途への適合性の黙示的保証を含む（ただしこれに限定されない）一切の保証を行いません。